



C A L A M V S G L A D I O F O R T I O R

2025 年度

理工学部
履修案内
(日吉キャンパス第1・2学年)

振 鈴 表

授業 振鈴表		
日吉	三田	矢上
1 時限 9 : 00～10 : 30	1 時限 9 : 00～10 : 30	1 時限 9 : 00～10 : 30
2 時限 10 : 45～12 : 15	2 時限 10 : 45～12 : 15	2 時限 10 : 45～12 : 15
3 時限 13 : 00～14 : 30	3 時限 13 : 00～14 : 30	3 時限 13 : 00～14 : 30
4 時限 14 : 45～16 : 15	4 時限 14 : 45～16 : 15	4 時限 14 : 45～16 : 15
5 時限 16 : 30～18 : 00	5 時限 16 : 30～18 : 00	5 時限 16 : 30～18 : 00
	6 時限 18 : 10～19 : 40	6 時限 18 : 10～19 : 40

定期試験・追加試験 振鈴表		
日吉	三田※	矢上
1 時限 9 : 00～10 : 00	1 時限 9 : 00～10 : 30	1 時限 9 : 00～10 : 30
2 時限 10 : 20～11 : 20	2 時限 10 : 45～12 : 15	2 時限 10 : 45～12 : 15
3 時限 12 : 20～13 : 20	3 時限 13 : 00～14 : 30	3 時限 13 : 00～14 : 30
4 時限 13 : 40～14 : 40	4 時限 14 : 45～16 : 15	4 時限 14 : 45～16 : 15
5 時限 15 : 00～16 : 00	5 時限 16 : 30～18 : 00	5 時限 16 : 30～18 : 00
6 時限 16 : 20～17 : 20	6 時限 18 : 10～19 : 40	
7 時限 17 : 40～18 : 40		

※追加試験(三田)の振鈴時間は、この一覧表とは異なります。

学生部開室時間

	日吉・三田・矢上
授業・定期試験のある時	平日(月～金) 8 : 45～16 : 45
授業のない時・追加試験期間 (夏季・冬季・春季休校中)	平日(月～金) 8 : 45～11 : 30 12 : 30～16 : 45 (三田学生部の開室時間は 8 : 45～16 : 45)

土曜、日曜、祝日、義塾が定めた休日および大学事務の休業期間は閉室となります。
変更等は適時 K-Support の News でお知らせします。

目 次

振鈴表 学生部開室時間 2025年度日吉授業実施カレンダー

第 1	はじめに.....	10
1	学事関連の伝達事項	10
2	時間割, 講義要綱・シラバス	10
3	学習指導相談	11
4	学業成績	11
5	成績評語に関する質問制度	12
6	進級	12
7	取得可能学位	13
8	教員を訪ねる場合	13
第 2	Web システム	14
1	塾生サイト	14
2	K-Support	14
3	keio.jp	17
第 3	履修申告までの流れ	18
	履修登録取消制度について	25
	他学部・他研究科学生の履修を制限する 科目 (学部)	26
	他学部・他研究科生による履修登録取消 が認められない科目 (学部)	27
	全学共通科目	28
第 4	カリキュラムの概要	29
1	カリキュラムのねらいと特色	29
2	カリキュラムの構成と内容	30
	【総合教育科目】	
	【外国語科目】	
	【基礎教育科目】	
	【専門基礎科目】	
	【学科専門科目】	
第 5	履修にあたって	33
1	履修申告の日程	33
2	履修申告のしかた	33
3	Web システムによる 履修申告について	33
4	科目の種類	34

5	「遠隔（オンライン）授業」の単位数 上限について	40
6	標準課程および履修表.....	40
	【卒業条件】	
	【2年進級条件】	
	【3年進級条件】	
	【4年進級条件】	
7	履修表.....	42
	第1学年学門別・学科別（AO入試入学者）履修表	
	[学門A・B・D]／[学門1・4・5]	42
	[学門C]／[学門2]／数理科学科所属（AO入 試入学者）.....	43
	[学門E]／[学門3]／化学科所属（AO入試入 学者）.....	44
	電気情報工学科所属（AO入試入学者）.....	45
	第2学年学科別履修表	
	機械工学科	46
	電気情報工学科	50
	応用化学科	51
	物理情報工学科	52
	管理工学科	53
	数理科学科	54
	物理学科	55
	化学科	56
	システムデザイン工学科.....	57
	情報工学科	58
	生命情報学科	59
	系列(X) 総合教育科目(人文・社会・学際系科目)	
		60
	系列(Y) 総合教育科目(自然科学・語学・ セミナー・体育実技A・その他)	61
	別表 総合教育科目(矢上設置科目)	62
8	授業科目ナンバリング(K-Number)について...	63
9	再履修方法.....	64
10	その他の注意	66
第6	体育科目履修要項	67
1	体育科目のねらい.....	67
2	体育科目の構成	67
3	体育科目履修申告までの流れ.....	68
4	実技費用納入が必要な科目について	71
5	履修登録取消について.....	71

第7	授業・レポート・試験	73
1	授業	73
2	緊急時における授業の取扱い	73
3	早慶野球戦が行われる場合の授業の取扱い ...	74
4	裁判員候補者に選定された場合の取扱い ...	74
5	障害学生支援（合理的配慮）	74
6	レポート	74
7	定期試験	75
8	追加試験	76
9	不正行為について	76
第8	学籍（休学・退学・留学・就学・再入学）	78
1	休学（学部学則第 152 条）	78
2	退学（学部学則第 154 条）	79
3	学則第 156 条による退学処分	80
4	学則第 188 条による退学処分	80
5	留学（学部学則第 153 条）	81
6	再入学（学部学則第 155 条）	83
第9	学生証・諸届・証明書	84
1	学生証	84
2	住所変更（本人・保証人）	85
3	保証人変更	85
4	改姓・改名	86
5	国籍変更	86
6	通学証明書（通学定期券の購入）	86
7	証明書（成績証明書・学割証等）	87
8	資格について	89
	（1）電気情報工学科における第一級陸上無線技術 士試験免除について	89
	（2）特殊無線技士国家試験免除について	90
	（3）電気主任技術者免状取得について	91
	（4）システムデザイン工学科における一級建築士 試験の受験資格取得について	94
	日吉校舎案内	97
	日吉学生部案内・掲示板マップ	98

2025 年度 日吉授業実施カレンダー

- ・カレンダー上の囲み数字は、各曜日毎の授業回数を表します。
- ・定期試験、追加試験の日程はすべて予定です。

2025 年
4 月

①-④：2 学期制科目の春・秋学期の回数

①-④：4 学期制科目の春前半・秋前半の回数

①-④：4 学期制科目の春後半・秋後半の回数

授業期間 休校期間 休 日

日	月	火	水	木	金	土
4 月 4 日(金)～9 日(水)健康診断 詳細は保健管理センター Web サイトを必ずご確認ください。(www.hcc.keio.ac.jp/ja/)						
		1 入学式(予定)〔入学後の 行事と諸手続について〕参照 ガイダンス(1 日～7 日) 必修英語「英語1・2」Web エントリー(1 日9:00～2 日9:00)	2	3	4	5
		必修申告期間(一次)(3 日 12:30～5 日 16:00)				
6	7 履修調整結果発表(日吉設置 の総合教育科目は)(16:00)	8 1①② 春学期授業開始 春学期前半科目授業開始	9 1①②	10 1①②	11 1①②	12 1①②
	履修申告期間(二次)(7 日16:00～15 日10:00)					
13 1①②	14 2③④	15 2③④	16 2③④	17 2③④	18 2③④	19 2③④
20 2③④	21 3⑤⑥	22 3⑤⑥	23 3⑤⑥	24 3⑤⑥	25 3⑤⑥	26 3⑤⑥
	履修エラー修正期間(21 日6:45～22 日16:00)					
27 3⑤⑥	28 4⑦⑧ 昭和の日 (授業は通常通り実施)	29 3⑤⑥	30	中旬：学費に関するご案内		
	履修登録取消期間(29 日10:00～30 日16:00) ※対象：通年(セット)・春学期・春学期前半科目					

5 月

日	月	火	水	木	金	土
中旬：春学期前半科目定期試験時間割発表				4⑦⑧	1 4⑦⑧	2 憲法記念日
4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7 4⑦⑧	8 5⑨⑩	9 5⑨⑩	10 4⑦⑧
11 4⑦⑧	12 5⑨⑩	13 5⑨⑩	14 6⑪⑫	15 6⑪⑫	16 5⑨⑩	17 6⑪⑫
18 5⑨⑩	19 6⑪⑫	20 6⑪⑫	21 7⑬⑭	22 7⑬⑭	23 6⑪⑫	24 7⑬⑭
25 6⑪⑫	26 7⑬⑭	27 7⑬⑭	28 8①②	29 8①②	30 7⑬⑭	31 早慶野球戦(予定)

6 月

- ※「試験日」のうち、6/6(金)の4～6 限は日吉キャンパスの学期前半試験が行われる場合があります。
- ※「補講日」には補講の設定がなされた授業のみが行われます。

日	月	火	水	木	金	土
1 7⑬⑭ 春学期前半科目授業終了	2 8①②	3 8①②	4	5 補講日/試験日	6 補講日/試験日	7 8①②
8 8①②	9 9③④	10 9③④	11 9③④	12 9③④	13 9③④	14 9③④
15 9③④	16 10⑤⑥	17 10⑤⑥	18 10⑤⑥	19 10⑤⑥	20 10⑤⑥	21 10⑤⑥
22 10⑤⑥	23 11⑦⑧ 春学期前半科目成績発表 履修登録取消期間(24 日10:00～25 日16:00) ※対象：春学期後半科目	24 11⑦⑧	25 11⑦⑧	26 11⑦⑧	27 11⑦⑧	28 11⑦⑧
29 11⑦⑧	30 上旬：春学期前半科目追加試験					

7月

※「補講日」には補講の設定がなされた授業のみが行われます。

日	月	火	水	木	金	土
		12 9 10	1 12 9 10	2 12 9 10	3 12 9 10	4 12 9 10
6	12 9 10	7 13 11 12	8 13 11 12	9 13 11 12	10 13 11 12	11 13 11 12
13	13 11 12	14 14 13 14	15 14 13 14	16 14 13 14	17 14 13 14	18 14 13 14
20	14 13 14	21 補講日	22	23	24	25
			春学期末定期試験(23日～8月1日)(予定)			
27	28	29	30	31	上旬：定期試験時間割発表 上旬～下旬：追加試験申込受付	

8月

日	月	火	水	木	金	土
上旬～9月：体育実技 (シーズン・スポーツ)					1	2
						夏季休校(～9月21日)
3	4	5	6	7	8	9
						春学期末追加試験
10	11	12	13	14	15	16
	山の日	(9日,12日,13日)(予定)				
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
					学部卒業の日 春学期成績発表	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
	敬老の日				卒業式	
21	22	23	24	25	26	27
	入学式	秋分の日	履修申告期間(一次) (24日12:30～26日16:00)			
28	29	30				
	履修調整結果発表(日吉設置 の総合教育科目はか)(16:00)					
	履修申告期間(二次)					

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1112 秋学期授業開始 秋学期前半科目授業開始	1112 2	1112 3	1112 4
			履修申告期間(二次)(9月29日16:00~10月8日10:00)			
5	1112	61112	7234	8234	9234	10234
12	234 スポーツの日 (授業は通常通り実施)	13234	14356	15356	16356	17356
19	356	20356	21478	22478	23478	24478
26	478	27478	285910	295910	305910	31

11月

※「試験日」のうち、11/19(水)1~2限は日吉キャンパスの学期前半試験が行われる場合があります。
 ※「補講日」には補講の設定がなされた授業のみが行われます。

日	月	火	水	木	金	土
						5910 1 早慶野球戦(予定)
2	5910 文化の日 (授業は通常通り実施)	35910	46112	56112	66112	76112
9	6112	106112	1171314	1271314	1371314	1471314
16	71314	1771314	18 秋学期前半科目授業終了	19 午前:補講日/試験日 午後~三田祭準備(休校)	20 三田祭準備(休校)	21 三田祭(休校)
23	三田祭 勤労感謝の日	24 三田祭 振替休日	25 三田祭片付け(休校)	26 補講日/試験日	27 812 秋学期後半科目授業開始	28 812 秋学期・通年休学願提出期限
30						29 812 学科分け説明会(予定)

12月

日	月	火	水	木	金	土
	812	1812	2812	3934	4934	5934
7	934	8934	9934	101056	111056	121056
14	1056	151056	161056	171178	181178	191178
21	1178	221178	231178	2412910	2512910	2612910
28		29	30	31		

2026 年

1 月

※「月曜代替講義日」には実際の曜日にかかわらず月曜日として授業が行われます。
 ※「補講日」には補講の設定がなされた授業のみが行われます。

日	月	火	水	木	金	土
上旬：学科分け Web エントリー期間(予定) 中旬：定期試験時間割発表 中旬～2月上旬(予定)：追加試験申込受付				1 元日 冬季休校	2	3
4 12 ①⑩ 授業開始	5 12 ④⑩	6 12 ⑨⑩	7	8 13 ①⑫	9 13 ①⑫	10 福澤先生誕生記念日
11 成人の日	12 13 ①⑫	13 13 ①⑫	14 14 ⑧⑭	15 13 ①⑫ 月曜代替講義日	16 13 ①⑫	17
18 14 ⑧⑭	19 14 ⑧⑭	20 14 ⑧⑭	21 補講日	22	23 14 ⑧⑭	24 14 ⑧⑭ 秋学期授業終了 秋学期後半科目授業終了
25	26	27	28	29	30	31
秋学期末定期試験(26日～2月5日(予定))						

2 月

日	月	火	水	木	金	土
上旬：体育実技(シーズン・スポーツ) 下旬(予定)：秋学期末追加試験						
1	2 福澤先生生日	3	4	5	6 春季休校(～3月下旬)	7
8	9	10 建国記念日	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22 天皇誕生日	23	24	25	26	27	28

3 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10 学部卒業の日 学業成績発表・学科分 け結果公開(Web)	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20 春分の日	21
22 卒業式	23	24	25	26	27	28
29	30	31	親年度ガイダンス(25日～31日)			

學習指導要項

第 1 はじめに

この履修案内は、2025 年度日吉地区に在籍する塾生の皆さんを対象に書かれています。履修にあたっての諸注意、履修の方法、学則（別冊）の運用、学部ごとの学習指導要項を解説しています。履修に関わる事柄について詳細に説明されていますので、履修申告の時だけではなく、常に振り返って内容を確認するように心がけてください。

毎年、履修案内を読まないことによる履修上のトラブルが多く見られます。トラブルの中には、進級に関わるものが多々あります。理解できない点や不明な事項は、必ず学習指導担当教員や日吉学生部に問い合わせ、誤りのないように十分注意してください。

1 学事関連の伝達事項

日吉キャンパス設置科目の時間割・教室変更、休講・補講、各種試験の実施要項、学事日程、緊急通達、呼出等の各種お知らせは K-Support、塾生サイト等に掲載しますので、必ずそちらを確認してください。また、第 4 校舎 B 棟 1 階に掲示板がありますので、随時確認してください（本書 p. 98 参照）。他キャンパス設置科目についての情報は、同様に K-Support、塾生サイト等およびその科目を設置しているキャンパスの掲示板等を確認してください。

2 時間割、講義要綱・シラバス

授業内容、授業の計画、教科書、成績評価方法等の詳細は、Web 上の「シラバス・時間割」で閲覧してください。シラバス・時間割は「K-LMS」（本書 p. 14）から利用できます（K-Support にログイン後、「K-LMS」を選択）。

所属学部・学年の時間割からの検索や、他学部の科目も含めた曜日時限・設置学部・キーワード等を入力しての検索が可能です。

今年度の『時間割』は、Web から PDF ファイルで参照することも可能です。

塾生サイト <https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/>



3 学習指導相談

(1) 履修申告前の学習指導相談

履修についての質問、相談に所属学部学習指導担当教員が応じています。各学部の実施方法やスケジュールはK-Support、塾生サイト等で案内します。また、日吉学生部所属学部窓口（巻末の日吉学生部案内参照）でも相談を受け付けます。

(2) 履修申告後の学習指導相談

日吉学生部所属学部窓口で、随時、相談を受け付けます。

(3) 2025 年度日吉学習指導主任および副主任

所属学部	学習指導	
文 学 部	主任：浅野雅樹	副主任：古川亮平，金子奈美，佐藤 恵
経 済 学 部	主任：永井容子	副主任：石井 明，石川昌治，佐藤正樹，松岡和美，湯川やよい
法 学 部	主任：熊野谷葉子	副主任：林 秀光，近藤康裕，アンリ・ナタリー，平沢慎也，林 良信，許 光俊
商 学 部	主任：御園敬介	副主任：川上 英，市川佳世子，白井史人
医 学 部	主任：藤猪英樹	
理 工 学 部	外国語・総合教育	主任：山下一夫 副主任：石田真子，山口早苗
	基礎系	主任：横森 剛 副主任：田口良広，高橋大介
薬 学 部	主任：井上賀絵	副主任：植村良太郎
体育研究所	主任：村山光義	副主任：島海 崇

4 学業成績

(1) 成績評語

所定の授業に出席し評価試験（定期試験またはレポート）を受けた後に評語が決まります。学業成績の評語は、S・A・B・C・Dの5段階を基本とし、S・A・B・Cを合格、Dを不合格とします。ただし、特定の科目は、評語をP・Fの2種とし、この場合、Pを合格、Fを不合格とします。なお、他大学等で履修した科目をS・A・B・CまたはPの評語を用いずに認定する場合は、Gとします。

※2016 年度以前の履修科目の成績評語

学業成績の評語は、A・B・C・Dの4段階とし、A・B・Cを合格、Dを不合格とします。なお、特定の科目や他大学等で履修した科目については上記と同様です。

(2) GPA (Grade Point Average) ※ 2017 年度以降入学者のみ対象

GPA は、履修登録した科目毎の5段階評価を4.0から0.0までのGP (Grade point) (S:4.0, A:3.0, B:2.0, C:1.0, D:0.0) に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点で、成績を数値で表したものです。

$$\text{GPA} = (\text{履修した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のGP}) \text{の総和} \div \text{履修した授業科目の単位数の合計}$$

GPA 算出にあたり、P (合格) の科目やF (不合格) の科目、G (認定) の科目、

また卒業要件とはならない自由科目は除かれます。

GPA は、当該学期における「学期 GPA」と在学中の全期間における「累積 GPA」の二種類があります。学業成績表には学期 GPA と累積 GPA が記載され、成績証明書には累積 GPA が記載されます。

なお、GPA は学習指導のためにも活用され、著しく低い場合には、退学が勧告される等の指導を受ける場合があります。

(3) 学業成績表

学業成績表は Web 上で閲覧可能です。春学期終了科目については 9 月上旬に、春秋セット科目や通年科目、秋学期終了科目も含めた当該年度最終の学業成績表については 3 月中旬に公開します。学期前半科目については、前半科目成績公開時に公開します。また、事前、事後の成績照会は一切受け付けません。

学業成績表の Web 閲覧にあたっては慶應 ID・パスワードが必要です。閲覧方法や期間等の詳細は塾生サイトで告知します。パスワードの再発行等、Web システムの利用案内については、「第 2 Web システム」(本書 p. 14) の章を参照してください。

なお、保証人は保証人 ID を利用して学業成績表を Web 上で閲覧することができます。保証人 ID は保証人宛に郵送で通知します。

(4) 学業成績証明書

「第 9 学生証・諸届・証明書」(本書 p. 84) の章を参照してください。

5 成績評語に関する質問制度

履修した科目の成績評語に対して確固たる根拠をもって問い合わせたいと考える場合は、本制度を利用してください。申請方法等の詳細は K-Support で案内します。この制度を利用せずに、メールやその他の方法で授業担当者に直接問い合わせることはできません。この場合は不正行為とみなされ、学則第 188 条および理工学部内規により厳しく処分されます。受付期間は、下記のとおりです。期日を過ぎたものは一切受け付けませんので注意してください。

2025 年度 成績評語に関する質問制度受付期間

春学期前半科目	6月24日(火)～6月25日(水)	秋学期前半科目	12月11日(木)～12月12日(金)
春学期科目, 春学期後半科目	9月5日(金)～9月9日(火)	秋学期科目, 秋学期後半科目	3月10日(火)～3月12日(木)

6 進級

進級条件に達しない場合は原級となります。出席不良で進級できない場合もありますので注意してください。学部学則(別冊)と本書を熟読し、進級条件を正しく理解してください。

7 取得可能学位

本大学において授与する学位については、以下を確認してください。

- ・入学年度の学部学則（学位規程（抜粋）を含む）掲載の学位規程第2条
- ・慶應義塾 Web サイト「学部」ページ

<https://www.keio.ac.jp/ja/academics/undergraduate/>



8 教員を訪ねる場合

授業の前後に都合をたずねることを原則としますが、やむを得ない場合は授業のある日に研究室か教員室を訪ねてください。学生部で仲介等はいりません。メールでアポイントをとる場合は、各学部の Web 上の教員一覧等を参照するか、K-LMS のメッセージを利用してください。なお、K-LMS（シラバス・時間割等）での案内も参照し、該当授業の訪問ルールに留意してください。また、成績に関する質問は上記成績評語に関する質問制度を利用してください。

(1) 日吉所属専任教員（教授・准教授・専任講師・助教）

……研究室（来往舎，第2校舎，第8校舎，体育研究所）

(2) 他地区の専任教員および塾外からの出講者（講師）

……教員室（独立館地下1階，第3校舎2階，第6校舎2階）

※授業期間に限る

第2 Web システム

1 塾生サイト

https://www.students.keio.ac.jp/ ログインID・パスワードは不要です。	塾生の皆様に向けた各種情報を提供しています。
主な提供サービス： ■ 授業／履修／試験 履修案内／シラバス／時間割（PDF）の公開等 ■ 学生生活／就職・進路 窓口利用案内／イベントや奨学金についての情報等	

2 K-Support

<https://keio.jp/>



K-Supportは在学生を対象としたポータルサイトです。大学からのお知らせ、自分宛のメッセージの確認、各種申請・問い合わせ等を行うことができ、学生の皆さんの学生生活のサポートや、学びの促進を目的としています。また、各種アプリケーションへのリンクも集約されています。学生生活において必要不可欠なポータルサイトですので、ブックマークするなどしてすぐにアクセスできるようにしてください。

■ ホーム画面

Messages	大学から学生個人宛のお知らせや呼び出しが表示されます。履修や学生生活に関する重要な事項を含みますので、 <u>常に確認するようにしてください。</u>
News	大学からのお知らせやイベント案内を掲出します。履修や卒業に関する重要なニュースも掲出されますので、 <u>随時確認してください。</u>
K-LMS	主に学修支援を目的としたシステムです。教材配布・レポート提出・お知らせ・ディスカッション等の機能を提供しています。 授業参加に欠かせないシステムですので、よく確認してください。
休講・補講	休講・補講のある授業の一覧が表示されます。休講・補講情報は変更されることがありますので、当該授業の前にも確認するようにしてください。

履修申告	履修申告・履修取消・新規履修申告科目なし申告を行うシステムです。履修申告期間中は申告内容の修正を行うことができます。履修申告のルールは各学部で異なるので、不明な点は各学部担当に確認してください。
登録済科目	履修中科目の一覧を表示します。科目が正しく登録できているか必ず確認してください。また、教室情報の確認も可能です。
学業成績表	学業成績表の閲覧が可能です。利用可能期間は、学部・研究科・学年等で異なります。詳細は塾生サイトで告知します。

■申請

本人情報	
住所確認・変更 (本人・保証人)	本人および保証人の連絡先を確認できます。変更がある場合は直ちに手続きを行ってください。
学生証再交付	学生証を紛失、汚損した場合はこちらから申請してください。詳細は塾生サイトまたは P. 84 を確認してください。
証明書発行 (厳封・特殊証明書等)	証明書発行サービスから発行できない証明書（厳封、各種資格、リクエストフォーム、海外への直送）の発行を希望する場合はこちらから申請してください。詳細は塾生サイトまたは P. 87 を確認してください。
保証人変更	左記の情報をシステム上で変更申請することが可能です。詳細は塾生サイトまたは P. 85 を確認してください。
改姓改名（本人）	
改姓改名（保証人）	
海外住所登録（本人）	
海外住所登録（保証人）	
国内緊急連絡先	
休学願	休学はこちらから申請してください。休学に関しては塾生サイトまたは P. 78 を確認してください。
国外留学	留学はこちらから申請してください。留学に関しては塾生サイトまたは P. 81 を確認してください。
就学届	教授会で承認された休学・留学期間が終了した際は、速やかにこちらから就学届を申請してください。詳細は塾生サイトまたは P. 78 を確認してください。

授業	
成績評価に関する質問制度	成績評価に関する質問制度はこちらから申請してください。成績評価に関する質問制度については P. 12 を参照してください。
合理的配慮申請	障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にある学生は、修学上の困難に対し、合理的配慮の申請をすることが可能です。

■アンケート

授業評価の入力、結果確認が可能です。

授業評価については K-Support ニュース等でご案内します。

■FAQ・問い合わせ

よくある質問の確認や、学生部への問い合わせを行うことができます。

学生生活において不明な点や相談したい点がある場合、こちらを参照してください。

■ Apps（抜粋）

学生生活を送るうえで必要なサービスやシステムをまとめています。

○ Google Workspace

Google 社が提供する Web アプリで、メール（慶應メール）、ドライブ、カレンダー、グループ、連絡先などのサービスが利用できます。

○ 授業

システム名	主管部署	説 明
K-LMS：学修支援システム（Canvas LMS）	KIC	主に学修支援を目的としたシステムです。教材配布・レポート提出・お知らせ・ディスカッション等の機能を提供しています。
シラバス・時間割検索	学生部	履修科目を選択する際や、授業内容を把握し単位を修得するために必要な授業内容、授業の計画、教科書、成績評価方法等の情報が記載されています。履修申告を行う際には必ずシラバス・時間割を確認したうえで履修科目の決定を行ってください。
履修申告	学生部	履修申告・履修取消・新規履修申告科目なし申告を行うシステムです。履修申告期間中は申告内容の修正が行うことができます。履修申告のルールは各学部で異なるので、不明な点は各学部担当に確認してください。
登録済科目確認	学生部	履修中科目の一覧を表示します。科目が正しく登録できているか必ず確認してください。また、教室情報の確認も可能です。
休講・補講・任意設定講義情報	学生部	休講・補講のある授業の一覧が表示されます。休講・補講情報は変更されることがありますので、当該授業の前にも確認するようにしてください。
学業成績表	学生部	学業成績表の閲覧が可能です。利用可能期間は、学部・研究科・学年等で異なります。詳細は塾生サイトで告知します。
Web エントリーシステム	学生部	事前抽選が必要な科目の抽選申込み（エントリー）を行うシステムです。ただし、科目によっては Web を使わずにエントリーシートを窓口に提出する場合があります。また、受付期間が科目ごとに異なります。
教職課程	学生部	「教職課程登録」「教職介護等体験申込み」「教員免許状一括申請」を行うシステムです。受付期間がそれぞれ異なりますので、よく確認してください。

○ 学生生活・奨学金・学費

システム名	主管部署	説 明
医療給付申請	学生部	学生健康保険互助組合の医療給付申請に必要となる申請書を作成できます。
学生団体活動支援システム	学生部	団体情報の登録、学生責任者や会長の変更申請、各種届出書のダウンロード、学外行事届・海外活動申請書の提出等、団体運営に関する各種申請等が可能です。また、公認申請もこちらのシステムから行います。
奨学金 Web 申請システム	学生部	学内の奨学金および民間団体・地方公共団体の奨学金申請の際に必要な奨学金申請書／選考シートを作成できます。不備書類の連絡や申請・受給状況の確認もこのシステム上で行います。 ※外国籍の学生は、在留資格が法定特別永住者、永住者、定住者、日本人（永住者）の配偶者または子、家族滞在の者のみ利用可。

学費 Navi	財務部	在学中の学費に関する情報の閲覧や納入履歴の確認、学費納入に関する手続を行うシステムです。納入証明書発行や返金手続のための口座登録等も可能です。
---------	-----	---

○サービス

システム名	主管部署	説 明
ソフトウェアライセンス取得システム	KIC	義塾が契約を結んでいるソフトウェアのライセンス配布システムです。
Box	KIC	クラウド型のオンラインストレージサービスで、ファイルのバックアップやアーカイブといった用途に加え、教職員や学生間、外部の方とファイルを共有する目的でも使用できます。
感染症罹患報告	保健管理センター	学校感染症に罹患した場合、保健管理センターへの届け出が必要です。確認の上、必ず報告してください。
証明書発行サービス	学生部	学内証明書発行機、全国のコンビニエンスストアで証明書を発行できるサービスです。また、電子証明書（PDF）のオンライン送付も可能です。証明書発行についての詳細は P. 87 を参照してください。

○就職・進路

就職活動の基礎知識を総覧できるウェブサイトや、先輩たちが書き記してくれた就活体験記を閲覧できます。

○ keio.jp 関連設定

keio.jp を使用するために必要な設定を行うことができます。keio.jp については次項を参照してください。

3 keio.jp

keio.jp は「慶應義塾共通認証システム」の通称で、義塾が提供する各種オンラインサービスを安全かつ便利に利用するための認証システムです。義塾が提供するサービスを利用するためには、原則として keio.jp によるログイン認証が必要となります。

keio.jp に関するマニュアルは、以下を参照してください。

https://www.itc.keio.ac.jp/ja/keiojp_manual.html

パスワードの再発行窓口は、以下のとおりです。

ログイン ID	再発行窓口	必要書類
慶應 ID	各キャンパス KIC 窓口	学生証

第 3

履修申告までの流れ

履修申告にあたっては、『履修案内』（本書）や K-Support、塾生サイト等を参照のうえ、誤登録・申告漏れなどのないよう十分注意してください。また、履修申告（K-Support（<http://keio.jp/>）の「履修申告」より登録）を行っても、履修調整により不許可となる場合や、不備のため修正が必要となる場合などがありますので、必ず本章の流れに従い、必要な手続きを行ってください。これらを怠った場合は、塾生本人の責任になりますので注意してください。

3月14日(金)
9:00

必修英語「英語 3・4」履修レベル発表
K-Support の Messages 欄に掲載します。

3月14日(金)
9:00
～17日(月)
9:00

必修英語「英語 3・4」Web エントリー&履修クラスの抽選
詳細は K-Support 内の案内や『外国語科目履修案内』冊子を参照してください。

3月27日(木)

在籍クラス・学籍番号・履修語学の発表
新入生お知らせシステム（<https://fresh.keio.jp/>）にて発表されます。当日中に必ず確認してください。
学籍番号は、塾生一人一人に与えられる特別な番号です。（3月28日（金）英語統一テストの受験に必要になります。）

3月28日(金)

必修英語「英語 1・2」英語統一テスト（新入生対象）
詳細は各種ガイダンスでの説明や『外国語科目履修案内』冊子を参照してください。履修レベル発表は4月1日（火）9:00 に K-Support の Messages 欄に掲載します。

4月1日(火)
9:00
～2日(水)
9:00

必修英語「英語 1・2」Web エントリー&履修クラスの抽選
詳細は各種ガイダンスでの説明や『外国語科目履修案内』冊子を参照してください。

- (1) 体育科目の履修→「第 6 体育科目履修要項」（本書 p. 67）参照
- (2) 諸研究所（外国語教育研究センター、国際センター他）設置科目の履修
→各研究所の講義要綱、塾生サイト「諸研究所設置科目」ページ、Web 上の「シラバス・時間割」の各研究所ページで確認

他学部設置科目の履修について

- (1) 日吉キャンパスの他学部設置科目を履修する場合、特別な申請は不要です。ただし初回授業やシラバスで個別に指示がある場合があるので確認してください。
- ※他キャンパス開講の他学部設置科目を履修する場合は、科目担当教員の許可を必ず得てください。許可が得られなかった場合は、必ず履修登録取消期間に取り消してください。
- ※他キャンパス開講の各学期後半科目など、履修申告期間までに科目担当教員の許可を得られない場合、履修申告は所定の期間内に行ってください。初回授業で科目担当教員に確認し許可が得られなかった場合は、必ず履修登録取消期間に取り消してください。
- (2) 原則として他学部の必修科目や指定クラスのある科目の履修は認められません。詳しくは、本書 p. 26 「他学部・他研究科学生の履修を制限する科目（学部）」、次のWeb ページ等で確認してください。

他学部・他研究科設置科目の履修・取消

<https://www.students.keio.ac.jp/com/class/registration/other-faculties.html>

※履修希望者多数のため履修者数調整を行う科目があります。調整の際は、科目設置学部の学生が優先されることがあります。

【春学期】履修申告期間（一次申告）

対象科目：春学期科目・春学期前半科目・春学期後半科目・通年科目（セット科目含む）

履修を希望する科目は、この期間に**全て**履修申告してください。申告が完了したら、科目や分野の間違いや不足がないかを**必ず**確認してください。なお、必修科目等の一部科目は予め履修登録されている場合があります。

一次申告時に履修申告した科目は、この後予定されている二次申告期間に取り消すことが可能です。なお、一次申告の結果、履修定員に達した科目は二次申告期間には追加できませんので注意してください。

登録方法等詳細は塾生サイトの「履修申告操作マニュアル」（<https://www.students.keio.ac.jp/com/class/system/course-registration-manual.html>）で確認してください。

※履修申告画面で赤い **CHECK** ボタンを押下した後、履修申告内容に不備がある場合は、要修正欄にエラーメッセージが表示されます。必ず不備を修正してください。修正しないまま一次申告を終了した場合、履修者数調整の際に不利になる場合があります。

※ Web システムを利用した履修申告が困難な場合は、日吉学生部所属学部窓口まで問い合わせてください。

4月3日(木)
12:30
～5日(土)
16:00 まで

- (1) 初回授業当日に調整が行われる科目があります。調整方法について特別な指示事項がある科目は、塾生サイト「日吉設置科目の履修調整（選抜・抽選）について」（<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/restriction.html>）にその詳細を掲載しますので、履修を希望する場合は必ず事前に確認してください。



- (2) 履修申告画面に表示される登録科目は、履修が決定したものではありません。今後の履修調整により不許可になる可能性や、履修申告不備のため修正が必要となる可能性があります。
- (3) 指定された期日までに履修申告しない場合は、修学の意志がないものとして退学処分になることがあります（学部学則第 188 条）。

履修申告調整結果発表

履修申告の結果、履修定員を超えた科目は履修者数調整を行います。調整結果は、K-Support (<http://keio.jp/>) の「履修申告」画面で確認してください。

なお、調整結果の見方は塾生サイト「日吉設置科目の履修調整（選抜・抽選）について」（<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/restriction.html>）で確認してください。

4 月 7 日（月）
16:00
（予定）

- (1) 初回授業当日に調整が行われる科目があります。調整方法について特別な指示事項がある科目は、塾生サイト「日吉設置科目の履修調整（選抜・抽選）について」（<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/restriction.html>）にその詳細を掲載しますので、必ず事前に確認の上、初回授業の前日（23:59）までに履修申告し、初回授業に出席してください。K-LMS には履修申告をした翌朝に反映されるため、初回授業日以降に履修申告を行うと、選抜・抽選を受けられない可能性があります。
- (2) 初回授業当日に調整を行う科目の調整結果は、keio.jp のメールアドレス宛に通知されるので、確認を怠らないようにしてください。
- (3) 「登録済科目確認」画面では、各科目のシラバスや K-LMS へのリンクが表示されます。ただし、二次申告期間中に履修申告した科目や調整結果は即時反映されないので注意してください。

【春学期】履修申告期間（二次申告）

対象科目：春学期科目・春学期前半科目・春学期後半科目・通年科目（セット科目含む）

申告が完了したら、科目や分野の間違いや不足がないかを必ず確認してください。

二次申告期間後は、指定された履修エラー修正期間、履修登録取消期間（本書 p. 25）を除き、履修申告内容の変更はできませんので、履修申告は十分に慎重を期して行ってください。

登録方法等詳細は塾生サイトの「履修申告操作マニュアル」（<https://www.students.keio.ac.jp/com/class/system/course-registration.html>）で確認してください。

※ Web システムを利用した履修申告が困難な場合は、日吉学生部所属学部窓口まで問い合わせてください。

4 月 7 日（月）
16:00
～15 日（火）
10:00 まで

- (1) 履修申告調整結果を受け、科目の追加・削除を行う場合はこの期間に行ってください。
- (2) 一次申告時に定員に達した科目は追加できません。Web システム上、選択可能な科目が追加可能な科目です。
- (3) 二次申告期間中および二次申告期間終了後に履修定員を超えた場合は、抽選を実施することがあります。塾生サイト「日吉設置科目の履修調整（選抜・抽選）について」(<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/restriction.html>) にその詳細を掲載しますので、必ず事前に確認してください。
- (4) 初回授業当日に調整が行われる科目があります。調整方法について特別な指示事項がある科目は、塾生サイト「日吉設置科目の履修調整（選抜・抽選）について」(<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/restriction.html>) にその詳細を掲載しますので、必ず事前に確認の上、初回授業の前日（23:59）までに履修申告し、初回授業に出席してください。K-LMS には履修申告をした翌朝に反映されるため、初回授業日以降に履修申告を行うと、選抜・抽選を受けられない可能性があります。

4月18日(金)
16:00～
(予定)

履修申告科目確認期間

K-Support (<http://keio.jp/>) の「登録済科目確認」から登録科目一覧画面を印刷し、必ず内容を確認してください。
この確認を怠り、エラー修正を所定期間に行わなかった等の場合は、塾生本人の責任になりますので注意してください。

- (1) 履修申告に不備があったり、修正が必要な場合に、日吉学生部から本人へ連絡します。日吉学生部からの指示に従い、履修エラー修正期間に修正してください。

4月21日(月)
8:45
～22日(火)
16:00

履修エラー修正期間

日吉学生部からの指示に従い、修正を行ってください。Web システムによるエラー修正はできません。

- (1) 日吉学生部から履修申告の不備を指摘された場合は、この期間内に正しく修正申告してください。
- (2) 履修申告に不備がある場合を除き、すでに履修登録済の科目の削除は履修エラー修正期間では認められませんので、注意してください。
- (3) 履修の選抜・抽選に漏れてしまい「不許可」となった科目は数日後に自動で削除されます。削除の手続きは必要ありません。

4月29日(火)10:00～30日(水)16:00

6月24日(火)10:00～25日(水)16:00

履修登録取消期間

詳細は本書 p. 25「履修登録取消制度について」を参照

9月24日(水)
12:30
～26日(金)
16:00 まで

【秋学期】履修申告期間（一次申告）

対象科目：秋学期科目・秋学期前半科目・秋学期後半科目

履修を希望する科目は、この期間に全て履修申告してください。申告が完了したら、科目や分野の間違いや不足がないかを必ず確認してください。なお、必修科目等の一部科目は予め履修登録されている場合があります。

一次申告時に履修申告した科目は、この後予定されている二次申告期間に取り消すことが可能です。なお、一次申告の結果、履修定員に達した科目は二次申告期間には追加できませんので注意してください。

登録方法等詳細は塾生サイトの「履修申告操作マニュアル」(<https://www.students.keio.ac.jp/com/class/system/course-reg-manual.html>)で確認してください。

※履修申告画面で赤い **CHECK** ボタンを押下した後、履修申告内容に不備がある場合は、要修正欄にエラーメッセージが表示されます。必ず不備を修正してください。修正しないまま一次申告を終了した場合、履修者数調整の際に不利になる場合があります。

※ Web システムを利用した履修申告が困難な場合は、日吉学生部所属学部窓口まで問い合わせてください。

- (1) 初回授業当日に調整が行われる科目があります。調整方法について特別な指示事項がある科目は、塾生サイト「日吉設置科目の履修調整（選抜・抽選）について」(<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/restriction.html>)にその詳細を掲載しますので、履修を希望する場合は必ず事前に確認してください。
- (2) 履修申告画面に表示される登録科目は、履修が決定したものではありません。今後の履修調整により不許可になる可能性や、履修申告不備のため修正が必要となる可能性があります。
- (3) 指定された期日までに履修申告しない場合は、修学の意志がないものとして退学処分になることがあります（学部学則第 188 条）。

履修申告調整結果発表

履修申告の結果、履修定員を超えた科目は履修者数調整を行います。調整結果は、K-Support (<http://keio.jp/>) の「履修申告」画面で確認してください。

なお、調整結果の見方は塾生サイト「日吉設置科目の履修調整（選抜・抽選）について」(<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/restriction.html>)で確認してください。

9月29日(月)
16:00
(予定)

- (1) 初回授業当日に調整が行われる科目があります。調整方法について特別な指示事項がある科目は、塾生サイト「日吉設置科目の履修調整（選抜・抽選）について」(<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/restriction.html>) にその詳細を掲載しますので、必ず事前に確認の上、初回授業の前日（23:59）までに履修申告し、初回授業に出席してください。K-LMS には履修申告をした翌朝に反映されるため、初回授業日以降に履修申告を行うと、選抜・抽選を受けられない可能性があります。
- (2) 初回授業当日に調整を行う科目の調整結果は、keio.jp のメールアドレス宛に通知されるので、確認を怠らないようにしてください。
- (3) 「登録済科目確認」画面では、各科目のシラバスや K-LMS へのリンクが表示されます。ただし、二次申告期間中に履修申告した科目や調整結果は即時反映されないので注意してください。

9月29日(月)
16:00
～10月8日(水)
10:00 まで

【秋学期】履修申告期間（二次申告）

対象科目：秋学期科目・秋学期前半科目・秋学期後半科目

申告が完了したら、科目や分野の間違いや不足がないかを必ず確認してください。

二次申告期間後は、指定された履修エラー修正期間、履修登録取消期間（本書 p. 25）を除き、履修申告内容の変更はできませんので、履修申告は十分に慎重を期して行ってください。

登録方法等詳細は塾生サイトの「履修申告操作マニュアル」(<https://www.students.keio.ac.jp/com/class/system/course-registration.html>) で確認してください。

※ Web システムを利用した履修申告が困難な場合は、日吉学生部所属学部窓口まで問い合わせてください。

- (1) 履修申告調整結果を受け、科目の追加・削除を行う場合はこの期間に行ってください。
- (2) 一次申告時に定員に達した科目は追加できません。Web システム上、選択可能な科目が追加可能な科目です。
- (3) 二次申告期間中および二次申告期間終了後に履修定員を超えた場合は、抽選を実施することがあります。塾生サイト「日吉設置科目の履修調整（選抜・抽選）について」(<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/restriction.html>) にその詳細を掲載しますので、必ず事前に確認してください。
- (4) 初回授業当日に調整が行われる科目があります。調整方法について特別な指示事項がある科目は、塾生サイト「日吉設置科目の履修調整（選抜・抽選）について」(<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/restriction.html>) にその詳細を掲載しますので、必ず事前に確認の上、初回授業の前日（23:59）までに履修申告し、初回授業に出席してください。K-LMS には履修申告をした翌朝に反映されるため、初回授業日以降に履修申告を行うと、選抜・抽選を受けられない可能性があります。

restriction.html) にその詳細を掲載しますので、必ず事前に確認の上、初回授業の前日(23:59)までに履修申告し、初回授業に出席してください。K-LMSには履修申告をした翌朝に反映されるため、初回授業日以降に履修申告を行うと、選抜・抽選を受けられない可能性があります。

10月14日(火)
16:00～
(予定)

履修申告科目確認期間

K-Support (<http://keio.jp/>) の「登録済科目確認」から登録科目一覧画面を印刷し、必ず内容を確認してください。
この確認を怠り、エラー修正を所定期間に行わなかった等の場合は、塾生本人の責任になりますので注意してください。

- (1) 履修申告に不備があったり、修正が必要な場合に、日吉学生部から本人へ連絡します。学生部からの指示に従い、履修エラー修正期間に修正してください。

10月15日(水)
8:45
～16日(木)
16:00

履修エラー修正期間

日吉学生部からの指示に従い、修正を行ってください。Webシステムによるエラー修正はできません。

- (1) 日吉学生部から履修申告の不備を指摘された場合は、この期間内に正しく修正申告してください。
- (2) 履修申告に不備がある場合を除き、すでに履修登録済の科目の削除は履修エラー修正期間では認められませんので、注意してください。
- (3) 履修の選抜・抽選に漏れてしまい「不許可」となった科目は数日後に自動で削除されます。削除の手続きは必要ありません。

10月21日(火)10:00～22日(水)16:00
12月11日(木)10:00～12日(金)16:00

履修登録取消期間

詳細は本書 p. 25「履修登録取消制度について」を参照

履修登録取消制度について

所定期間に申告手続きをとることにより、一旦履修登録した科目の履修を取り消すことができます。履修登録取消期間には、対象科目の取り消しのみが可能であり、科目の追加・修正等ではできません。

(1) 履修登録取消期間、対象科目、手続き方法および上限単位数

期間	対象科目	手続き方法	履修取消上限単位数
4月29日(火)10:00 ～30日(水)16:00	通年科目(セット科目含む)・ 春学期科目・春学期前半科目	Web システムで申告	8 単位
6月24日(火)10:00 ～25日(水)16:00	春学期後半科目	Web システムで申告	8 単位
10月21日(火)10:00 ～22日(水)16:00	秋学期科目・秋学期前半科目	Web システムで申告	8 単位
12月11日(木)10:00 ～12日(金)16:00	秋学期後半科目	Web システムで申告	8 単位

ただし、以下の科目は履修登録取消できません。

- ・必修科目、「グローバルリーダーシップセミナー」「総合教育セミナーⅠ・Ⅱ（理工学部主設置科目のみ）」「理工学基礎実験」
- ・必修外国語科目（他学部設置・諸研究所設置科目を必修として履修する場合も含む）

※上記科目を除く総合教育科目、専門基礎科目（選択）は取消可能です。

(2) 履修登録取消上限単位数

履修登録取消期間に履修登録取消ができる単位数は、各期間それぞれ8単位までとします（自由科目を含む）。

(3) 注意事項

- ・進級、卒業条件を満たさなくなるような履修登録取消は認められません。
- ・一度履修登録取消の申告をした科目は、履修を復活することはできません。
- ・履修登録取消を行った科目の成績はつきません。
- ・夏季・冬季・春季休校期間等に行われる集中講義は、当該科目の履修確定日の翌日（休日を除く）から当該科目の授業開始日の翌日（休日を除く）までに、履修登録取消の手続きを所属学部窓口で行うことができます。この取消については、上記の履修登録取消期間ごとに設定されている履修取消上限単位数には含まれません。なお、上記履修登録取消期間に取消を行うことも可能ですが、その場合は各期間ごとに設定されている履修取消上限単位数に含まれます。
- ・他学部・諸研究所設置科目のうち、履修登録取消が認められない科目は、本書 p. 27 および以下の Web ページで確認してください。

<https://www.students.keio.ac.jp/com/class/registration/other-faculties.html>



他学部・他研究科学生の履修を制限する科目 (学部)

【注意事項 (全学部・全研究科)】

※最新情報を必ず以下の URL で確認してください。

<https://www.students.keio.ac.jp/com/class/registration/other-faculties.html>

1. 必ず事前に履修案内等を熟読し、他学部他研究科設置科目履修に必要な手続きをしてください。
下記の科目以外にも、個々の授業によって履修の制限をする場合があります。必ず講義要綱・シラバスを熟読してください。
2. 初回の授業で履修に関するガイダンスや履修の制限を行う場合があります。必ず初回の授業に出席してください。
3. 所属学年による制限もあります。学年条件を満たしていない場合は、制限科目でなくとも履修できません。
4. 秋からは履修できない科目もありますので、シラバスや時間割等で確認してください。

地区	学部	履修可能 学年	制限科目	地区	学部	履修可能 学年	制限科目	地区	学部	履修可能 学年	制限科目
三田	文学部	2年生以上	1. 不可 ◆必修語学科目 (文学部履修案内 第9 [2・3・4年生設置科目] 参照) ◆卒業論文・卒業試験 (研究会は履修可能) 2. 条件付不可 なし 3. 優先される科目 ◆必修科目で、履修者数が多い場合は、文学部生優先となる場合があります。 *上記以外で履修を制限する科目については、別途 Web あるいはシラバスにてお知らせします。 *セット科目・要件科目は科目の性質上、履修できない場合があります。	文学部	2年生以上	1. 不可 (1) 必修語学科目 (文学部履修案内参照) (2) 総論科目すべて ・人文科学特論Ⅰ (2単位)・人文科学特論Ⅱ (2単位) ・社会科学特論Ⅰ (2単位)・社会科学特論Ⅱ (2単位) ・自然科学特論Ⅰ (2単位)・自然科学特論Ⅱ (2単位) (3) 基礎情報処理 (2単位) 2. 条件付不可 なし 3. 優先される科目 文学部 1年生 履修者数が多い場合は、文学部生優先となります。	理工学部	2年生以上	1. 不可 ◆必修科目 ◆1.「不可」以外の講義・演習科目 (科目担当者の許可が必要です。) 下記リンクから科目担当者に連絡してください。 https://www.pha.keio.ac.jp/inquiry/ 3. 優先される科目 ◆履修者が多い場合は、薬学部生が優先されます。		
			◆外国語科目の選択必修科目 *外国語科目の選択必修科目と併設する選択科目は履修可能です (登録番号が異なります) ◆東京科学大学設置科目 *上記以外で履修を制限する科目については、別途 Web にてお知らせします。 2. 条件付不可 ◆PCP 科目、研究プロジェクト科目 *一部の科目を除き、事前選考に合格した学生のみが履修できます。			◆基礎教育科目の必修科目 ◆外国語科目の必修科目、選択必修科目 ◆専門教育科目の必修科目 2. 条件付不可 PEARL 設置科目を履修する場合は、科目担当者及び PEARL アカデミック・ディレクターの許可を得る必要があります。 3. 優先される科目 履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、経済学部生優先となる科目があります。			1. 不可 ◆卒業プロジェクト 1 ◆卒業プロジェクト 2 ◆1.「不可」以外の講義・演習科目 ◆体育 1 ◆体育 2 ◆体育 3 ◆体育 4 ◆体育 5 ◆SFC 実践英語入門 ◆外国語ベータコース ◆外国語・インテンシブ ◆外国語海外研修 ◆フィールド研究 1/2 *外国語ベータコース・インテンシブ・海外研修に限り、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科生の履修を認めます。 *マレー・インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、及び、スペイン語の海外研修については科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。		
	経済学部	3年生以上	1. 不可 ◆外国語科目の選択必修科目 *外国語科目の選択必修科目と併設する選択科目は履修可能です (登録番号が異なります) ◆東京科学大学設置科目 *上記以外で履修を制限する科目については、別途 Web にてお知らせします。 2. 条件付不可 ◆PCP 科目、研究プロジェクト科目 *一部の科目を除き、事前選考に合格した学生のみが履修できます。	経済学部	3年生以上	1. 不可 ◆基礎教育科目の必修科目 ◆外国語科目の必修科目、選択必修科目 ◆専門教育科目の必修科目 2. 条件付不可 PEARL 設置科目を履修する場合は、科目担当者及び PEARL アカデミック・ディレクターの許可を得る必要があります。 3. 優先される科目 履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、経済学部生優先となる科目があります。	総合政策学部	3年生以上	◆卒業プロジェクト 1 ◆卒業プロジェクト 2 ◆1.「不可」以外の講義・演習科目 ◆体育 1 ◆体育 2 ◆体育 3 ◆体育 4 ◆体育 5 ◆SFC 実践英語入門 ◆外国語ベータコース ◆外国語・インテンシブ ◆外国語海外研修 ◆フィールド研究 1/2 *外国語ベータコース・インテンシブ・海外研修に限り、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科生の履修を認めます。 *マレー・インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、及び、スペイン語の海外研修については科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。		
			◆外国語科目の選択必修科目 *外国語科目の選択必修科目と併設する選択科目は履修可能です (登録番号が異なります) ◆東京科学大学設置科目 *上記以外で履修を制限する科目については、別途 Web にてお知らせします。 2. 条件付不可 ◆PCP 科目、研究プロジェクト科目 *一部の科目を除き、事前選考に合格した学生のみが履修できます。			◆基礎教育科目の必修科目 ◆外国語科目の必修科目、選択必修科目 ◆専門教育科目の必修科目 2. 条件付不可 PEARL 設置科目を履修する場合は、科目担当者及び PEARL アカデミック・ディレクターの許可を得る必要があります。 3. 優先される科目 履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、経済学部生優先となる科目があります。			◆卒業プロジェクト 1 ◆卒業プロジェクト 2 ◆1.「不可」以外の講義・演習科目 ◆体育 1 ◆体育 2 ◆体育 3 ◆体育 4 ◆体育 5 ◆SFC 実践英語入門 ◆外国語ベータコース ◆外国語・インテンシブ ◆外国語海外研修 ◆フィールド研究 1/2 *外国語ベータコース・インテンシブ・海外研修に限り、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科生の履修を認めます。 *マレー・インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、及び、スペイン語の海外研修については科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。		
三田	法学部	3年生以上	1. 不可 ◆「会計学Ⅰ/Ⅱ」「経営学Ⅰ/Ⅱ」「金融論Ⅰ」 ◆「経済史Ⅰ/Ⅱ」 (政治学系の学生のみが履修できます) ◆「ローマ法」 ◆「西洋法制度」 2. 条件付不可 なし 3. 優先される科目 履修者数が多い場合は、原則として法学部生優先となります。	法学部	3年生以上	1. 不可 ◆基礎教育科目・専攻科目、総合教育科目の下記科目 「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」「経営学基礎」「商業学基礎」「会計学基礎 (基本簿記と財務諸表の見方)」「微積分基礎」「統計学基礎」「経営学 (組織と戦略)」「経営学 (企業をめぐる諸問題)」「商業学 (マクロ・マーケティング)」「商業学 (ミクロ・マーケティング)」「会計学 (財務会計論Ⅰ)」「会計学 (財務会計論Ⅱ)」「会計学 (管理会計基礎)」「経済学 (ミクロ経済学)」「経済学 (マクロ経済学)」「情報リテラシー基礎」「データとの対話」 2. 条件付不可 なし 3. 優先される科目 上記以外の科目でも履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、商学部生優先となる科目もあります。	湘南工科大学	3年生以上	◆卒業プロジェクト 1 ◆卒業プロジェクト 2 ◆1.「不可」以外の講義・演習科目 ◆体育 1 ◆体育 2 ◆体育 3 ◆体育 4 ◆体育 5 ◆SFC 実践英語入門 ◆外国語ベータコース ◆外国語・インテンシブ ◆外国語海外研修 ◆フィールド研究 1/2 *外国語ベータコース・インテンシブ・海外研修に限り、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科生の履修を認めます。 *マレー・インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、及び、スペイン語の海外研修については科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。		
			◆「会計学Ⅰ/Ⅱ」「経営学Ⅰ/Ⅱ」「金融論Ⅰ」 ◆「経済史Ⅰ/Ⅱ」 (政治学系の学生のみが履修できます) ◆「ローマ法」 ◆「西洋法制度」 2. 条件付不可 なし 3. 優先される科目 履修者数が多い場合は、原則として法学部生優先となります。			◆基礎教育科目・専攻科目、総合教育科目の下記科目 「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」「経営学基礎」「商業学基礎」「会計学基礎 (基本簿記と財務諸表の見方)」「微積分基礎」「統計学基礎」「経営学 (組織と戦略)」「経営学 (企業をめぐる諸問題)」「商業学 (マクロ・マーケティング)」「商業学 (ミクロ・マーケティング)」「会計学 (財務会計論Ⅰ)」「会計学 (財務会計論Ⅱ)」「会計学 (管理会計基礎)」「経済学 (ミクロ経済学)」「経済学 (マクロ経済学)」「情報リテラシー基礎」「データとの対話」 2. 条件付不可 なし 3. 優先される科目 上記以外の科目でも履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、商学部生優先となる科目もあります。			◆卒業プロジェクト 1 ◆卒業プロジェクト 2 ◆1.「不可」以外の講義・演習科目 ◆体育 1 ◆体育 2 ◆体育 3 ◆体育 4 ◆体育 5 ◆SFC 実践英語入門 ◆外国語ベータコース ◆外国語・インテンシブ ◆外国語海外研修 ◆フィールド研究 1/2 *外国語ベータコース・インテンシブ・海外研修に限り、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科生の履修を認めます。 *マレー・インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、及び、スペイン語の海外研修については科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。		
	商学部	3年生以上	1. 不可 ◆「インターンシップ」「国際ビジネス研究」 ◆「研究会 Da・b (タイプ3)」 2. 条件付不可 なし 3. 優先される科目 ◆抽選後人数に余裕があり、授業担当者の了承を得られれば履修可能です。必ず事前に空き状況を三田学生部商学部担当に確認してください。(追加願(所定用紙)に授業担当者の了承が必要でです。) ◆GPP 科目 *「Passport Members' Activity D/S」, 「Passport Members' Workshop Spring/Fall」は GPP 生のみが履修できます。その他のコースワーク科目は、科目担当者が許可した場合は、GPP 生以外でも履修可能です。 3. 優先される科目 ◆履修者数が多い科目は、原則商学部生優先となる場合があります。	商学部	3年生以上	1. 不可 ◆基礎教育科目・専攻科目、総合教育科目の下記科目 「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」「経営学基礎」「商業学基礎」「会計学基礎 (基本簿記と財務諸表の見方)」「微積分基礎」「統計学基礎」「経営学 (組織と戦略)」「経営学 (企業をめぐる諸問題)」「商業学 (マクロ・マーケティング)」「商業学 (ミクロ・マーケティング)」「会計学 (財務会計論Ⅰ)」「会計学 (財務会計論Ⅱ)」「会計学 (管理会計基礎)」「経済学 (ミクロ経済学)」「経済学 (マクロ経済学)」「情報リテラシー基礎」「データとの対話」 2. 条件付不可 なし 3. 優先される科目 上記以外の科目でも履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、商学部生優先となる科目もあります。	看護医療学部	3年生以上	◆卒業プロジェクト 1 ◆卒業プロジェクト 2 ◆1.「不可」以外の講義・演習科目 ◆体育 1 ◆体育 2 ◆体育 3 ◆体育 4 ◆体育 5 ◆SFC 実践英語入門 ◆外国語ベータコース ◆外国語・インテンシブ ◆外国語海外研修 ◆フィールド研究 1/2 *外国語ベータコース・インテンシブ・海外研修に限り、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科生の履修を認めます。 *マレー・インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、及び、スペイン語の海外研修については科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。		
			◆「インターンシップ」「国際ビジネス研究」 ◆「研究会 Da・b (タイプ3)」 2. 条件付不可 なし 3. 優先される科目 ◆抽選後人数に余裕があり、授業担当者の了承を得られれば履修可能です。必ず事前に空き状況を三田学生部商学部担当に確認してください。(追加願(所定用紙)に授業担当者の了承が必要でです。) ◆GPP 科目 *「Passport Members' Activity D/S」, 「Passport Members' Workshop Spring/Fall」は GPP 生のみが履修できます。その他のコースワーク科目は、科目担当者が許可した場合は、GPP 生以外でも履修可能です。 3. 優先される科目 ◆履修者数が多い科目は、原則商学部生優先となる場合があります。			◆基礎教育科目・専攻科目、総合教育科目の下記科目 「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」「経営学基礎」「商業学基礎」「会計学基礎 (基本簿記と財務諸表の見方)」「微積分基礎」「統計学基礎」「経営学 (組織と戦略)」「経営学 (企業をめぐる諸問題)」「商業学 (マクロ・マーケティング)」「商業学 (ミクロ・マーケティング)」「会計学 (財務会計論Ⅰ)」「会計学 (財務会計論Ⅱ)」「会計学 (管理会計基礎)」「経済学 (ミクロ経済学)」「経済学 (マクロ経済学)」「情報リテラシー基礎」「データとの対話」 2. 条件付不可 なし 3. 優先される科目 上記以外の科目でも履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、商学部生優先となる科目もあります。			◆卒業プロジェクト 1 ◆卒業プロジェクト 2 ◆1.「不可」以外の講義・演習科目 ◆体育 1 ◆体育 2 ◆体育 3 ◆体育 4 ◆体育 5 ◆SFC 実践英語入門 ◆外国語ベータコース ◆外国語・インテンシブ ◆外国語海外研修 ◆フィールド研究 1/2 *外国語ベータコース・インテンシブ・海外研修に限り、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科生の履修を認めます。 *マレー・インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、及び、スペイン語の海外研修については科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。		
三田	医学部	3年生以上	1. 不可 ◆外国語科目 ◆基礎教育科目 ◆基礎科学必修科目のうち実験科目 2. 条件付不可 基礎科学必修科目のうち講義科目 *科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。 (上掲あり、講義要綱・シラバス参照) 3. 優先される科目 なし	医学部	3年生以上	1. 不可 ◆基礎教育科目 ◆基礎科学必修科目のうち実験科目 2. 条件付不可 基礎科学必修科目のうち講義科目 *科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。 (上掲あり、講義要綱・シラバス参照) 3. 優先される科目 なし	看護医療学部	3年生以上	◆卒業プロジェクト 1 ◆卒業プロジェクト 2 ◆1.「不可」以外の講義・演習科目 ◆体育 1 ◆体育 2 ◆体育 3 ◆体育 4 ◆体育 5 ◆SFC 実践英語入門 ◆外国語ベータコース ◆外国語・インテンシブ ◆外国語海外研修 ◆フィールド研究 1/2 *外国語ベータコース・インテンシブ・海外研修に限り、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科生の履修を認めます。 *マレー・インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、及び、スペイン語の海外研修については科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。		
			◆外国語科目 ◆基礎教育科目 ◆基礎科学必修科目のうち実験科目 2. 条件付不可 基礎科学必修科目のうち講義科目 *科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。 (上掲あり、講義要綱・シラバス参照) 3. 優先される科目 なし			◆基礎教育科目 ◆基礎科学必修科目のうち実験科目 2. 条件付不可 基礎科学必修科目のうち講義科目 *科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。 (上掲あり、講義要綱・シラバス参照) 3. 優先される科目 なし			◆卒業プロジェクト 1 ◆卒業プロジェクト 2 ◆1.「不可」以外の講義・演習科目 ◆体育 1 ◆体育 2 ◆体育 3 ◆体育 4 ◆体育 5 ◆SFC 実践英語入門 ◆外国語ベータコース ◆外国語・インテンシブ ◆外国語海外研修 ◆フィールド研究 1/2 *外国語ベータコース・インテンシブ・海外研修に限り、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科生の履修を認めます。 *マレー・インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、及び、スペイン語の海外研修については科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。		
	理学部	3年生以上	1. 不可 ◆基礎教育科目 ◆基礎科学必修科目のうち実験科目 2. 条件付不可 基礎科学必修科目のうち講義科目 *科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。 (上掲あり、講義要綱・シラバス参照) 3. 優先される科目 なし	理学部	3年生以上	◆基礎教育科目 ◆基礎科学必修科目のうち実験科目 2. 条件付不可 基礎科学必修科目のうち講義科目 *科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。 (上掲あり、講義要綱・シラバス参照) 3. 優先される科目 なし	看護医療学部	3年生以上	◆卒業プロジェクト 1 ◆卒業プロジェクト 2 ◆1.「不可」以外の講義・演習科目 ◆体育 1 ◆体育 2 ◆体育 3 ◆体育 4 ◆体育 5 ◆SFC 実践英語入門 ◆外国語ベータコース ◆外国語・インテンシブ ◆外国語海外研修 ◆フィールド研究 1/2 *外国語ベータコース・インテンシブ・海外研修に限り、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科生の履修を認めます。 *マレー・インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、及び、スペイン語の海外研修については科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。		
			◆基礎教育科目 ◆基礎科学必修科目のうち実験科目 2. 条件付不可 基礎科学必修科目のうち講義科目 *科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。 (上掲あり、講義要綱・シラバス参照) 3. 優先される科目 なし			◆基礎教育科目 ◆基礎科学必修科目のうち実験科目 2. 条件付不可 基礎科学必修科目のうち講義科目 *科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。 (上掲あり、講義要綱・シラバス参照) 3. 優先される科目 なし			◆卒業プロジェクト 1 ◆卒業プロジェクト 2 ◆1.「不可」以外の講義・演習科目 ◆体育 1 ◆体育 2 ◆体育 3 ◆体育 4 ◆体育 5 ◆SFC 実践英語入門 ◆外国語ベータコース ◆外国語・インテンシブ ◆外国語海外研修 ◆フィールド研究 1/2 *外国語ベータコース・インテンシブ・海外研修に限り、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科生の履修を認めます。 *マレー・インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、及び、スペイン語の海外研修については科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。		
理学部	3年生以上	1. 不可 ◆基礎教育科目 ◆基礎科学必修科目のうち実験科目 2. 条件付不可 基礎科学必修科目のうち講義科目 *科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。 (上掲あり、講義要綱・シラバス参照) 3. 優先される科目 なし	理学部	3年生以上	◆基礎教育科目 ◆基礎科学必修科目のうち実験科目 2. 条件付不可 基礎科学必修科目のうち講義科目 *科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。 (上掲あり、講義要綱・シラバス参照) 3. 優先される科目 なし	看護医療学部	3年生以上	◆卒業プロジェクト 1 ◆卒業プロジェクト 2 ◆1.「不可」以外の講義・演習科目 ◆体育 1 ◆体育 2 ◆体育 3 ◆体育 4 ◆体育 5 ◆SFC 実践英語入門 ◆外国語ベータコース ◆外国語・インテンシブ ◆外国語海外研修 ◆フィールド研究 1/2 *外国語ベータコース・インテンシブ・海外研修に限り、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科生の履修を認めます。 *マレー・インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、及び、スペイン語の海外研修については科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。			
		◆基礎教育科目 ◆基礎科学必修科目のうち実験科目 2. 条件付不可 基礎科学必修科目のうち講義科目 *科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。 (上掲あり、講義要綱・シラバス参照) 3. 優先される科目 なし			◆基礎教育科目 ◆基礎科学必修科目のうち実験科目 2. 条件付不可 基礎科学必修科目のうち講義科目 *科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。 (上掲あり、講義要綱・シラバス参照) 3. 優先される科目 なし			◆卒業プロジェクト 1 ◆卒業プロジェクト 2 ◆1.「不可」以外の講義・演習科目 ◆体育 1 ◆体育 2 ◆体育 3 ◆体育 4 ◆体育 5 ◆SFC 実践英語入門 ◆外国語ベータコース ◆外国語・インテンシブ ◆外国語海外研修 ◆フィールド研究 1/2 *外国語ベータコース・インテンシブ・海外研修に限り、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科生の履修を認めます。 *マレー・インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、及び、スペイン語の海外研修については科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。			

他学部・他研究科生による履修登録取消が認められない科目(学部)

【注意事項（全学部・全研究科）】

※最新情報を必ず以下の URL で確認してください。

<https://www.students.keio.ac.jp/com/class/registration/other-faculties.html>

1. 下記の科目以外にも、個々の授業によって履修登録取消の制限をする場合があります。必ず講義要綱・シラバスを熟読してください。
2. 新規に履修登録取消が制限される場合がありますので、最新情報を K-Support、塾生サイト等で必ず確認してください。
3. 履修する分野や所属学年による制限もありますので、注意してください。

地区	学部	履修取消不可科目	地区	学部	履修取消不可科目	地区	学部	履修取消不可科目
三田	文学部	博物館学実習	日吉	文学部	すべて取消可	湘南藤沢(信濃町春葉含む)	理工学部	機械系のための電気・電子回路 ・機械工学ものづくりプロジェクト
	経済学部	すべて取消可		経済学部	すべて取消可		総合政策学部	言語コミュニケーション科目の海外研修科目、 特別研究プロジェクト A/B、日本語インテン シブ1（春季休校期間集中開講）、その他休校 期間中に実施する科目
	法学部	すべて取消可		法学部	すべて取消可		環境情報学部	性と生殖における健康と権利
	法学部	すべて取消可		医学部	すべて取消可		看護医療学部	—
	商学部	研究演習 D/S ※取消には所定の手続きが必要（Web 上のみ の取消は不可）		理工学部	理工学基礎実験 グローバルリーダーシップセミナー		信濃町	— ※信濃町医学部設置科目は、他学部生の履修 は不可
			薬学部	科目担当者の判断により履修を許可されたす べての科目		芝罘立	薬学部	すべて取消不可

諸研究所・センター設置科目の履修登録取消が認められない科目

履修登録取消を制限する科目は以下のとおりです。

※最新情報を必ず以下の URL で確認してください。

<https://www.students.keio.ac.jp/com/class/registration/other-faculties.html>

研究所・センター	取消制限科目
外国語教育研究センター（日吉）	すべて取消可
外国語教育研究センター（三田）	すべて取消可
福澤研究センター	すべて取消可
斯道文庫	すべて取消可
アートセンター	すべて取消可
メディア・コミュニケーション研究所	すべて取消可
言語文化研究所	すべて取消可
グローバルサーチインスティテュート	すべて取消可
教職課程センター	詳細は履修案内を参照してください。 教職課程センターの一部科目は取消許可が必要となります。
国際センター	すべて取消可
学生総合センター	すべて取消可
体育研究所	すべて取消可
全学共通	すべて取消可

全学共通科目

2025年度より、全学部共通の授業科目として「データサイエンスと人工知能」を開講することになりました。

本科目は、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（MDASH）・リテラシーレベル」におけるモデルカリキュラムに準じ、データサイエンスと人工知能（AI）の概要を、応用事例を中心に幅広く扱います。

設置科目等に関する詳細は、K-Support や、シラバスを確認してください。

履修や単位の扱いは、p. 37 を参照してください。

カリキュラムの概要

履修方法の詳細は「第5 履修にあたって」の章をご覧ください。ここではまず、カリキュラムのねらいと特色を中心にその概要を説明します。

1 カリキュラムのねらいと特色

「今ある最先端を学ぶのではなく、次の最先端を拓く基礎を学ぶ」をモットーに、基礎重視の教育を行います。

- ・このカリキュラムは、上記の点を確固たるものとするために、厳選された必修科目を通して各自が基礎学力、基盤的知識をしっかりと身につけられる授業体系となっています。また、履修計画にゆとりを持たせ、各自の関心に応じた勉強ができるように、科目選択の自由度を高める工夫もなされています。
- ・学部4年を一貫した総合カリキュラムとし、さらに大学院進学率70%以上という現状を考慮し、修士課程を含めた6年間を通じ個性と能力を伸ばせるような、体系的なカリキュラムを組んでいます。

理工学部では、単に科学技術分野の専門家を養成するにとどまらず、科学技術の置かれている現状を的確に把握し、科学技術と人間社会のより良い関係を提案し実現できるような、社会のリーダーの養成を目指しています。

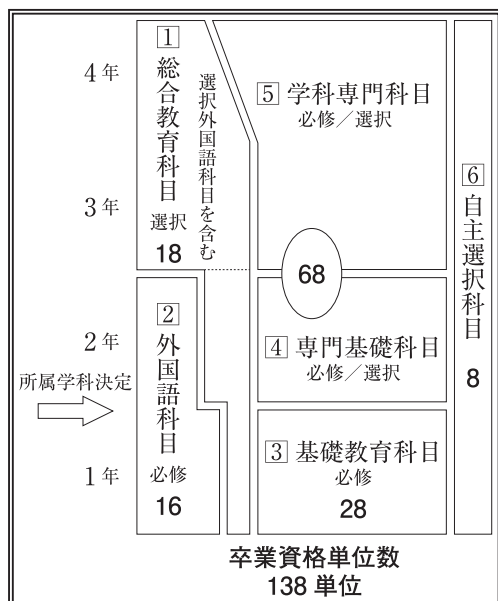
- ・生命、環境、社会、芸術、外国語など、様々な分野の科目を総合教育科目として設置し、理工学部教育の重要な柱のひとつに位置づけています。総合教育科目を学部4年間にわたって学べるようにすることで、視野の広い、柔軟に思考できる科学技術者・研究者を育成します。

今日、あらゆる分野でグローバル化が進む中で、科学者・技術者の活躍の舞台も、ますます国際的な広がりを増しています。

- ・外国語教育においては、いくつもの語種にわたり、コミュニケーション能力の向上を重視した、充実した教育プログラムが学部4年間にわたって準備されています。

2 カリキュラムの構成と内容

授業科目の構成を図に表すと下図のようになります。授業科目は、内容ごとに①総合教育科目、②外国語科目、③基礎教育科目、④専門基礎科目、⑤学科専門科目の5つの科目群に分類されます。図に示したように、それぞれの科目群の科目は、必修のものと選択のものとがあります（詳しくは p. 34「4 科目の種類」を参照）。



また図中の太字の数字は、各科目別にそれぞれ取得しなければならない最低単位数を表しています。卒業資格単位数は**138 単位**と定められていますが、各科目群の取得すべき最低単位数（総合教育科目 **18 単位**、外国語科目 **16 単位**、基礎教育科目 **28 単位**、専門基礎科目および学科専門科目 **68 単位**）を合計すると **130 単位** となり、卒業にはあと **8 単位** が必要となります。この **8 単位** は⑥「**自主選択科目**」と見なされ、必修科目以外の理工学部を設置された科目から、枠組みに制限されずにどれでも自由に取得することができます（「自由科目」とは異なります。以下*参照）。「自主

選択科目」枠を活用することによって、自分の専門分野をさらに深く学ぶことも、専門の枠にとらわれず幅広い分野にわたって学習することも可能となります。自分の将来計画を見すえた上で各自の個性、興味に応じた履修計画を立ててください。

*「自主選択科目」と「自由科目」

「自主選択科目」は理工学部のカリキュラム内に設置された科目で、卒業に必要な単位の8単位分に加算されます。それに対し、「自由科目」は理工学部のカリキュラム外に設置された科目で、進級や卒業の際の必要単位には加算されません。詳細については、p. 34以降を参照してください。

次に、各授業科目で何を学ぶかを簡単に紹介しましょう。

1【総合教育科目】

- ・第1～4学年の4年間を通じて履修することを前提とした科目群で、必要性を感じた時に自分の興味に応じて履修することができます。現代社会の中で自分が置かれている位置と状況を自覚し、将来の自己実現のために役立つ科目が設置されています。

- ・人文・社会・学際系科目，自然科学系科目，各種外国語科目，体育科目等が合計 200 科目近く用意されており，自分の好きな科目を選んで履修します。
- ・総合教育セミナーⅠ・Ⅱは，上限 20 名程度の少人数クラスで今後の研究と将来の社会活動に必要な表現能力を高めることを目的とした演習科目です。
- ・グローバルリーダーシップセミナーは，上限 32 名程度の少人数クラスで，次世代のリーダーとして国際的な場で求められる素養を体得するための週 2 回の演習科目です。日本語と英語を使います。
- ・所属学年により科目の区分および進級・卒業に必要な履修条件が異なりますので注意してください。

【2】外国語科目

- ・本カリキュラムにおける外国語教育全体に共通する特徴は，学部卒業までの 4 年間にわたって語学力を維持・向上させることができる授業体系と，少人数クラス制による密度の濃い教育にあります。
- ・英語は，第 1・2 学年で履修する必修英語と，総合教育科目の枠内で第 1～4 学年を通して履修する選択英語から構成されています。
- ・必修英語では講義要綱を参照して，自分のレベルに応じたクラスを履修します。
- ・選択英語は，多様な内容を持つ複数のコースがレベル別に開設されています。各自の興味と目的に即して学習を継続し，英語力の維持・向上をはかることができます。
- ・第 1 学年では英語の他に外国語をもう 1 つ，必修諸外国語として学びます。設置されている語種はドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語，朝鮮語の 5 つです。第 2 学年以降も引き続き，これらの諸外国語は選択外国語科目（総合教育科目）として，各自の興味と意欲次第で第 4 学年に至るまで履修できます。このほかにアラビア語，イタリア語，スペイン語も日吉では履修できます。
- ・諸外国語科目では，従来の読解中心の教育に加えコミュニケーション能力の養成にも重点をおいた教育を行っています。総合的・実践的な外国語運用能力の養成を目指すインテンシブ・コースとセミ・インテンシブ・コース，スピーキング，ライティング等目的別の各種コースがレベルごとに設置され，多様な関心・目的・レベルに対応しています。

【3】基礎教育科目（第 1 学年）

- ・第 1 学年では，理工学全般の現状を「理工学概論」を通じて見渡しながら，各専門分野での学習・研究に必要な数学，物理学，化学，生物学の基礎を，学門別・学科別（AO 入試入学者）に指定された必修科目として学びます。一方，実験の進め方をこの段階でしっかりと身につけるために実験・実習科目を履修し，さらに「情報学基礎」ではコンピュータ・リテラシーを習得し，全員

がコンピュータに慣れ親しみます。

4【専門基礎科目】（第2学年）

- ・専門基礎科目は、第3・4学年でのより高度な学習を可能にする基礎力をつけるために設けられた科目群で、これより専門教育が始まります。
- ・学科ごとの必修科目は厳選されたものばかりです。多彩な選択科目の中から、本格的に取り組みたいテーマを発見し、専門学習の第一歩を踏み出す機会をつくることをねらいとしています。

5【学科専門科目】（第3・4学年）

- ・第3学年以降に学ぶ本格的な専門科目群で、各学科の学問体系に基づいて厳選された必修科目と、新たな科学技術の開拓に個性を生かして積極的に取り組めるように設置された多彩な選択科目からなっています。さらに、各自が特に重点をおきたい領域の学習が可能になるように、総単位数にも余裕を持たせています。
 - ・第4学年では各自が研究室に所属し、指導教員のもとで卒業研究に取り組めます。各学科では、個性や興味に応じて、多様で充実した卒業研究が行えるようになっています。
- さらに、学科専門科目として10単位を上限に大学院の設置科目を先取りして履修することも可能です。

履修上の注意事項

1 履修申告の日程

「第3 履修申告までの流れ」の章を参照してください。

2 履修申告のしかた

履修申告について

- ・ K-Support (<http://keio.jp/> ※パスワードを忘れてしまった場合は学生証持参の上、各キャンパスの KIC 窓口で確認してください。) ログイン後に、「履修申告」をクリックして履修申告を行ってください。期間中何回でも履修の修正ができ、またエントリーされている科目を画面で確認できます。学内からでも自宅からでも利用できます。
- ・ 必修科目の一部は予め履修登録されている場合があります。誤りがないかご自身で必ず確認してください。再履修科目は「9 再履修方法」を参照のうえ、各自で履修申告してください。

履修申告単位の上限について

年間 54 単位（自由科目は除く）です。

- ・ いかなる事情でも、上限を超えた履修申告は認められません。
- ・ 秋学期に必要な科目を履修することができなくなることをないように計画的に履修してください。
- ・ 春学期履修して不合格（成績評語 D または F）となった科目も秋学期履修申告時の上限単位数の数え上げに含まれます。
- ・ 履修取消を前提に 54 単位を超える履修申告を行うことはできません。

3 Web システムによる履修申告について

科目によって以下のとおり登録方法が違います。

科目を選択した後、A 欄を選択して登録する科目 (B 欄分野の選択不要)

履修表 (p. 42 以降) のとおりに履修する科目

- ① 所属学門・所属学科授業科目（再履修科目を含む）
- ② 総合教育科目（履修表に記載されている科目です）

科目を選択した後、B 欄分野を選択して登録する科目

A 欄対象科目以外のもの（「4 科目の種類」を参照し必ず分野番号を選択してください。）

- ①他学部設置授業科目
- ②他学科設置授業科目
- ③大学付設の研究所・機関設置授業科目
- ④各センター設置授業科目

4 科目の種類

p. 30 の「2 カリキュラムの構成と内容」の図にある科目のうち、進級や卒業に必要な科目は、下の表のように必修科目と選択科目に分類されます。その他に進級や卒業に必要な単位として数えられない自由科目があります。

必修科目	必ず履修して合格しなければならない科目 外国語科目、基礎教育科目、専門基礎（必修）科目など
選択科目	学生各自の希望により選択し、規定単位数以上を合格しなければならない科目 総合教育科目、専門基礎（選択）科目など
自由科目	進級・卒業に必要な単位に加算されない科目 教職課程センター科目、他学部設置授業科目など

① **総合教育科目**：第 1～4 学年を通じて履修することを前提とした科目です。

総合教育科目は、人間社会や自然界に対する深い洞察力や知力を養い、自発的に問題意識を持って行動できる能力を育成する、理工学部教育の大きな柱のひとつです。

履 修 科 目	Web の履修登録方法	
	A/B 欄	B 欄分野
人文・社会・学際系科目(系列 (X) p. 60) 4 単位以上取得すること	A 欄	分野選択不要
自然科学・語学・セミナー・その他科目 (系列 (Y) p. 61)	A 欄	分野選択不要
体育実技 A 2 単位まで (下記⑦)	A 欄	分野選択不要
体育実技 A 3 単位以上履修の場合 (下記⑦)	B 欄	分野 03 選択

注意

①総合教育科目は 4 年間を通して履修できます。卒業条件は 18 単位です。そのうち日吉（第 1・2 学年）は 10 単位、矢上（第 3・4 学年）は 8 単位必要となります。矢上（第 3・4 学年）での 8 単位を日吉在籍中に先取りすることはできません。系列 (X)、系列 (Y) (p. 60～61 参照) にある日吉設置の総合教育科目を 10 単位以上取得する必要がありますが、そのうち少なくとも卒業するまでに 4 単位以上は系列 (X) より取得しなくてはなりません。

- ②第1・2学年において総合教育科目を（第3学年に進級するのに必要な）8単位しか取得しなかった場合、第3・4学年において日吉設置の総合教育科目を2単位以上取得しなければなりません。
- ③卒業に必要な単位を超過した分については、8単位を限度に自主選択科目として卒業に必要な総単位数に加算します。（履修申告は通常の総合教育科目履修方法に従ってください。卒業判定時に超過した単位数の合計が自主選択科目とみなされます。）
- ④Web上のシラバス・時間割に掲載されている科目の中で、同じ科目が理工学部と他学部設置されている場合は、理工学部の登録番号で履修してください。理工学部設置されていない科目は自主選択科目（p. 37 参照）または自由科目（p. 38 参照）の扱いとなりますので注意してください。
- ⑤総合教育科目には同一名称で複数のクラス（担当者別・春・秋別など）が設置されている科目があります。そのような科目は、登録番号がクラスによって異なるので、履修申告の際は特に注意してください。
- ⑥第1・2学年においては矢上設置の総合教育科目（別表 p. 62 参照）は履修できません。
- ⑦体育実技 A は第1～4 学年の間に合計2 単位まで総合教育科目として履修申告することができます。この場合、同一名称の競技種目でも履修できます。3 単位目からは自由科目として履修申告してください。
- ⑧体育実技 B, 体育学講義 I・II, 体育学演習は、総合教育科目として登録することはできません。自由科目として履修申告してください。

- ② **外国語科目**：外国語科目には必修外国語科目と選択外国語科目があり、後者は
①総合教育科目として扱われます。

履 修 科 目	Web の履修登録方法	
	A / B 欄	B 欄分野
必修英語	A 欄	分野選択不要
必修諸外国語	A 欄	分野選択不要
選択外国語（総合教育科目として扱われます）	A 欄	分野選択不要

必修英語について（第 1・2 学年，各 4 単位，計 8 単位）

- ・必修英語のクラスは、別冊の『外国語科目履修案内』（冊子）および Web の案内をよく読んで、各自のレベル・目的・興味に応じてクラスを選択してください。具体的な履修方法・手続き等については、『外国語科目履修案内』（冊子）の「必修選択英語について」を参照してください。
- ・各クラスには定員がありますので希望するクラスに入れない場合もあります。
- ・必修英語は春，秋学期を通して原則同一クラス，同一教員で行われます。
- ・成績は学期ごとに学生諸君に通知されます。

必修諸外国語について（第 1 学年，8 単位）

- ・必修諸外国語（ドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語，朝鮮語）の 1（春学期）と 3（秋学期）は春・秋学期を通して原則として同一クラス，同一教員で行われます。2（春学期）と 4（秋学期）についても同様です。
- ・成績は必修英語と異なり，年度末に一括して学生諸君に通知されます。したがって，春・秋学期の両方に出席していないと各学期の成績評価を受けることができませんので注意してください。
- ・必修諸外国語のクラスは，全語種（ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・朝鮮語）の未習者クラスと，3つの語種（ドイツ語・フランス語・中国語）の既習者クラスから成っています。未習者クラスはゼロからの入門です。すでに入門や初級レベルを超えた水準に達していると担当教員が判断した人には語種を変更してもらうことがあります。また，既習者クラスについても，ネイティブやそれに準ずる人による履修は想定していません。その場合，未習者クラス同様，語種を変更してもらうことがあります。

③ 基礎教育科目：第1学年履修科目で全科目必修（28単位）です。

履修科目	Webの履修登録方法	
	A/B欄	B欄分野
基礎教育科目	A欄	分野選択不要

注意 ①基礎教育科目は指定されたクラスで授業が行われます。数学、化学については学門毎・学科毎（AO入試入学者）に科目が指定されていますので注意してください。

④ 専門基礎科目：第2学年履修科目で必修科目と選択科目があります。履修単位は履修表（p.46以降）を参照してください。

履修科目	Webの履修登録方法	
	A/B欄	B欄分野
専門基礎科目（必修／選択）	A欄	分野選択不要
専門基礎科目（他学科設置の選択科目）（下記②）	B欄	分野02選択

注意 ①専門基礎科目は学科ごとに決められた時間割に従って履修してください。
 ②他学科の専門基礎科目（選択）を履修する場合、「自主選択科目」としてB欄で履修申告してください。
 ③所属学科の専門基礎科目を自由科目として履修することはできません。

⑤ 学科専門科目：第3・4学年で履修します。

⑥ 自主選択科目：卒業に必要な総単位数に8単位を限度として加算される科目です。

履修科目	Webの履修登録方法	
	A/B欄	B欄分野
卒業条件の単位を満たし、超過した単位全て（自由科目を除く） 注意：履修方法は通常の履修方法に従ってください。 卒業判定時に超過した単位数の合計が自主選択科目とみなされます。	A欄	分野選択不要
他学科の専門基礎科目（選択）（専門基礎科目の項注意②参照）	B欄	分野02選択
国際センター設置の授業科目	B欄	分野02選択
外国語教育研究センター設置の授業科目	B欄	分野02選択
教養研究センター設置の授業科目	B欄	分野02選択
保健管理センター設置の授業科目	B欄	分野02選択
福澤研究センター設置の授業科目	B欄	分野02選択
グローバルリサーチインスティテュート設置の授業科目	B欄	分野02選択
斯道文庫設置の授業科目	B欄	分野02選択
教学マネジメント推進センター設置の全学共通科目	A欄	分野選択不要

注意 ①大学付設の研究所・機関設置科目の中には履修申告とは別に、当該研究所でも登録を必要とする場合があります。この場合は両方に申告（登録）する必要があります。

○自由科目：進級・卒業に必要な単位に加算されない科目

履 修 科 目	Web の履修登録方法	
	A / B 欄	B 欄分野
他学部の専門教育科目以外の授業科目	B 欄	分野 03 選択
学生総合センター設置「大学生活における責任と危機管理」	B 欄	分野 03 選択
教職課程センター設置の授業科目	B 欄	分野 03 選択
大学付設の研究所・機関設置科目（下記③）	B 欄	分野 03 選択
すでに取得済の科目と同一名称の授業科目	B 欄	分野 03 選択
履修上限 54 単位を超えて履修する総合教育科目	B 欄	分野 03 選択

注意

- ①第 1 学年では教職課程センター（*）およびメディア・コミュニケーション研究所設置の授業科目を履修することはできません。
*ただし、2019 年度 4 月以降入学の 1 年生は、秋学期開講の一部科目を履修できます。詳細は教職課程センターガイダンス等で確認してください。
- ②他学部の授業科目を履修する場合は、本書 p. 19「他学部設置科目の履修について」を参照してください。
- ③一部の大学付設の研究所・機関設置科目は、自主選択科目として履修できます。詳細は前項「自主選択科目」を参照してください。
- ④大学付設の研究所・機関設置科目の中には履修申告とは別に、当該研究所でも登録を必要とする場合があります。この場合は両方に申告（登録）する必要があります。
- ⑤他学門の基礎教育科目と他学科の専門基礎科目（必修）は、教職を理由とする場合にのみ、自由科目での履修が認められます。

その他履修上の留意事項

1. 履修申告全般について

- ①履修申告に際しては、p. 33 以降を熟読の上、曜日時限の重複、申告漏れなどがないよう十分注意してください。
- ②履修に関する疑問点などは履修申告期限までに、学習指導教員または日吉学生部理工学部窓口にお問い合わせください。
- ③指定された期日までに履修申告のない場合は、修学の意志がないものとして退学処分になることがあります（学部学則第 188 条）。
- ④履修申告期間に、病気などやむを得ない事情で申告できない場合は、申告期限までに速やかに日吉学生部理工学部窓口連絡してください。
- ⑤履修申告科目の確認は履修エラー修正期間までに行い、修正すべき点または疑問点があれば、修正期間内に必ず日吉学生部に申し出てください。この確認を怠ったため生じた不利益（申告漏れ、授業科目の間違いなど）について大学は一切責任を持ちません。
- ⑥科目履修上の諸注意については、つねに Web 等の指示に従ってください。その上でなお疑問点のある場合は、学習指導教員に質問してください。体育科目に関しては体育研究所学習指導教員に質問してください。

2. クラス指定について

- ①時間割にクラス指定のある授業科目は、指定されたクラス以外では履修することができません。
- ②再履修科目については、「9 再履修方法」に従って履修してください。
- ③春学期に必修科目を不合格となった場合、同一年度の秋学期にクラスを変えて再履修することはできません。

3. センター設置の科目について

センター設置の一部科目には、総合教育科目（系列（X））として認められているものがあります。p. 60 を確認してください。

4. 同一科目の履修について

同じ科目名の授業は担当者が異なっても2つ以上履修することはできません。総合教育科目で同じ科目名の授業を2つ以上履修したい場合は、2つめからは自由科目扱いになります。ただし、体育実技 A については p. 35（注意⑦）を参照してください。

5. 登録した科目について

履修申告した授業科目を学期半ばで放棄したり、試験を受けなかった場合、当該科目は不合格（成績評語 D または F）となります。

6. 登録していない科目について

履修申告していない授業科目や登録授業担当者以外の授業科目の試験を受けても無効であり、単位は取得できません。

7. 単位取得について

各学科科目、特に実験科目は、不合格のまま進級すると、授業時間割の重複や授業キャンパスが異なるなどの点で進級学年授業科目の履修に支障をきたしますので不合格にならないよう努力してください。

8. 取得済み科目について

- ①一度合格した授業科目を再度履修することはできません。授業科目名が変更になった場合でも授業内容が同じ科目については、履修することはできません。
- ②原級者は一部の科目を再履修することができる場合があります。詳細は p. 65 「原級者への注意」を参照してください。

9. 学科分けについて

学科分けは第2学年への進級時に行います（AO 入試による入学者は除く）。

5 「遠隔（オンライン）授業」の単位数上限について

2022 年度以降の授業について、「大学設置基準」（文部科学省令）に基づき、大学学部（学士課程）に卒業要件単位数として含めることができる「遠隔（オンライン）授業」（※）の単位数上限は、60 単位と学部学則に明記されました。

各自、授業科目ナンバリング（K-Number）の授業形態項目などを確認し、卒業まで計画的な履修を行ってください。

なお、理工学部では、理工学部設置科目の授業形態を、日吉・矢上両キャンパスともに、原則「対面での授業」とします。

参考：文部科学省 告示・通達 大学等における遠隔授業の取扱いについて（周知）
https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/mext_00027.html

（※）「遠隔（オンライン）授業」とは、全体の講義回数のうち、対面以外で実施される講義回数が、半数を超える授業と定められています。

ただし、2020 年度および 2021 年度にオンライン授業で修得した単位については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による特例措置として、上限の対象外となります。

6 標準課程および履修表

【卒業条件】

4 年以上在学し、学則 128 条に定める授業科目の中から、自由科目（p. 38 参照）を除き、下記の単位数を含めて、**合計138単位**以上を取得したものを卒業とします。

卒業資格単位数 138 単位から下記 130 単位を引いた 8 単位が「**自主選択科目**」に相当します。自主選択科目とは、「卒業条件の単位を満たし、超過した単位全て（自由科目を除く）」を指します。

種 類		機 械 工学科	電気情報 工学科	応 用 化学科	物理情報 工学科	管 理 工学科	数 理 科学科	物 理 学 科	化学科	システムサイ 工学科	情 報 工学科	生命情報 学 科	
総合教育科目	選択	18 (第 1・2 学年日吉設置科目を 10 単位 第 3・4 学年で 8 単位)											
外国語科目	必修	16 (英語 8 単位 ドイツ語, フランス語, ロシア語, 中国語, 朝鮮語のいずれか 1 科目 8 単位)											
基礎教育科目	必修	28 (学門・学科 (AO 入試入学者) による科目指定あり)											
専門 教育 科目	専門基礎 科 目	必修	18	14	20	20	4	12	14	12	19	12	24
	選 択		10	14	8	8	24	12	14	16	10	14	4
	学科専門 科 目	必修	13	17	17	16	13	8	17	21	12	14	15
	選 択		27	23	23	24	27	36	23	19	27	28	25
合 計		130											

※各学科とも他に条件があるので、所属学科の標準課程表を確認してください。

【2年進級条件】

下記に定めた単位数を取得したものは、第2学年に進級します。

外国語科目	必修	6単位以上
基礎教育科目	必修	18単位以上
合 計		24単位以上

【3年進級条件】

第1学年および第2学年にそれぞれ1年以上在学し、下記に定めた単位数を取得したものは、第3学年に進級します。

注意：総合教育科目については、p. 34～35 注意①～⑧を熟読してください。

種 類	機 械 工学科	電気情報 工学科	応 用 化学科	物理情報 工学科	管 理 工学科	数 理 科学科	物 理 学 科	化学科	工学設計 工学科	情 報 工学科	生命情報 学 科
総合教育科目	8 (8単位取得によって第3学年への進級は可能であるが、その場合は第3・4学年において2単位不足分を日吉設置科目で充足することが必要となる)										
外国語科目	12										
基礎教育科目	28 (学門・学科 (AO入試入学者) による科目指定あり)										
専門基礎科目	18 (*10)	18 (*8)	18 (#12)	20 (*12)	##20 (4)	16 (6)	18 (*6)	18 (8)	20 (14)	20 (8)	20 (†18)
	66	66	66	68	68	64	66	66	68	68	68

() は内数で必修単位数を表わします。

*印には理工学基礎実験を含むこと

##印には特別選択科目 14 単位を含むこと

#印には理工学基礎実験、基礎化学実験を含むこと

†印には理工学基礎実験、基礎生命実験を含むこと

【4年進級条件】

第4学年への進級条件は各学科により異なります。第3学年進級時に配布される履修案内などで必ず確認してください。

7 履修表

第1・2学年の理工学部生は以下の表に従って履修を行います。

第1学年 学門別・学科別（AO入試入学者）履修表

〔学門A・B・D〕（2020年度以降入学者）／〔学門1・4・5〕（2019年度以前入学者）

種 類		授業科目	分野コード			授業形態	単位数	履修単位	
必修科目	外国語科目	英語 1	02	01	01	春学期	2	4	
		英語 2	02	01	01	秋学期	2		
		ドイツ語 1	02	02	01	春学期	2	8	
		ドイツ語 2	02	02	01	春学期	2		
		ドイツ語 3	02	02	01	秋学期	2		
		ドイツ語 4	02	02	01	秋学期	2		
		フランス語 1	02	03	01	春学期	2		
		フランス語 2	02	03	01	春学期	2		
		フランス語 3	02	03	01	秋学期	2		
		フランス語 4	02	03	01	秋学期	2		
		ロシア語 1	02	05	01	春学期	2		
		ロシア語 2	02	05	01	春学期	2		
		ロシア語 3	02	05	01	秋学期	2		
		ロシア語 4	02	05	01	秋学期	2		
		中国語 1	02	04	01	春学期	2		
		中国語 2	02	04	01	春学期	2		
		中国語 3	02	04	01	秋学期	2		
		中国語 4	02	04	01	秋学期	2		
		朝鮮語 1	02	06	01	春学期	2		
		朝鮮語 2	02	06	01	春学期	2		
	朝鮮語 3	02	06	01	秋学期	2			
	朝鮮語 4	02	06	01	秋学期	2			
	基礎教育科目	自然科学実験	03	01	01	春／秋学期	2	28	
		情報学基礎	03	01	01	春学期	2		
		理工学概論	03	01	01	春／秋学期	2		
		生物学序論	03	01	01	春／秋学期	2		
		数学 1A	03	01	02	春学期	2		
		数学 2A	03	01	02	春学期	2		
数学 1B		03	01	02	秋学期	2			
数学 2B		03	01	02	秋学期	2			
物理学 A (＊)		03	01	03	春学期前半	2			
物理学 B (＊)		03	01	03	春学期後半	2			
物理学 C (＊)		03	01	03	秋学期前半	2			
物理学 D (＊)		03	01	03	秋学期後半	2			
化学 A		03	01	04	春学期	2			
化学 B		03	01	04	秋学期	2			
選択科目		総合教育科目	系列(X)・(Y) (→ p. 60～61)						

（*）4学期制科目

〔学門 C〕（2020 年度以降入学者）／〔学門 2〕（2019 年度以前入学者）

数理学科所属（AO 入試入学者）

種 類		授業科目	分野コード			授業形態	単位数	履修単位		
必修科目	外国語科目	英語 1	02	01	01	春学期	2	4		
		英語 2	02	01	01	秋学期	2			
		ドイツ語 1	02	02	01	春学期	2	8		
		ドイツ語 2	02	02	01	春学期	2			
		ドイツ語 3	02	02	01	秋学期	2			
		ドイツ語 4	02	02	01	秋学期	2			
		フランス語 1	02	03	01	春学期	2			
		フランス語 2	02	03	01	春学期	2			
		フランス語 3	02	03	01	秋学期	2			
		フランス語 4	02	03	01	秋学期	2			
		ロシア語 1	02	05	01	春学期	2			
		ロシア語 2	02	05	01	春学期	2			
		ロシア語 3	02	05	01	秋学期	2			
		ロシア語 4	02	05	01	秋学期	2			
		中国語 1	02	04	01	春学期	2			
		中国語 2	02	04	01	春学期	2			
		中国語 3	02	04	01	秋学期	2			
		中国語 4	02	04	01	秋学期	2			
		朝鮮語 1	02	06	01	春学期	2			
		朝鮮語 2	02	06	01	春学期	2			
	朝鮮語 3	02	06	01	秋学期	2				
	朝鮮語 4	02	06	01	秋学期	2				
	基礎教育科目	自然科学実験	03	01	01	春／秋学期	2	28		
		情報学基礎	03	01	01	春学期	2			
		理工学概論	03	01	01	春／秋学期	2			
		生物学序論	03	01	01	春／秋学期	2			
		数学 3A	03	01	02	春学期	2			
		数学 2A(2024 年度以降)	03	01	02	春学期	2			
数学 4A(2023 年度以前)										
数学 3B		03	01	02	秋学期	2				
数学 2B(2024 年度以降)		03	01	02	秋学期	2				
数学 4B(2023 年度以前)										
物理学 A (＊)		03	01	03	春学期前半	2				
物理学 B (＊)		03	01	03	春学期後半	2				
物理学 C (＊)		03	01	03	秋学期前半	2				
物理学 D (＊)		03	01	03	秋学期後半	2				
化学 A		03	01	04	春学期	2				
化学 B		03	01	04	秋学期	2				
選択科目		総合教育科目	系列(X)・(Y) (→ p. 60～61)							

(＊) 4 学期制科目

・2024 年度より,「数学 4A」は「数学 2A」に,「数学 4B」は「数学 2B」に統合しました。
 2023 年度以前に「数学 4A」「数学 4B」の単位を既に取得している場合は「数学 2A」「数学 2B」を履修することはできません。

[学門E] (2020年度以降入学者) / [学門3] (2019年度以前入学者)

化学科所属 (AO入試入学者)

種 類		授業科目	分野コード			授業形態	単位数	履修単位
必修科目	外国語科目	英語 1	02	01	01	春学期	2	4
		英語 2	02	01	01	秋学期	2	
		ドイツ語 1	02	02	01	春学期	2	8
		ドイツ語 2	02	02	01	春学期	2	
		ドイツ語 3	02	02	01	秋学期	2	
		ドイツ語 4	02	02	01	秋学期	2	
		フランス語 1	02	03	01	春学期	2	
		フランス語 2	02	03	01	春学期	2	
		フランス語 3	02	03	01	秋学期	2	
		フランス語 4	02	03	01	秋学期	2	
		ロシア語 1	02	05	01	春学期	2	
		ロシア語 2	02	05	01	春学期	2	
		ロシア語 3	02	05	01	秋学期	2	
		ロシア語 4	02	05	01	秋学期	2	
		中国語 1	02	04	01	春学期	2	
		中国語 2	02	04	01	春学期	2	
		中国語 3	02	04	01	秋学期	2	
		中国語 4	02	04	01	秋学期	2	
		朝鮮語 1	02	06	01	春学期	2	
		朝鮮語 2	02	06	01	春学期	2	
		朝鮮語 3	02	06	01	秋学期	2	
		朝鮮語 4	02	06	01	秋学期	2	
	基礎教育科目	自然科学実験	03	01	01	春／秋学期	2	28
		情報学基礎	03	01	01	春学期	2	
		理工学概論	03	01	01	春／秋学期	2	
		生物学序論	03	01	01	春／秋学期	2	
		数学 1A	03	01	02	春学期	2	
		数学 2A	03	01	02	春学期	2	
		数学 1B	03	01	02	秋学期	2	
		物理学 A (＊)	03	01	03	春学期前半	2	
		物理学 B (＊)	03	01	03	春学期後半	2	
		物理学 C (＊)	03	01	03	秋学期前半	2	
		物理学 D (＊)	03	01	03	秋学期後半	2	
		化学 A	03	01	04	春学期	2	
		化学 C	03	01	04	秋学期	2	
		化学 D	03	01	04	秋学期	2	
選択科目	総合教育科目	系列(X)・(Y) (→ p. 60～61)						

(*) 4学期制科目

電気情報工学科所属 (AO 入試入学者)

種 類		授業科目	分野コード			授業形態	単位数	履修単位
必修科目	外国語科目	英語 1	02	01	01	春学期	2	4
		英語 2	02	01	01	秋学期	2	
		ドイツ語 1	02	02	01	春学期	2	8
		ドイツ語 2	02	02	01	春学期	2	
		ドイツ語 3	02	02	01	秋学期	2	
		ドイツ語 4	02	02	01	秋学期	2	
		フランス語 1	02	03	01	春学期	2	
		フランス語 2	02	03	01	春学期	2	
		フランス語 3	02	03	01	秋学期	2	
		フランス語 4	02	03	01	秋学期	2	
		ロシア語 1	02	05	01	春学期	2	
		ロシア語 2	02	05	01	春学期	2	
		ロシア語 3	02	05	01	秋学期	2	
		ロシア語 4	02	05	01	秋学期	2	
		中国語 1	02	04	01	春学期	2	
		中国語 2	02	04	01	春学期	2	
		中国語 3	02	04	01	秋学期	2	
		中国語 4	02	04	01	秋学期	2	
		朝鮮語 1	02	06	01	春学期	2	
		朝鮮語 2	02	06	01	春学期	2	
	朝鮮語 3	02	06	01	秋学期	2		
	朝鮮語 4	02	06	01	秋学期	2		
	基礎教育科目	自然科学実験	03	01	01	春／秋学期	2	28
		情報学基礎	03	01	01	春学期	2	
		理工学概論	03	01	01	春／秋学期	2	
		数学 1A	03	01	02	春学期	2	
		数学 2A	03	01	02	春学期	2	
		数学 1B	03	01	02	秋学期	2	
数学 2B		03	01	02	秋学期	2		
物理学 A (＊)		03	01	03	春学期前半	2		
物理学 B (＊)		03	01	03	春学期後半	2		
物理学 C (＊)		03	01	03	秋学期前半	2		
物理学 D (＊)		03	01	03	秋学期後半	2		
化学 A		03	01	04	春学期	2		
電気情報工学入門セミナーⅠ	03	01	05	春学期	2			
電気情報工学入門セミナーⅡ	03	01	05	秋学期	2			
選択科目	総合教育科目	系列(X)・(Y) (→ p. 60～61)						

(＊) 4 学期制科目

・基礎教育科目の「生物学序論」および「化学 B」については、自主選択科目として履修することが可能です。

履修する場合は、指定された所属クラスの授業を履修してください。

第2学年 学科別履修表

機械工学科

種 類		授業科目	分野コード			授業形態	単位数	履修単位
必修科目	外国語科目	英語 3	02	01	01	春学期	2	4
		英語 4	02	01	01	秋学期	2	
	専門基礎科目	応用解析第 1	04	01	01	春学期	2	18
		機械力学の基礎(＊)	04	01	01	春学期前半	2	
		材料力学の基礎(＊)	04	01	01	春学期後半	2	
		図形情報処理	04	01	01	春学期	2	
		理工学基礎実験	04	01	01	春学期	2	
		機械工学創造演習	04	01	01	秋学期	2	
		形状情報の表現	04	01	01	秋学期	2	
		熱力学の基礎(＊)	04	01	01	秋学期前半	2	
流体力学の基礎(＊)	04	01	01	秋学期後半	2			
選択科目	専門基礎科目	解析力学	04	01	02	春学期	2	10
		確率	04	01	02	春学期	2	
		計算機基礎	04	01	02	春学期	2	
		集合と論理	04	01	02	春学期	2	
		数学解析第 1	04	01	02	春学期	2	
		線形代数	04	01	02	春学期	2	
		複素解析	04	01	02	休講	2	
		量子力学入門	04	01	02	春学期	2	
		応用解析第 2	04	01	02	秋学期	2	
		応用確率論	04	01	02	秋学期	2	
		応用数学	04	01	02	秋学期	2	
		幾何学序論	04	01	02	秋学期	2	
		材料科学の基礎	04	01	02	秋学期	2	
		数学解析第 2	04	01	02	秋学期	2	
		ダイナミカルシステム制御の基礎	04	01	02	休講	2	
		電子回路基礎	04	01	02	秋学期	2	
統計解析	04	01	02	秋学期	2			
総合教育科目		系列(X)・(Y) (→ p. 60～61)						

(*) 4学期制科目

工場見学について：機械工学やその技術が実際の生産現場や研究・開発の過程でどのように活用されているかを見聞し体得するもので、2年次の春休みに20名前後のグループで異業種3工場を見学し、次年度春学期の指定された期日までにそのレポートを提出する。11月以降、ガイダンスを3回実施するため、学科や学生課からの案内に注意すること。なお、休学期間中の工場見学参加は認められない（休学期間中の活動は単位認定しない）ため、特別な事情がない限り2年次の参加を推奨する。

【機械工学科の学習・教育目標について】

慶應義塾は1858年以来、「気品の泉源」、「智徳の模範」を目指す学塾として、「独立自尊」を体現する人材の育成を行ってきた。機械工学科においても、この精神のもと、自らの力で世界を先導することのできる創造性と総合力のある技術者・研究者の育成を目指している。すなわち、実体験、基礎、個性、コミュニケーション重視のもとに、機械工学の基盤である力学体系を理解するとともに、技術者倫理を踏まえ、地球環境・社会環境も視野に入れた総合的な現象解明や創造的な設計・もの創りを行う能力のある技術者・研究者の育成を行うことを本学科の学習・教育目標としている。以下に、学習・教育目標の詳細を箇条書きにして示す。

○学習・教育目標（箇条書き）

(A) 基礎的理解

- (A-1) 数学、物理学、化学、生物学などの自然科学の基本を理解していること。
- (A-2) 機械工学の根幹をなす力学体系に関する基本理論を理解するとともに、これを問題に適用して理論解析できる能力を身に付けていること。
- (A-3) 機械工学の基礎となる設計法・加工法の基本を理解するとともに、設計目的や加工法を考慮して設計を行える能力を身に付けていること。
- (A-4) 幅広い教養（多様な文化、歴史、経済、福祉等の問題を理解する能力）を身に付けるとともに、機械工学を取り巻く技術者倫理問題、地球環境問題、社会環境問題の基本を理解していること。

(B) モデル化能力・解析力・数値計算力

- (B-1) 機械工学の基盤である力学体系に即した現象のモデル化手法および数値解析法を理解するとともに、実際に解析する能力を身に付けていること。
- (B-2) 機械工学の基盤である設計法に関し、計算機援用設計法・加工法・解析法（CAD, CAM, CAE）を理解するとともに、実際にこれらを用いる能力を身に付けていること。
- (B-3) 機械システムなどの人工物を、様々な設計目的、設計条件（地球環境問題、社会環境問題、製造者責任、経済性などの環境条件を含む）のもとで適切に設計するための、総合的な設計問題モデル化能力を身に付けていること。

(C) 問題発掘力・創造力・遂行力

- (C-1) 地球環境問題・社会環境問題・技術者倫理問題も含めた幅広い分野に関する実態や動向について調査し、問題を発掘する能力を身に付けていること。
- (C-2) 演繹的、帰納的、仮説的な推論を繰り返しながら、問題解決のための合理的な方策を考案あるいは創造する能力を身に付けていること。
- (C-3) 問題解決に至るプロセスを、自主的に、あるいは他者との協働により遂行し、結果をまとめることのできる能力を身に付けていること。

(D) 表現力・コミュニケーション能力

- (D-1) 実験、解析、設計、研究の経過や成果等について、他者に論理的に伝える文章能力ならびにプレゼンテーション能力を身に付けていること。
- (D-2) 多様な価値観を持つ他者と議論し相互理解できるコミュニケーション能力を身に付けていること。
- (D-3) 英語力の基礎を身に付けていること。また、専門的な内容について英語でコミュニケーションする能力の基礎を身に付けていること。

表：学習・教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ（アンダーラインは必修科目，＊は春学期または秋学期のいずれかに受講する科目）
 (○は学習・教育目標を達成するために特に重要な科目，○は比較的重要な科目である。)

学習・教育 目 標	科目 区分	授業科目名						4年春	4年秋
		1年春	1年秋	2年春	2年秋	3年春	3年秋		
(A-1)	○	数学 1A 物理 2A 物理 B 化学 A 自然科学基礎＊ 自然科学実験＊	数学 1B 数学 2B 物理 C 物理 D 化学 B 自然科学基礎＊ 自然科学実験＊	応用解析第 1 解析力学 確率 集合と論理 数学解析第 1 数学代数学 線形代数 線形科学実験＊	応用数学 統計解析第 2 統計解析 幾何学序論 統計解析第 2 応用確率論	機械工学総合実験＊ 統計解析の基礎 コンピュータシミュレーションの基礎	機械工学総合実験＊		
	○			機械力学の基礎 材料力学の基礎 流体力学の基礎 熱力学の基礎 電子回路入門 量子力学入門	機械工学創設演習 熱力学の基礎 流体力学の基礎 熱力学の基礎 電子回路基礎	エネルギー変換工学 構造材料の科学 材料力学 熱工学 流体力学 連続体の力学 機械力学 熱・物質移動論 テザリング科学の基礎 LAGRANGIAN AND HAMILTONIAN DYNAMICS	応用流体力学 材料と構造の強度学 反応システムと環境 マテリアルデザイン ロボティクス・メカトロニクス コンピュータシミュレーションの応用 分子動力学 ダイナミクス APPLIED PARTIAL DIFFERENTIAL EQUATIONS	卒業研究 航空宇宙工学 コンピュータグラフィクス	卒業研究
(A-2)	○			機械力学の基礎 材料力学の基礎 理工学基礎実験 理工学基礎実験	熱力学の基礎 流体力学の基礎 ダイナミクスシステム制御の基礎 材料力学の基礎	機械工学総合実験＊ 機械工学デザイン演習＊ エネルギー変換工学 構造材料の科学 材料力学 熱工学 流体力学 連続体の力学 機械力学 熱・物質移動論	機械工学総合実験＊ 機械工学デザイン演習＊ 応用流体力学 材料と構造の強度学 反応システムと環境 機械系のための電気・電子回路	卒業研究	卒業研究
	○	自然科学実験＊	自然科学実験＊	応用解析第 1 解析力学	機械工学創設演習 応用数学	コンピュータシミュレーションの基礎 加工学の基礎	反応システムと環境 マテリアルデザイン ロボティクス・メカトロニクス コンピュータシミュレーションの応用 分子動力学 ダイナミクス 機械工学のづくりプロジェクト 学外実習	航空宇宙工学	
(A-3)	○				形状情報の表現	機械工学総合実験＊ 熱工学の基礎 加工学の基礎	機械工学総合実験＊ 機械工学デザイン演習＊	人間工学	
	○			機械力学の基礎 理工学基礎実験 図形情報処理	機械工学創設演習	構造材料の科学 デザイン科学の基礎	マテリアルデザイン ロボティクス・メカトロニクス コンピュータグラフィクス 学外実習	卒業研究 航空宇宙工学 コンピュータグラフィクス	卒業研究
(A-4)	○	理工学概論＊	理工学概論＊			機械工学デザイン演習＊ 工場見学	機械工学デザイン演習＊ 統計解析の基礎 学外実習	卒業研究	卒業研究
	○				機械工学創設演習 熱力学の基礎	エネルギー変換工学 熱工学・材料科学の基礎 熱・物質移動論 機械工学特別講義	応用流体力学 反応システムと環境 機械工学のづくりプロジェクト	人間工学	

学習・教育 目 標	科目 区分	授業科目名					
		1年春	1年秋	2年春	2年秋	3年春	3年秋
(B-1)	○	自然科学実験 [※] 物理学基礎		応用解析第1 材料力学の基礎 理工学基礎実験 解析力学 計算機基礎	機械工学創設演習 流体力学の基礎 ダイナミクスシステム制御の基礎	機械工学総合実験 [※] コンピュータサイエンス演習 [※] コンピュータサイエンス演習 [※]	機械工学総合実験 [※] 機械工学デザイン演習 [※] 分子動力学
	○	自然科学実験 [※] 化学学基礎	自然科学実験 [※]		機械工学創設演習 流体力学の基礎 熱力学 熱伝導 熱・物質移動論 LAGRANGIAN AND HAMILTONIAN DYNAMICS	エネルギー・変換工学 熱力学 流体力学 熱伝導 熱・物質移動論 LAGRANGIAN AND HAMILTONIAN DYNAMICS	応用流体力学 熱力学の基礎 機械系のための電気・電子回路 マテリアルデザイン ダイナミクスシステムと安定性 APPLIED PARTIAL DIFFERENTIAL EQUATIONS 機械工学ものづくりプロジェクト 学外実習
	◎			図形表現処理	形状測量の表現	機械工学デザイン演習 [※]	機械工学デザイン演習 [※] コンピュータグラフィックスの応用 コンピュテーショナルグラフィックス
(B-2)	○	物理学基礎			機械工学創設演習	デザイン科学の基礎 加工学の基礎	機械工学ものづくりプロジェクト 学外実習
	◎					機械工学総合実験 [※] 機械工学デザイン演習 [※]	機械工学総合実験 [※] 機械工学デザイン演習 [※] 創造と倫理
	○	理工学概論 [※]	理工学概論 [※]	機械力学の基礎 材料力学の基礎	機械工学創設演習	エネルギー・変換工学 材料工学 振動工学 デザイン科学の基礎	応用流体力学 材料と構造の強度学 制御工学 反応システムと環境 ロボティクス・メカトロニクス 機械工学ものづくりプロジェクト 学外実習
(C-1)	◎	自然科学実験 [※]	自然科学実験 [※]	理工学基礎実験		機械工学総合実験 [※] 機械工学デザイン演習 [※]	機械工学総合実験 [※] 機械工学デザイン演習 [※]
	○	理工学概論 [※]	理工学概論 [※]		機械工学創設演習 形状測量の表現 流体力学の基礎	工場見学 流体力学 機械工学演習 1 機械工学総合実験 [※] 機械工学演習 2	反応システムと環境 分子動力学 学外実習
(C-2)	◎				機械工学創設演習	機械工学総合実験 [※] 機械工学演習 2	機械工学総合実験 [※] 機械工学演習 2 機械工学ものづくりプロジェクト
	○					デザイン科学の基礎	創造と倫理 応用流体力学 反応システムと環境 コンピュータシミュレーションの応用 学外実習
(C-3)	◎				機械工学創設演習	機械工学デザイン演習 [※]	機械工学デザイン演習 [※] 機械工学ものづくりプロジェクト
	○					精密材料の科学 流体力学	創造と倫理 コンピュータグラフィックスの応用 コンピュテーショナルグラフィックス
(D-1)	◎				機械工学創設演習	機械工学総合実験 [※] 機械工学デザイン演習 [※] 工場見学	機械工学総合実験 [※] 機械工学デザイン演習 [※] 創造と倫理 コンピュータグラフィックスの応用 学外実習
	○	自然科学実験 [※] 物理学基礎	自然科学実験 [※]	理工学基礎実験			人間工学
(D-2)	◎	英語1	英語 2	英語 3	英語 4	機械工学デザイン演習 [※]	機械工学デザイン演習 [※] 機械工学ものづくりプロジェクト
	○					流体力学 LAGRANGIAN AND HAMILTONIAN DYNAMICS	応用流体力学 APPLIED PARTIAL DIFFERENTIAL EQUATIONS
(D-3)	◎	英語1	英語 2	英語 3	英語 4	流体力学 LAGRANGIAN AND HAMILTONIAN DYNAMICS	人間工学
	○					流体力学 LAGRANGIAN AND HAMILTONIAN DYNAMICS	応用流体力学 APPLIED PARTIAL DIFFERENTIAL EQUATIONS

電気情報工学科

種 類		授業科目	分野コード			授業形態	単位数	履修単位	
必修科目	外国語科目	英語 3	02	01	01	春学期	2	4	
		英語 4	02	01	01	秋学期	2		
	専門基礎科目	エレクトロニクス基礎	04	01	01	春学期	2	14	
		電気回路基礎	04	01	01	春学期	2		
		電気情報工学セミナーⅠ	04	01	01	春学期	2		
		プログラム実習	04	01	01	春学期	2		
		理工学基礎実験	04	01	01	春学期	2		
		デジタル・アナログ回路	04	01	01	秋学期	2		
		量子力学基礎	04	01	01	秋学期	2		
選択科目	専門基礎科目	応用解析第 1	04	01	02	春学期	2	14	
		応用確率論	04	01	02	春学期	2		
		確率(教)	04	01	02	春学期	2		
		集合と論理(教)	04	01	02	春学期	2		
		電気情報数学基礎	04	01	02	春学期	2		
		電磁気学	04	01	02	春学期	2		
		アルゴリズム同演習	04	01	02	秋学期	2		
		エレクトロニクス・デバイス	04	01	02	秋学期	2		
		応用解析第 2	04	01	02	秋学期	2		
		応用数学	04	01	02	秋学期	2		
		幾何学序論(教)	04	01	02	秋学期	2		
		光学基礎	04	01	02	秋学期	2		
		通信ネットワーク工学基礎	04	01	02	秋学期	2		
		電気回路理論	04	01	02	秋学期	2		
		電気情報工学セミナーⅡ	04	01	02	秋学期	2		
		電気電子材料	04	01	02	秋学期	2		
		光デバイス工学	04	01	02	秋学期	2		
		総合教育科目		系列(X)・(Y) (→ p. 60～61)					

- ・資格試験等と履修科目との関係については、p. 89 以降を参照してください。
- ・(教)印科目は、教員免許取得を希望する学生向けの科目となります。
- ・2024 年度より、選択科目「複素解析」は「電気情報数学基礎」に名称変更しました。2023 年度以前に「複素解析」の単位を既に取得している場合は「電気情報数学基礎」を履修することはできません。

応用化学科

種 類		授業科目	分野コード			授業形態	単位数	履修単位
必修科目	外国語科目	英語 3	02	01	01	春学期	2	4
		英語 4	02	01	01	秋学期	2	
	専門基礎科目	物理化学基礎 1	04	01	01	春学期	2	20
		分析化学基礎	04	01	01	春学期	2	
		無機化学基礎	04	01	01	春学期	2	
		有機化学基礎	04	01	01	春学期	2	
		理工学基礎実験	04	01	01	春学期	2	
		基礎化学実験	04	01	01	秋学期	2	
		高分子化学基礎	04	01	01	秋学期	2	
		生体物質化学基礎	04	01	01	秋学期	2	
		物理化学基礎 2	04	01	01	秋学期	2	
		物理化学基礎 3	04	01	01	秋学期	2	
選択科目	専門基礎科目	○応用化学計算基礎	04	01	02	春学期	2	8
		○量子化学基礎	04	01	02	春学期	2	
		応用解析第 1	04	01	02	春学期	2	
		周期表の化学基礎	04	01	02	春学期	2	
		線形代数	04	01	02	春学期	2	
		マテリアルデザイン概論 1	04	01	02	春学期	2	
		環境化学概論	04	01	02	秋学期	2	
		統計解析	04	01	02	秋学期	2	
		分析化学	04	01	02	秋学期	2	
		マテリアルデザイン概論 2	04	01	02	秋学期	2	
		総合教育科目	系列(X)・(Y) (→ p. 60～61)					

専門基礎科目のうち○印のついた、応用化学計算基礎、量子化学基礎、第3学年に設置される応用化学系英語、化学防災と安全工学、生物化学の5科目は、学科基盤教育科目に指定された特別な選択科目です。できるだけ履修してください。

物理情報工学科

種 類		授業科目	分野コード			授業形態	単位数	履修単位
必修科目	外国語科目	英語 3	02	01	01	春学期	2	4
		英語 4	02	01	01	秋学期	2	
	専門基礎科目	電気回路同演習	04	01	01	春学期	2	20
		電磁気学同演習	04	01	01	春学期	2	
		物理情報数学 A	04	01	01	春学期	2	
		物理情報数学 B	04	01	01	春学期	2	
		理工学基礎実験	04	01	01	春学期	2	
		電子回路同演習	04	01	01	秋学期	2	
		熱物理(*)	04	01	01	秋学期前半	2	
		物理情報数学 C	04	01	01	秋学期	2	
		プログラミング基礎同演習	04	01	01	秋学期	2	
		量子力学入門(*)	04	01	01	秋学期後半	2	
選択科目	専門基礎科目	オブティクス	04	01	02	春学期	2	8
		デジタル基礎	04	01	02	春学期	2	
		応用確率論	04	01	02	秋学期	2	
		応用電磁気学同演習	04	01	02	秋学期	2	
		計測工学	04	01	02	秋学期	2	
		生体計測	04	01	02	休 講	2	
		物性物理基礎	04	01	02	秋学期	2	
		分布系の数理	04	01	02	秋学期	2	
		総合教育科目	系列(X)・(Y) (→ p. 60～61)					

(*) 4 学期制科目

管理工学科

種 類		授業科目	分野コード			授業形態	単位数	履修単位
必修科目	外国語科目	英語 3	02	01	01	春学期	2	4
		英語 4	02	01	01	秋学期	2	
	専門基礎科目	管理工学基礎演習Ⅰ	04	01	01	春学期	1	4
		管理工学基礎演習Ⅱ	04	01	01	秋学期	1	
		理工学基礎実験	04	01	01	秋学期	2	
選択科目	専門基礎科目	○インダストリアル・エンジニアリング	04	01	02	春学期	2	24
		○確率	04	01	02	春学期	2	
		○管理工学用数学	04	01	02	春学期	2	
		○経営管理論	04	01	02	春学期	2	
		○プログラミング言語	04	01	02	春学期	2	
		計算機基礎	04	01	02	春学期	2	
		集合と論理	04	01	02	春学期	2	
		情報数学概論	04	01	02	春学期	2	
		数学解析第1	04	01	02	春学期	2	
		線形代数	04	01	02	春学期	2	
		○アルゴリズム論	04	01	02	秋学期	2	
		○オペレーションズ・リサーチ第1	04	01	02	秋学期	2	
		○経済性工学	04	01	02	秋学期	2	
		○ソフトウェア工学	04	01	02	秋学期	2	
		○統計解析	04	01	02	秋学期	2	
		○人間工学Ⅰ	04	01	02	秋学期	2	
		○ビジネスエコノミクス第1	04	01	02	秋学期	2	
		応用解析第2(教)	04	01	02	秋学期	2	
		管理工学概論	04	01	02	秋学期	2	
		幾何学序論(教)	04	01	02	秋学期	2	
総合教育科目		系列(X)・(Y) (→ p. 60～61)						

注) 専門基礎科目のうち○印のついた、インダストリアル・エンジニアリング、確率、管理工学用数学、経営管理論、プログラミング言語、アルゴリズム論、オペレーションズ・リサーチ第1、経済性工学、ソフトウェア工学、統計解析、人間工学Ⅰ、ビジネスエコノミクス第1の計12科目は、特別に指定された選択科目です。第3学年に進級するためには、特別に指定された選択科目12科目中14単位以上合格しなければなりません。第4学年に進級するためには、特別に指定された選択科目12科目のうち18単位以上合格しなければなりません。卒業するためには、これら12科目のうち20単位以上合格しなければなりません。

・(教)印科目は、教員免許取得を希望する学生向けの科目となります。

数理科学科

種 類		授業科目	分野コード			授業形態	単位数	履修単位
必修科目	外国語科目	英語 3	02	01	01	春学期	2	4
		英語 4	02	01	01	秋学期	2	
	専門基礎科目	数理科学基礎第 1 同演習	04	01	01	春学期	3	12
		線形代数	04	01	01	春学期	2	
		数理科学基礎第 2	04	01	01	秋学期	2	
		計算機科学同実習	04	01	01	秋学期	3	
統計科学概論		04	01	01	秋学期	2		
選択科目	専門基礎科目	○応用解析第 1	04	01	02	春学期	2	12
		○情報数学概論	04	01	02	春学期	2	
		○数学解析第 1	04	01	02	春学期	2	
		解析力学	04	01	02	春学期	2	
		確率	04	01	02	春学期	2	
		計算機基礎	04	01	02	春学期	2	
		量子力学入門	04	01	02	春学期	2	
		○位相空間論	04	01	02	秋学期	2	
		○幾何学序論	04	01	02	秋学期	2	
		○数学解析第 2	04	01	02	秋学期	2	
		○代数学基礎同演習	04	01	02	秋学期	3	
		応用解析第 2	04	01	02	秋学期	2	
		統計解析	04	01	02	秋学期	2	
		理工学基礎実験	04	01	02	秋学期	2	
	総合教育科目	系列(X)・(Y) (→ p. 60～61)						

専門基礎科目のうち○印のついた、応用解析第 1、情報数学概論、数学解析第 1、位相空間論、幾何学序論、数学解析第 2、代数学基礎同演習の 7 科目は、数理科学において基礎となる特別な選択科目です。これらの科目を履修することを推奨します。

※他学科設置「集合と論理」は「数理科学基礎第 1 同演習」と内容が重複するため、自主選択科目として履修することはできません。

物理学科

種 類		授業科目	分野コード			授業形態	単位数	履修単位
必修科目	外国語科目	英語 3	02	01	01	春学期	2	4
		英語 4	02	01	01	秋学期	2	
	専門基礎科目	解析力学	04	01	01	春学期	2	14
		理工学基礎実験	04	01	01	春学期	2	
		量子力学入門	04	01	01	春学期	2	
		電磁気学第 1	04	01	01	秋学期	2	
		熱力学	04	01	01	秋学期	2	
		物理数学	04	01	01	秋学期	2	
	量子力学第 1	04	01	01	秋学期	2		
選択科目	専門基礎科目	応用解析第 1	04	01	02	春学期	2	14
		確率	04	01	02	春学期	2	
		計算機基礎	04	01	02	春学期	2	
		周期表の化学基礎	04	01	02	春学期	2	
		振動と波動	04	01	02	春学期	2	
		数学解析第 1	04	01	02	春学期	2	
		線形代数	04	01	02	春学期	2	
		電気情報数学基礎	04	01	02	春学期	2	
		プログラミング実習	04	01	02	春学期	2	
		応用数学	04	01	02	秋学期	2	
		計測工学	04	01	02	秋学期	2	
		高分子化学基礎	04	01	02	秋学期	2	
		数学解析第 2	04	01	02	秋学期	2	
		生体物質化学基礎	04	01	02	秋学期	2	
		電子回路基礎	04	01	02	秋学期	2	
		物理学演習第 1	04	01	02	秋学期	1	
		物理学演習第 2	04	01	02	秋学期	1	
		総合教育科目	系列(X)・(Y) (→ p. 60～61)					

・2024 年度より、必修科目「複素解析」は選択科目「電気情報数学基礎」に名称・分野変更しました。2023 年度以前に「複素解析」の単位を既に取得している場合は「電気情報数学基礎」を履修することはできません。

化学科

種 類		授業科目	分野コード			授業形態	単位数	履修単位
必修科目	外国語科目	英語 3	02	01	01	春学期	2	4
		英語 4	02	01	01	秋学期	2	
	専門基礎科目	化学統計熱力学(物理化学基礎第1)	04	01	01	春学期	2	12
		理工学基礎実験	04	01	01	春学期	2	
		基礎化学実験	04	01	01	秋学期	2	
		生体物質化学基礎	04	01	01	秋学期	2	
		配位化学(無機分析基礎第2)	04	01	01	秋学期	2	
	分離化学(無機分析基礎第3)	04	01	01	秋学期	2		
選択科目	専門基礎科目	★基本有機化学(有機化学基礎第1)	04	01	02	春学期	2	16
		★周期表の化学(無機分析基礎第1)	04	01	02	春学期	2	
		★反応有機化学(有機化学基礎第2)	04	01	02	秋学期	2	
		★量子化学基礎(物理化学基礎第2)	04	01	02	秋学期	2	
		応用解析第 1	04	01	02	春学期	2	
		化学統計熱力学演習	04	01	02	春学期	1	
		確率	04	01	02	春学期	2	
		計算機基礎	04	01	02	春学期	2	
		酸塩基及び酸化還元	04	01	02	休 講	2	
		集合と論理	04	01	02	春学期	2	
		情報数学概論	04	01	02	休 講	2	
		数学解析第 1	04	01	02	春学期	2	
		線形代数	04	01	02	春学期	2	
		電気情報数学基礎	04	01	02	春学期	2	
		分析化学基礎	04	01	02	春学期	2	
		量子力学入門	04	01	02	春学期	2	
		応用解析第 2	04	01	02	秋学期	2	
		幾何学序論	04	01	02	秋学期	2	
		高分子化学基礎	04	01	02	秋学期	2	
		電子回路基礎	04	01	02	秋学期	2	
		統計解析	04	01	02	秋学期	2	
		有機化学基礎第 3	04	01	02	休 講	2	
		総合教育科目		系列(X)・(Y) (→ p. 60～61)				

- ・専門基礎科目のうち★印の付いた、基本有機化学(有機化学基礎第1)、周期表の化学(無機分析基礎第1)、反応有機化学(有機化学基礎第2)、量子化学基礎(物理化学基礎第2)は、化学基礎科目として特別な選択科目です。できるだけ履修して下さい。
- ・2024年度より、選択科目「複素解析」は「電気情報数学基礎」に名称変更しました。2023年度以前に「複素解析」の単位を既に取得している場合は「電気情報数学基礎」を履修することはできません。

システムデザイン工学科

種 類		授業科目	分野コード			授業形態	単位数	履修単位
必修科目	外国語科目	英語 3	02	01	01	春学期	2	4
		英語 4	02	01	01	秋学期	2	
	専門基礎科目	回路とシステム第 1	04	01	01	春学期	2	19
		工学数学	04	01	01	春学期	2	
		システムデザイン工学概論	04	01	01	春学期	2	
		デザインリテラシー演習	04	01	01	春学期	2	
		電磁気工学	04	01	01	春学期	2	
		熱流体システム第 1	04	01	01	春学期	2	
		力学的モデリング	04	01	01	春学期	2	
		システムデザイン工学基礎演習	04	01	01	秋学期	1	
		プログラミング演習	04	01	01	秋学期	2	
		理工学基礎実験	04	01	01	秋学期	2	
選択科目	専門基礎科目	応用解析第 1	04	01	02	春学期	2	10
		確率・統計	04	01	02	春学期	2	
		図学	04	01	02	春学期	2	
		回路とシステム第 2	04	01	02	秋学期	2	
		環境システム科学	04	01	02	秋学期	2	
		空間設計製図 I	04	01	02	秋学期	2	
		工学材料	04	01	02	秋学期	2	
		ダイナミカルシステム	04	01	02	秋学期	2	
		電磁エネルギー変換工学	04	01	02	秋学期	2	
		熱流体システム第 2	04	01	02	秋学期	2	
		力学的アナリシス	04	01	02	秋学期	2	
	総合教育科目	系列(X)・(Y) (→ p. 60～61)						

・資格試験等と履修科目との関係については、p. 91 以降を参照してください。

情報工学科

種 類		授業科目	分野コード			授業形態	単位数	履修単位
必修科目	外国語科目	英語 3	02	01	01	春学期	2	4
		英語 4	02	01	01	秋学期	2	
	専門基礎科目	コンピュータ実習	04	01	01	春学期	2	12
		プログラミング基礎同演習	04	01	01	春学期	3	
		アルゴリズム第 1	04	01	01	秋学期	2	
		プログラミング第 1 同演習	04	01	01	秋学期	3	
理工学基礎実験		04	01	01	秋学期	2		
選択科目	専門基礎科目	応用確率論	04	01	02	春学期	2	14
		応用数学	04	01	02	春学期	2	
		確率(教)	04	01	02	春学期	2	
		計算機基礎	04	01	02	春学期	2	
		集合と論理(教)	04	01	02	春学期	2	
		情報工学概論	04	01	02	春学期	1	
		情報数学概論	04	01	02	春学期	2	
		通信システム	04	01	02	春学期	2	
		電気回路基礎	04	01	02	春学期	2	
		電子回路基礎	04	01	02	休 講	2	
		応用解析第 2(教)	04	01	02	秋学期	2	
		機械学習基礎	04	01	02	秋学期	2	
		幾何学序論(教)	04	01	02	秋学期	2	
		計算機構成同演習	04	01	02	秋学期	2	
		計算論理学	04	01	02	秋学期	2	
		情報理論	04	01	02	秋学期	2	
		通信ネットワーク工学基礎	04	01	02	秋学期	2	
	総合教育科目		系列(X)・(Y) (→ p. 60～61)					

・資格試験等と履修科目との関係については、p. 90 を参照してください。

・(教)印科目は、教員免許取得を希望する学生向けの科目となります。

生命情報学科

種 類		授業科目	分野コード			授業形態	単位数	履修単位
必修科目	外国語科目	英語 3	02	01	01	春学期	2	4
		英語 4	02	01	01	秋学期	2	
	専門基礎科目	情報の基礎	04	01	01	春学期	2	24
		生命系の物理化学第 1	04	01	01	春学期	2	
		生命系の有機化学第 1	04	01	01	春学期	2	
		バイオプログラミング第 1	04	01	01	春学期	2	
		分子細胞生物学の基礎	04	01	01	春学期	2	
		理工学基礎実験	04	01	01	春学期	2	
		基礎生命実験	04	01	01	秋学期	2	
		細胞生物学第 1	04	01	01	秋学期	2	
		生命系の数学	04	01	01	秋学期	2	
		生命系の物理化学第 2	04	01	01	秋学期	2	
		バイオプログラミング第 2	04	01	01	秋学期	2	
		分子生物学第 1	04	01	01	秋学期	2	
選択科目	専門基礎科目	階層生物学	04	01	02	休 講	2	4
		生命情報総合演習第 1	04	01	02	休 講	1	
		アルゴリズムと情報処理	04	01	02	秋学期	2	
		生体計測論	04	01	02	秋学期	2	
		生物量子化学	04	01	02	秋学期	2	
		生命系の分子化学第 1	04	01	02	秋学期	2	
		生命系の有機化学第 2	04	01	02	秋学期	2	
		生命情報総合演習第 2	04	01	02	休 講	1	
		学外実習第 1	04	01	02	秋学期	2	
総合教育科目		系列(X)・(Y) (→ p. 60～61)						

・2024 年度より、必修科目「生命系の有機化学」は「生命系の有機化学第 1」に名称変更しました。2023 年度以前に「生命系の有機化学」の単位を既に取得している場合は、「生命系の有機化学第 1」を履修することはできません。

系列(X) 総合教育科目 (人文・社会・学際系科目)

設置	科 目 名	分野コード	授業形態	単位	設置	科 目 名	分野コード	授業形態	単位
理工学部主設置 (理工学部のみ／共通科目)	映像・音響文化論	01 01 11	春／秋	2	共通科目	芸術文化論Ⅰ	01 01 11	春学期	2
	グローバルリーダーシップセミナー	01 01 11	春／秋	4		健康・身体活動Ⅰ	01 01 11	休 講	2
	近現代建築史	01 01 11	秋学期	2		現代ビジネス論Ⅰ	01 01 11	春学期	2
	健康科学	01 01 11	春学期	2		現代ビジネス論Ⅱ	01 01 11	秋学期	2
	言語認識論	01 01 11	春学期	2		ジェンダー論Ⅰ	01 01 11	春学期	2
	現代芸術論	01 01 11	春／秋	2		ジェンダー論Ⅱ	01 01 11	秋学期	2
	現代思想論	01 01 11	春学期	2		社会学Ⅰ	01 01 11	春学期	2
	現代社会論	01 01 11	春／秋	2		社会学Ⅱ	01 01 11	秋学期	2
	現代世界史	01 01 11	春学期	2		宗教学Ⅰ	01 01 11	春学期	2
	現代日本史	01 01 11	春学期	2		宗教学Ⅱ	01 01 11	秋学期	2
	現代メディア論	01 01 11	秋学期	2		障害者雇用の現状と将来	01 01 11	春学期	2
	女性学	01 01 11	秋学期	2		女性学(GIC)	01 01 11	休 講	2
	身体文化論	01 01 11	春学期	2		政治学Ⅰ	01 01 11	春学期	2
	心理学Ⅰ	01 01 11	休 講	2		政治学Ⅱ	01 01 11	秋学期	2
	心理学Ⅱ	01 01 11	休 講	2		生命の教養学	01 01 11	休 講	2
	西洋建築史	01 01 11	春学期	2		地理学Ⅰ	01 01 11	春学期	2
	世界の政治	01 01 11	春学期	2		地理学Ⅱ	01 01 11	秋学期	2
	造形・デザイン論	01 01 11	春／秋	2		哲学Ⅰ	01 01 11	春学期	2
	地域文化論	01 01 11	春／秋	2		哲学Ⅱ	01 01 11	秋学期	2
	日本・東洋建築史	01 01 11	春学期	2		バリアフリー／ユニバーサルデザイン入門Ⅰ	01 01 11	春学期	2
共通科目	日本の経済	01 01 11	春学期	2		バリアフリー／ユニバーサルデザイン入門Ⅱ	01 01 11	秋学期	2
	日本の政治	01 01 11	春学期	2		美術Ⅰ	01 01 11	春学期	2
	比較文化論	01 01 11	春／秋	2		美術Ⅱ	01 01 11	秋学期	2
	アカデミック・リテラシー	01 01 11	春／秋	2		人の尊厳	01 01 11	秋学期	2
	異文化コミュニケーションⅠ	01 01 11	春学期	2		表象文化論Ⅰ	01 01 11	春学期	2
	異文化コミュニケーションⅡ	01 01 11	休 講	2		表象文化論Ⅱ	01 01 11	秋学期	2
	音楽Ⅰ	01 01 11	春学期	2		文学Ⅰ	01 01 11	春学期	2
	音楽Ⅱ	01 01 11	秋学期	2		文学Ⅱ	01 01 11	秋学期	2
	科学技術と現代社会	01 01 11	春学期	2		文化人類学Ⅰ	01 01 11	春学期	2
	科学史Ⅰ	01 01 11	春学期	2		文化人類学Ⅱ	01 01 11	秋学期	2
	科学史Ⅱ	01 01 11	秋学期	2		法学Ⅰ(憲法を含む)	01 01 11	春学期	2
	科学と環境Ⅰ	01 01 11	春学期	2		法学Ⅱ(憲法を含む)	01 01 11	秋学期	2
	科学と環境Ⅱ	01 01 11	秋学期	2		倫理学Ⅰ	01 01 11	春学期	2
	教育学Ⅰ	01 01 11	春学期	2		倫理学Ⅱ	01 01 11	秋学期	2
	教育学Ⅱ	01 01 11	秋学期	2		歴史Ⅰ	01 01 11	春学期	2
	近代思想史Ⅰ	01 01 11	春学期	2		歴史Ⅱ	01 01 11	秋学期	2
	近代思想史Ⅱ	01 01 11	秋学期	2		老年学Ⅰ	01 01 11	休 講	2
	経済学Ⅰ	01 01 11	春学期	2		論理学Ⅰ	01 01 11	春学期	2
	経済学Ⅱ	01 01 11	秋学期	2		論理学Ⅱ	01 01 11	秋学期	2

(注) 系列(X)「理工学部主設置」科目および系列(Y) (「体育実技A」を除く) は時間割上特定の曜日時限に設置されています。

系列(Y) 総合教育科目 (自然科学・語学・セミナー・体育実技A・その他)

科 目 名	分野コード	授業形態	単位	科 目 名	分野コード	授業形態	単位
宇 宙 科 学	01 01 12	春学期	2	ドイツ語セミ・インテンシブ2	01 01 12	秋学期	4
グローバルリーダーシップセミナー実地研修	01 01 12	春/秋	1	ドイツ語インテンシブ1	01 01 12	休 講	6
現 代 化 学 概 論	01 01 12	秋学期	2	ドイツ語インテンシブ2	01 01 12	休 講	6
現 代 生 物 学 概 論	01 01 12	春学期	2	ドイツ語・エンジニアリング在外研修	01 01 12	秋学期	2
自 然 人 類 学	01 01 12	春学期	2	ドイツ語・ドイツ文化在外研修	01 01 12	春学期	2
人 体 の 生 理	01 01 12	春学期	2	フランス語初級(a)1	01 01 12	春学期	2
生 物 学 実 験	01 01 12	春学期	2	フランス語初級(a)2	01 01 12	秋学期	2
生 物 学 実 験 集 中	01 01 12	春学期	2	フランス語初級(b)1	01 01 12	春学期	2
生命現象の分子科学	01 01 12	春学期	2	フランス語初級(b)2	01 01 12	秋学期	2
総合教育セミナーⅠ	01 01 12	春学期	2	フランス語留学準備1	01 01 12	春学期	2
総合教育セミナーⅡ	01 01 12	秋学期	2	フランス語留学準備2	01 01 12	秋学期	2
総合教育セミナー(GIC)Ⅰ	01 01 12	春学期	2	フランス語セミ・インテンシブ1	01 01 12	春学期	4
総合教育セミナー(GIC)Ⅱ	01 01 12	秋学期	2	フランス語セミ・インテンシブ2	01 01 12	秋学期	4
地 球 科 学 概 論 Ⅰ	01 01 12	春学期	2	フランス語インテンシブ1	01 01 12	春学期	6
地 球 科 学 概 論 Ⅱ	01 01 12	秋学期	2	フランス語インテンシブ2	01 01 12	秋学期	6
天 文 学	01 01 12	秋学期	2	ロ シ ア 語 初 級	01 01 12	秋学期	2
複合領域の理工学入門	01 01 12	春学期	2	ロ シ ア 語 中 級 (a) 1	01 01 12	春学期	2
物 性 科 学	01 01 12	春学期	2	ロ シ ア 語 中 級 (a) 2	01 01 12	秋学期	2
体 育 実 技 A	01 01 13	春/秋	1	ロ シ ア 語 中 級 (b) 1	01 01 12	春学期	2
英 語 リ ス ニ ン グ 1	01 01 12	春/秋	2	ロ シ ア 語 中 級 (b) 2	01 01 12	秋学期	2
英 語 リ ス ニ ン グ 2	01 01 12	春/秋	2	中 国 語 初 級 1	01 01 12	春学期	2
英 語 リ ス ニ ン グ 3	01 01 12	春/秋	2	中 国 語 初 級 2	01 01 12	秋学期	2
英 語 ス ピ ー キ ン グ 1	01 01 12	春/秋	2	中 国 語 中 級 (a) 1	01 01 12	春学期	2
英 語 ス ピ ー キ ン グ 2	01 01 12	春/秋	2	中 国 語 中 級 (a) 2	01 01 12	秋学期	2
英 語 ス ピ ー キ ン グ 3	01 01 12	春/秋	2	中 国 語 中 級 (b) 1	01 01 12	春学期	2
英 語 リ ー デ ィ ン グ 2	01 01 12	春/秋	2	中 国 語 中 級 (b) 2	01 01 12	秋学期	2
英 語 リ ー デ ィ ン グ 3	01 01 12	春/秋	2	中国語セミ・インテンシブ1	01 01 12	春学期	4
英 語 ラ イ テ ィ ン グ 2	01 01 12	春/秋	2	中国語セミ・インテンシブ2	01 01 12	秋学期	4
英 語 ラ イ テ ィ ン グ 3	01 01 12	春/秋	2	朝 鮮 語 中 級 1	01 01 12	春学期	2
英語インテンシブ・リーディング	01 01 12	休 講	4	朝 鮮 語 中 級 2	01 01 12	秋学期	2
ド イ ツ 語 初 級 1	01 01 12	春学期	2	ス ペ イ ン 語 初 級 1	01 01 12	春学期	2
ド イ ツ 語 初 級 2	01 01 12	秋学期	2	ス ペ イ ン 語 初 級 2	01 01 12	秋学期	2
ド イ ツ 語 中 級 (a) 1	01 01 12	春学期	2	イ タ リ ア 語 初 級 1	01 01 12	春学期	2
ド イ ツ 語 中 級 (a) 2	01 01 12	秋学期	2	イ タ リ ア 語 初 級 2	01 01 12	秋学期	2
ド イ ツ 語 中 級 (b) 1	01 01 12	春学期	2	ア ラ ビ ア 語 初 級 1	01 01 12	春学期	2
ド イ ツ 語 中 級 (b) 2	01 01 12	秋学期	2	ア ラ ビ ア 語 初 級 2	01 01 12	秋学期	2
ドイツ語セミ・インテンシブ1	01 01 12	春学期	4				

【参考】別表 総合教育科目(矢上設置科目) ※1・2年生は履修できません

科 目 名	分野コード	授業形態	単位	科 目 名	分野コード	授業形態	単位
英語ディスカッション4	01 02 11	春/秋	2	科学技術と法律	01 02 11	秋学期	2
英語ディスカッション5	01 02 11	春/秋	2	科学と社会Ⅰ	01 02 11	春学期	2
英語ライティング4	01 02 11	春/秋	2	科学と社会Ⅱ	01 02 11	秋学期	2
英語ライティング5	01 02 11	春/秋	2	科学と哲学	01 02 11	秋学期	2
英語リーディング4	01 02 11	春/秋	2	金融リテラシー	01 02 11	春学期	2
英語リーディング5	01 02 11	春/秋	2	芸術と科学	01 02 11	秋学期	2
ドイツ語初級1	01 02 11	春学期	2	言語文化論	01 02 11	休講	2
ドイツ語セミ・インテンシブ3	01 02 11	春学期	4	原子エネルギーの科学	01 02 11	春学期	2
ドイツ語セミ・インテンシブ4	01 02 11	秋学期	4	建築論	01 02 11	春学期	2
ドイツ語中級(c)1	01 02 11	春学期	2	建築構法	01 02 11	春学期	2
ドイツ語中級(c)2	01 02 11	秋学期	2	国際政治学	01 02 11	春学期	2
ドイツ語上級1	01 02 11	春学期	2	コミュニケーション・ネットワーク論	01 02 11	春学期	2
ドイツ語上級2	01 02 11	秋学期	2	公共空間のデザイン	01 02 11	秋学期	2
フランス語セミ・インテンシブ3	01 02 11	春学期	4	再生・遺伝子の科学	01 02 11	休講	2
フランス語セミ・インテンシブ4	01 02 11	秋学期	4	実践のためのWebプログラミング	01 02 11	春学期	2
フランス語在外インテンシブ	01 02 11	春学期	4	情報社会と情報倫理	01 02 11	春学期	2
フランス語初級(c)1	01 02 11	春学期	2	情報と職業	01 02 11	秋学期	2
フランス語初級(c)2	01 02 11	秋学期	2	人体の科学	01 02 11	秋学期	2
フランス語中級1	01 02 11	春学期	2	人文社会科学演習(言語科学)	01 02 11	春学期	2
フランス語中級2	01 02 11	秋学期	2	人文社会科学演習(社会科学)	01 02 11	休講	2
フランス語上級1	01 02 11	春学期	2	人文社会科学演習(地域研究)	01 02 11	秋学期	2
フランス語上級2	01 02 11	秋学期	2	人文社会科学演習(哲学思想)	01 02 11	春学期	2
ロシア語セミ・インテンシブ3	01 02 11	春学期	4	人文社会科学演習(表象文化)	01 02 11	秋学期	2
ロシア語セミ・インテンシブ4	01 02 11	秋学期	4	人文社会科学演習(領域横断)	01 02 11	春学期	2
ロシア語初級	01 02 11	秋学期	2	生命保険概論(OLIS生命保険寄附講座)	01 02 11	秋学期	2
ロシア語上級1	01 02 11	春学期	2	地球環境科学Ⅰ	01 02 11	春学期	2
ロシア語上級2	01 02 11	秋学期	2	地球環境科学Ⅱ	01 02 11	秋学期	2
中国語セミ・インテンシブ3	01 02 11	春学期	4	都市工学	01 02 11	春学期	2
中国語セミ・インテンシブ4	01 02 11	秋学期	4	人間関係論Ⅰ	01 02 11	休講	2
中国語上級1	01 02 11	春学期	2	人間関係論Ⅱ	01 02 11	休講	2
中国語上級2	01 02 11	秋学期	2	認知科学	01 02 11	春学期	2
朝鮮語上級1	01 02 11	春学期	2	比較宗教学	01 02 11	春学期	2
朝鮮語上級2	01 02 11	秋学期	2	微生物学	01 02 11	春学期	2
宇宙物理学	01 02 11	春学期	2	紛争解決学	01 02 11	秋学期	2
会計リテラシー	01 02 11	秋学期	2	メディア文化論	01 02 11	春学期	2

8 授業科目ナンバリング (K-Number) について

2022 年度より、全授業科目に対して、レベルや学問分野、授業形態等を示す番号を付番する授業科目ナンバリング制度 (K-Number) を導入しています。

K-Number によって興味関心のある学問分野を検索し、体系的な学修計画に基づいた学びが可能となります。

なお、複数の学部・研究科に併設された授業科目については、各学部・研究科ごとに異なる K-Number が付与されます。

詳細は Web 等を参照してください。

K-Number の構成 〈理工学部設置科目の見方〉

FST-ST-1 1 11 1-1 1 1-11

① ② ③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

		種類	内容
①	科目設置	学部・研究科	理工学部設置科目は FST と表記されます。 ※各学部・研究科の表記は Web 等参照
②		学科・専攻	ST :理工学部共通 ME:機械工学科 EE :電気情報工学科 AC :応用化学科 AP :物理情報工学科 IS :管理工学科 MA :数理科学科 PH :物理学科 CH :化学科 SD :システムデザイン工学科 IC :情報工学科 BI :生命情報学科
③	科目主番号	レベル (履修学年の目安)	0:学部共通 1:1 年次配当レベル(または入門／導入レベル) 2:2 年次配当レベル(または基礎レベル) 3:3 年次配当レベル(または応用／発展レベル) 4:4 年次配当レベル(または専門／実践レベル) 9:その他
④		分野	※ Web 等参照
⑤			
⑥		科目種別	1:必修科目, 2:選択必修科目, 3:選択科目, 4:自由科目, 9:その他
⑦	科目補足	授業区分(全塾共通)	1:語学, 2:講義, 3:演習, 4:実験・実習・実技, 5:論文, 6:研究指導, 7:講義および実習, 9:その他
⑧		授業形態(全塾共通)	1:対面授業(主として対面授業), 2:オンライン授業(主としてリアルタイム形式), 3:オンライン授業(主としてオンデマンド形式), 4:オンライン授業(全回オンデマンド形式)
⑨		授業言語(全塾共通)	1:日本語, 2:英語, 3:その他
⑩		学問分野	学問分野(全塾共通) ※Web 等参照

9 再履修方法

【再履修科目のクラス指定】

未取得科目は以下のクラス指定に従って再履修してください。

種類	科目名	第1学年 原級者	第2学年 進級者	第2学年 原級者
外国語科目	英語 1・2	『外国語科目履修案内』冊子参照		
	英語 3・4	—	—	
	ドイツ語 1・2・3・4	現	再	再
	フランス語 1・2・3・4	現／再	再	再
	ロシア語 1・2・3・4	現（※）	旧（※）	旧（※）
	中国語 1・2・3・4	現	再	再
	朝鮮語 1・2・3・4	現	再	再
基礎教育科目	数学 1A・2A・3A・4A・1B・2B・3B・4B 物理学 A・B・C・D 化学 A・B・C・D 生物学序論 情報学基礎	クラス指定なし (自由にクラスを選択することができます)		
	自然科学実験	現	準	準
	理工学概論	現	事	事
	専門基礎科目	—	—	現

〈凡例〉

現：現在所属するクラス

旧：第1学年時に所属したのと同一名の本年度のクラス

再：再履修者（特修）クラス

現／再：当該科目の単位を4単位取得している場合は再履修者（特修）クラス、そうでない場合は現在所属するクラス

準：自然科学実験準備室（r-1jikken@adst.keio.ac.jp）に連絡し指示に従う

事：理工学概論事務局（第7校舎1階）の指示に従う

※再履修科目がロシア語の場合は、日吉学生部理工学部担当にその旨を申し出てください。

日吉学生部理工学部担当： gsupport_rikoh@info.keio.ac.jp

注 意：①第1学年原級者で、ドイツ語1・2・3・4または中国語1・2・3・4のすべて、もしくは、これらの科目のうちいずれかを共に未取得の者は、現在所属するクラスにおいて、ドイツ語1・2・3・4または中国語1・2・3・4のすべてを履修し、授業に出席しなければなりません。

②必修諸外国語のうちロシア語は、再履修者（特修）クラスを設けていません。

③「化学A」を再履修する場合、学門指定はありません。

【再履修の申告方法】

- (1) 再履修科目の履修申告も、通常の履修申告と同じ方法で行ってください。
- (2) 前記のクラス指定で再履修すると今年度の必修科目と時間割が重複する場合に限り、クラス指定の解除を受け付けます。以下のフォームからクラス指定の解除を申請してください。

<https://forms.gle/yscfrkEptfmUPyn37>



※K-Support へのログインが必要です。K-Support 以外の Google アカウントにログインしている場合は、一度ログアウトしてから再度 K-Support にログインし直してください。

- (3) 春学期に必修科目を不合格となった場合、同一年度の秋学期にクラスを変えて再履修することはできません。

【原級者への注意】

第1学年、第2学年原級者とも、学年別に設定された原級者ガイダンス（オンデマンド）をよく確認してください。さらに「原級者・休学者面談用アンケートフォーム」に必要事項をあらかじめ入力した上で、学習指導教員と面接し履修科目を確認して、履修申告を行ってください。詳細は秋学期末成績発表時に該当者に通知します。

(1) 第1学年原級者

再履修科目数の比較的小さい者に対しては、必修科目（外国語科目および基礎教育科目）に限り単位取得済み科目の再履修を特例として認めます。今年度の評語が過年度の評語を上回る場合のみ、評語が上書きされます（評語が上書きされた単位、または評語が向上しなかった再履修の単位は無効となるため、進級・卒業単位には加算されず、成績表にも表示されません）。「原級者・休学者面談用アンケートフォーム」に必要事項をあらかじめ入力の上、学習指導教員との面接を受けてください。

(2) 第2学年原級者

再履修科目数の比較的小さい者に対しては、第2学年専門基礎科目に限り単位取得済みの科目の再履修を特例として認めます。今年度の評語が過年度の評語を上回る場合のみ、評語が上書きされます（評語が上書きされた単位、または評語が向上しなかった再履修の単位は無効となるため、進級・卒業単位には加算されず、成績表にも表示されません）。

さらに所属している学科の学科専門科目（選択）を自由科目（B欄分野03）として履修することを特例として認めます。取得した単位と評語は、3年生に

進級した時点で、卒業に必要な学科専門科目（選択）の単位および評語に自動的に切り替わります。

「原級者・休学者面談用アンケートフォーム」に必要事項をあらかじめ入力の上、該当する学習指導教員との面接を受けてください。

10 その他の注意

【外国人留学生について】

- ・外国人留学生は、履修科目の一部が異なるので、学習指導教員（外国人留学生担当）の指示に従って履修してください。
- ・「日本語」の履修申告は、日吉学生部の指示に従い A 欄で申告してください。

【教職課程について】

- ・履修希望者は学年初めに行われる教職ガイダンスに出席し、必要な手続きをとってください。
- ・教職課程では「法学（憲法を含む）」「体育」は必修となっています。これらの科目は、第 1 学年でも履修できます。
- ・「生物学実験」を教職科目として履修する場合は「生物学実験（コンピュータ活用を含む）」という科目名と登録番号で履修申告してください。
履修に関する詳細については、『教職課程履修案内』を参照してください。

【欠席について】

- ・やむを得ない理由で授業を欠席した場合は、当該科目担当教員の指示に従ってください。理工学部（日吉キャンパス）では欠席届は配付していません。

（注意）

- ・理工学概論・実験科目を病気または忌引で欠席した場合は、直ちに理工学部基礎教室事務室（第 7 校舎）にて、所定の手続きを行ってください。

体育科目履修要項

実技実施場所、講義・演習科目教室の変更、授業時間割変更等の連絡事項は、体育研究所 Web ページ (<https://ipe.hc.keio.ac.jp/>) に掲載します。履修者は常に注意してください。



現在運動に制限がある治療中の病気・怪我がある場合は、体育実技を履修することができない可能性があります。その場合は事前に必ず体育研究所学習指導担当教員と相談してください。

体育科目の履修に関して質問のある場合は、日吉学生部諸研究所窓口に申し出た上で、体育研究所学習指導担当教員と相談してください。

1 体育科目のねらい

体育科目は、「身体」に関わる様々な事象を体験・理解し、社会における自己の存在を見つめ、人間を理解していくことに大きなねらいがあります。特に、言語化された知識を越えて自己の身体が体现する「身体知」を理解・獲得することで豊かな人間の形成をめざすものです。各開講科目には、このねらいに通ずる様々なアプローチがあり、それぞれに細分化された目標が立てられています。

2 体育科目の構成

体育科目には、「体育学講義Ⅰ・Ⅱ」、「体育学演習」、「体育実技A」、「体育実技B」の4科目があります。学部、学科によって科目の取り扱いや単位認定の上限が異なりますので、所属する学部の履修案内をよく読んで履修するようにしてください。各科目の概略は以下のとおりですが、詳しい授業内容については、Web上の「シラバス・時間割」(本書 p. 10 参照)を参照してください。

体育学講義、体育学演習、体育実技AはS～Dの5段階評価、体育実技BはP(合)・F(否)(Pass/Fail)の2段階評価となります。

- | | |
|--------------|--|
| (1) 体育学講義Ⅰ・Ⅱ | (2単位)……「身体」「健康」「運動」等に関する講義 |
| (2) 体育学演習 | (1単位)……講義＋実習による演習形式の授業、特定のテーマを深めるゼミ形式の授業 |
| (3) 体育実技A | (1単位)……「身体活動」実技
ウィークリー・スポーツ |
| (4) 体育実技B | (1単位)……「身体活動」実技
シーズン・スポーツ |

実技科目には「体育実技 A」と「体育実技 B」がありますが、特に成績評価の方法が異なることに注意してください。「体育実技 A」は、ウィークリー・スポーツ、「体育実技 B」はシーズン・スポーツとなります。その概要は以下のとおりです。
ウィークリー・スポーツ……週 1 回実施の授業。

※ 4 学期制科目は、週 1 回の授業のほかにも実施日が設定されています。
シーズン・スポーツ……………夏季休校中（8 月～9 月）または春季休校中（2 月）の 7 日間の授業。ただし合宿種目は原則として 3 泊 4 日。

3 体育科目履修申告までの流れ

3 月下旬

体育科目ガイダンス

ガイダンスはオンラインで実施します。詳細は体育研究所 Web ページ (<https://ipe.hc.keio.ac.jp>) でお知らせします。

4 月 4 日 (金)
～ 9 日 (水)

【重要】定期健康診断を受診

実技科目・体育学演習を履修する場合は、大学保健管理センターが実施する定期健康診断を受診することが必須です。秋学期開講科目（実技・演習）の履修を検討している場合も、この期間に必ず受診してください。なお、健康診断は毎年受診する必要があります。

Web システムで履修登録をしても定期健康診断未受診の場合には、当該科目の受講は認められず、成績評語は D または F（不合格）となります。外部医療機関で健康診断を受診しても、実技科目・体育学演習の履修においては認められません。

詳細は体育研究所 Web ページ (<https://ipe.hc.keio.ac.jp>) で確認してください。

【春学期 履修申告】

4月3日(木) 12:30 ～5日(土) 16:00	Web による履修申告期間（一次申告）
4月7日(月) 16:00 ～15日(火) 10:00	Web による履修申告期間（二次申告）

Web システムによる履修申告が必要です。各学部の履修案内をよく読んで正確に履修申告してください。

【実技科目・体育学演習】 初回授業当日に調整を行います。詳細は塾生サイト「日吉設置科目の履修調整（選抜・抽選）について」（<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/restriction.html>）に掲載しますので、必ず事前に確認の上、初回授業の前日（23:59）までに履修申告し、初回授業に出席してください。調整結果は、keio.jp のメールアドレスに通知されますので、必ず確認してください。

【体育学講義Ⅰ】 二次申告期間終了までに申告を終えてください。ただし、二次申告期間終了後に履修定員を超えた場合は抽選を実施することがあります。

4月18日(金) 16:00～	履修申告科目確認期間 K-Support の「登録済科目確認」から登録科目一覧画面を印刷し、必ず内容を確認してください。 この確認を怠り、エラー修正を所定期間に行わなかった等の場合は、塾生本人の責任になりますので注意してください。
4月21日(月) 8:45 ～22日(火) 16:00	履修エラー修正期間 所属学部からの指示に従い、修正を行ってください。Web システムによるエラー修正はできません。

- (1) 所属学部から履修申告の不備を指摘された場合は、この期間内に正しく修正申告してください。
- (2) 履修申告に不備がある場合を除き、すでに登録済の科目の削除は履修エラー修正期間では認められませんので、注意してください。

【秋学期 履修申告】

9月24日(水) 12:30 ～26日(金) 16:00	Webによる履修申告期間（一次申告）
---------------------------------------	--------------------

9月29日(月) 16:00 ～10月8日(水) 10:00	Webによる履修申告期間（二次申告）
---	--------------------

Webシステムによる履修申告が必要です。各学部の履修案内をよく読んで正確に履修申告してください。

【実技科目・体育学演習】初回授業当日に調整を行います。詳細は塾生サイト「日吉設置科目の履修調整（選抜・抽選）について」(<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/restriction.html>)に掲載しますので、必ず事前に確認の上、初回授業の前日（23:59）までに履修申告し、初回授業に出席してください。調整結果は、keio.jpのメールアドレスに通知されますので、必ず確認してください。

【体育学講義Ⅱ】二次申告期間終了までに申告を終えてください。ただし、二次申告期間終了後に履修定員を超えた場合は抽選を実施することがあります。

10月14日(火) 16:00～ (予定)	履修申告科目確認期間 K-Supportの「登録済科目確認」から登録科目一覧画面を印刷し、必ず内容を確認してください。 この確認を怠り、エラー修正を所定期間に行わなかった等の場合は、塾生本人の責任になりますので注意してください。
-----------------------------	---

10月15日(水) 8:45 ～16日(木) 16:00	履修エラー修正期間 所属学部からの指示に従い、修正を行ってください。Webシステムによるエラー修正はできません。
---------------------------------------	--

- (1) 所属学部から履修申告の不備を指摘された場合は、この期間内に正しく修正申告してください。
- (2) 履修申告に不備がある場合を除き、すでに登録済の科目の削除は履修エラー修正期間では認められませんので、注意してください。

4 実技費用納入が必要な科目について

以下の科目については、指定期間内に実技費用の納入が必要です。

納入方法は K-Support メッセージでの案内に従ってください。

実技費用納入科目

(ウィークリー・スポーツ) バックカントリースキル

(シーズン・スポーツ) マリンスポーツアクティビティ, ビーチバレー, セーリング, 山岳, アウトドアレクリエーション, スキー, スケート

科目	実技費用納入期間
マリンスポーツアクティビティ ビーチバレー セーリング 山岳 アウトドアレクリエーション	6月2日(月)～6月6日(金)
バックカントリースキル (カヤック)	10月8日(水)～10月14日(火)
バックカントリースキル (バックパッキング) スキー スケート	11月3日(月)～11月7日(金)

上記科目は、履修申告しても費用を納入しなければ参加できません。

費用が納入期間に間に合わない場合は、日吉学生部諸研究所窓口に出してください。

申し出なく期間内に納入しなかった場合は、不合格とします。

5 履修登録取消について

一旦履修登録した科目(履修確定された科目)の履修を所定期間に申告手続きを取ることで取り消すことができます。詳細については、前述の「第3 履修申告までの流れ」(本書 p. 25「履修登録取消制度について」)を参照してください。

ただし、実技費用納入が必要な科目は、以下のとおり取消期間と手続き方法が異なります。また、費用納入後の履修登録取消は全額返金されない場合があります。

◆体育実技 A (ウィークリー・スポーツ)

受付期間	種目	手続方法
10月21日(火) 10:00 ～ 22日(水) 16:00	バックカントリースキル (カヤック)	Web システムで申告
12月11日(木) 10:00 ～ 12日(金) 16:00	バックカントリースキル (バックパッキング)	Web システムで申告

◆体育実技 B（シーズン・スポーツ）

受付期間	種目	手続方法
履修確定日の翌日 ～5月30日（金）	マリンスポーツアクティビティ ビーチバレー セーリング 山岳 アウトドアレクリエーション	所属学部窓口で申告
履修確定日の翌日 ～10月31日（金）	スキー，スケート	所属学部窓口で申告

第 7

授業・レポート・試験

1 授業

(1) 授業振鈴表

授業振鈴表は巻頭に掲載してあります。

(2) 代替講義日・休日の授業

休祝日の増加や、振替休日、早慶野球戦等のため、授業回数が減少する傾向にあります。授業回数の確保と全曜日開講日数の平準化を図るために代替講義日・休日の授業が設けられています。

【代替講義日】実際の曜日に関わらず、各曜日の授業が行われます。

〔春学期〕代替講義日 なし

〔秋学期〕月曜代替講義日 1月16日（金）

【休日の授業】

昭和の日：4月29日（火）、海の日：7月21日（月）、

スポーツの日：10月13日（月）、文化の日：11月3日（月）

【休日の試験】

なし

(3) 補講日

実際の曜日に関わらず、担当教員が必要であると判断した場合、補講日に補講を行うことがあります。補講実施科目については Web 等で確認してください。

〔春学期〕6月5日（木）、6月6日（金）、7月22日（火）

〔秋学期〕11月19日（水）1・2時限、11月26日（水）、2026年1月22日（木）

※6月5日（木）・6日（金）および11月19日（水）1・2時限・26日（水）には、

4学期制科目の各学期前半科目定期試験が行われる場合があります。

2 緊急時における授業の取扱い

塾生サイトより最新の情報を確認してください。

【日吉】緊急時における授業等の取扱い

<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/schedule/emergency.html>



3 早慶野球戦が行われる場合の授業の取扱い

早慶戦当日の休講取扱いは、塾生サイトより最新の情報を確認してください。

早慶戦における授業の取扱い

<https://www.students.keio.ac.jp/com/class/schedule/sokei.html>



4 裁判員候補者に選定された場合の取扱い

慶應義塾大学は、いわゆる「公欠」という考え方をとっていません。裁判員候補者に選定され、授業の出欠に迷う場合は、日吉学生部所属学部窓口にご相談してください。なお、授業の性質上欠席が認められない場合があります。

5 障害学生支援（合理的配慮）

慶應義塾大学は障害のある学生が、他の学生と同様・同等な教育を受けることができるように必要な修学機会の確保に向けた、支援内容や方法の提供に努めます。支援の対象となるのは、慶應義塾大学の学部・研究科に所属する学生です。また、支援の内容は、当該学生の障害の内容によって異なりますが、本人からの申し出を起点とし、必要となる支援の内容と大学が提供できる支援の内容を、建設的な話し合いの場において都度すり合わせを行い、支援の内容（合理的配慮の提供）を決定します。申し出から配慮内容決定までには1ヵ月程度の期間を要します。また、合理的配慮の継続を希望する場合は、学期ごとの申請が必要となります。

申請手続き等の詳細は協生環境推進室 Web ページを参照してください。

<https://www.diversity.keio.ac.jp/bf/index.html>



※合理的配慮とは：「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（2013年）の第七条において、「障害者から現に社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合において、その実施に伴う負担が過重でないときは、障害者の権利利益を侵害することとならないよう、当該障害者の性別、年齢及び障害の状態に応じて、社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的な配慮をしなければならない」と規定されていることに鑑み、必要な対応を行うことを「合理的配慮の提供」と定義しています。

6 レポート

レポートを提出する場合は以下を厳守してください。

- (1) 指定された期間に指定された方法で提出してください。
- (2) オンラインでレポートを提出する場合、提出期限直前は通信トラブルが発生しやすくなります。期限に余裕を持って提出するようにしてください。
- (3) 本章「9 不正行為について」を参照してください。

7 定期試験

春学期と秋学期の各学期に定期試験があります。

※定期試験時間割、持ち込み指示、受験に関する注意事項等、詳細は塾生サイト (<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/exam/index.html>) や K-Support (「Apps」→「授業」→「試験時間割」) で必ず確認してください。これらの追加・変更については、その都度発表します。試験情報は、一度確認するだけでなく、定期試験前にも再度確認してください。

(1) 試験期間

春学期前半科目定期試験 6月6日(金)

春学期末定期試験 7月23日(水)～8月1日(金) (予定)

秋学期前半科目定期試験 11月19日(水) 1・2時限

秋学期末定期試験 1月26日(月)～2月5日(木) (予定)

(2) 注意事項

①学生証

- ・学生証を携帯せずに試験を受けることは一切認められません。受験に際しては、学生証を必ず携帯し、提示してください。
- ・試験当日、万一学生証を携帯しなかった場合は、日吉学生部総合受付で必ず「仮学生証」の交付を受けてください(発行手数料500円、発行当日限り全キャンパスで有効、メディアセンター入館も可)。
- ・仮学生証発行手続きにより、試験教室への入室が遅れても試験時間の延長はありません。

②不正行為

- ・不正行為およびそれと誤認されるような行為のないよう、真摯な態度で試験に臨んでください。
- ・答案は必ず提出しなければなりません。
- ・カンニング、許可されていない物の持ち込み、答案用紙の持ち帰りなどの行為があった場合は、不正行為とみなされ学則第188条により厳重に処分されます。

③定期試験の実施時間

- ・巻頭の定期試験振鈴表を参照してください。定期試験の振鈴時刻、試験時間は授業時と異なります。また、定期試験の振鈴はキャンパスによって異なりますので注意してください。
- ・定期試験時間は原則50分です。特に指定のない限りこの時間で実施しますが、試験時間の異なる科目もあります。定期試験時間割で確認してください。

④遅刻

- ・試験開始鈴後、20分までの遅刻は、試験を受験することができます。ただし、試験時間の延長はありません。なお、遅刻理由が電車遅延等、追加試験の対象となるものの場合、当該試験をそのまま受験するか、それとも追加試験を受験するかは、本人の判断で選択することができます。電車遅延等による遅刻で試

試験開始鈴後 20 分以内に入室した場合は追加試験の対象とはなりません。なお、交通機関の遅れによる追加試験の申込受付は原則として当日中に限ります。

⑤ 答案用紙

・ 担当者、科目名、および学籍欄の記入事項はすべて略さず正確に記入してください。記入がないと成績はつきません。

(3) その他

外国語科目や演習科目のように、授業への参加度・授業内試験・レポート等によって評価の定まる科目等、定期試験期間内に試験を実施しない科目があります。科目毎の評価方法・基準は、授業内での説明および Web 上の「シラバス・時間割」（本書 p. 10 参照）に示されています。授業内試験やレポートにおいて不正行為があった場合、定期試験同様に処分の対象になります。

8 追加試験

病気や不慮の事故等、やむを得ない理由で定期試験を受けることのできなかった者に対して行われる試験です。対象科目は、定期試験期間内に行われた試験科目です（ただし外国語科目を除く）。受験する場合は、所定の手続きが必要です。手続方法は試験時間割発表の際、塾生サイトで指示しますが、病気の場合は診断書および領収書、電車の遅延の場合は遅延証明が必要となりますので、注意してください。受験料は 1 科目 2,000 円です（ただし電車の遅延の場合を除く）。

春学期前半科目追加試験 6 月上旬（予定）

春学期末追加試験 8 月 9 日（土）、8 月 12 日（火）、8 月 13 日（水）（予定）

秋学期前半科目追加試験 11 月下旬～12 月上旬（予定）

秋学期末追加試験 2 月下旬（予定）

※定期試験期間中、試験時間内に試験教室に入室していた場合や試験開始後に体調不良などの理由で途中退出する場合は、当該科目の追加試験の受験は認められません。

9 不正行為について

定期試験、授業内試験、レポートなどは、大学での勉学の成果の証となる重要なものであり、そこでの不正行為は絶対に許されるものではありません。学則第 188 条には、「この学則若しくはこれに基づいて定められた学内諸規則に違反し、または学業を怠り、気品を害ね、その他学生としての本分にもとる行為のあった者については、懲戒として情状により譴責、減点、停学または退学の処分をする」とあります。試験やレポートなどにおける不正行為は、ここでいう「学内諸規則に違反し」、「学業を怠り、気品を害ね」、「学生としての本分にもとる」行為にあたり、塾生としての品位に欠ける、極めて悪質な行為であると言わざるをえません。

不正行為があった場合はこの学則第 188 条に基づいて、当該科目を不合格、その学期に履修合格した他の全科目の評価を 1 ランク下げる、さらに停学また

は退学などの処分が行われる場合もあります。

定期試験、授業内試験で不正行為とみなされる行為には以下のようなものがあります。

- ・カンニング ・代筆 ・スマートフォン、時計型端末の持ち込み
- ・答案用紙持ち帰り ・試験監督者の指示に意図的に従わない行為

また、試験に臨む時は、不正行為と誤認されるような紛らわしい態度を取らないようにしなければなりません。

レポートなどで不正行為とみなされる行為には以下のようなものがあります。

- ・代筆
- ・盗用、剽窃、出典を示さないコピー・アンド・ペースト
- ・自己盗用（過去のレポートの一部ないし全部を明示せず流用すること）
- ・データの改ざん、捏造

レポートなどでは、他人の意見・文章を断りなく用いた場合は、自分では意図していなくても盗用、剽窃とみなされ、定期試験、授業内試験での不正行為と同等のあるいはより深刻な不正行為として、処分の対象となります。執筆にあたっては、以下のルールを守るよう、十分に注意してください。なお不明な点は、担当教員のアドバイスに従ってください。

1. 自分の意見とそれ以外の部分を明確に分ける。
2. 他人の意見などを引用する場合は必ず出典を挙げる。
3. 文言を引用するときは、一字一句正確に引用する。
4. 出典の示し方は科目担当者が示すルールに従う。
5. インターネットからの引用は URL とページタイトル、およびその取得日 を載せる。

電子的にレポートを提出する場合には、誤ったファイルをアップロードあるいは添付しないように、十分に注意してください。ファイルの内容によっては、不正行為とみなされます。

不正行為によって処分対象となった場合、周囲に対する自らの信用・信頼を失うだけでなく、これまで勉学を応援してくてくれた周囲の方々にも大きな迷惑をかけることになります。不正行為は絶対にしてはいけません。

ChatGPT 等生成 AI の使用について

各授業科目において、学部・研究科や担当教員が生成 AI の利用を奨励もしくは許可する場合には、当該教員等が示す方針のもとで適正に活用してください。ただし、生成 AI を利用してレポート等を作成した場合には、その旨を明記することが必要です。

なお、生成 AI の利用は他者の力を借りることと同じ意味を持ちます。各授業科目における課題や試験等に関して、独力で取り組むことが求められている場合には、生成 AI を利用することは認められません。

※授業期間中、長期間にわたり海外等に行く場合は必ず学生部理工学部担当に申し出てください。

※申請方法が変更となった場合は、K-Support、塾生サイト等に掲載されますので、必ず確認してください。

1 休学(学部学則 第152条)

病気その他やむを得ない理由により欠席が長期にわたる場合は、学部会議の許可を得て休学することができます。休学期間は卒業に必要な在学年数には算入しません。休学が許可された後に、休学を取り消すなどの変更は認められません。申請はよく考えた上で行ってください。

(1) 休学の期間

通 年：4月1日～翌年3月31日

春学期：4月1日～9月21日

秋学期：9月22日～翌年3月31日

(2) 「休学願」の申請

休学希望者は、K-Supportの「申請」機能から詳細を確認の上、申請してください。なお、病気・怪我の場合は医師の診断書、語学研修等の場合は入学許可書の写し等の提出も必要です。

2025年度 春学期休学願提出期限：2025年5月30日(金) 16:45まで 厳守

2025年度 通年・秋学期休学願提出期限：2025年11月28日(金) 16:45まで 厳守

(3) 学習指導面接

「休学願」申請時に所属学部の学習指導担当教員が面接します。面接日時等の詳細は所属学部窓口で相談してください。

(4) 「就学届」

休学期間終了後は速やかに、K-Supportの「申請」機能から「就学届」を申請してください。なお、病気・怪我を理由に休学していた場合は、医師の診断書を提出してください。

(5) 学費減免措置(休学)

休 学	
入学1年目	入学2年目以降
本大学での学習を奨励するため、入学1年目の休学については、学費は減免されません。ただし、兵役、正課・課外活動中の事故による傷害、地震・台風等の大規模な自然災害(激甚災害)の影響の場合は授業料・施設設備費・実験実習費が減免されることがあります。	各学期において授業料・施設設備費・実験実習費の全額を減免します。納付が必要な費用は在籍基本料および代理徴収費用(研究会費・自治会費・学生健康保険互助組合費等)となります。

※学費減免措置は、適用される学費体系によって必要な手続・書類が異なります(第2学年編入・学士入学・再入学の場合は在籍学年にかかわらず、入学年度は入学1年目として扱われます)。

減免を受けるための手続き等の詳細については、日吉学生部所属窓口で確認してください。

学費の詳細および金額については、「慶應義塾ウェブサイト」→「入学案内」→「学費」ページを確認してください。

なお、留学・休学中も、本大学の学事・学生生活支援、図書館、情報環境等に関する諸サービスの利用が可能であるため、在籍基本料は減免の対象となりません(交換留学のうち、学費の相互免除が含まれないものを除く)。

<https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/fees/>



(6) 休学期間の上限

2023年度より学則第152条が改正されたことに伴い、以下のとおりとします。

- ① 休学期間の上限は、通算して4年(8学期)とします。ただし、編入者および再入学者の休学期間の上限については異なります。詳細は学生部理工学部担当へ問い合わせてください。
 - ② 上記の休学期間の通算に含むのは、2023年4月1日以降の休学とします(2022年度以前の休学は通算に含めません)。
 - ③ 休学理由が「母国における兵役義務のため」と認められた場合、当該休学期間は上記の休学期間の通算には含めません。
 - ④ 在学中の休学期間の通算が上限に達した場合、それ以降の休学は認められません(母国における兵役義務を理由とした休学を除く)。
- (7) 休学期間中における活動の単位認定について

休学中の活動に対しては、単位の付与は行いません。例えば春学期休学をして、夏季休校中に実習活動に参加しても、秋学期科目として履修し単位を取得することはできません。

2 退学(学部学則第154条)

「退学届」の提出

事情により退学しなければならなくなった場合は、所定の「退学届」に退学理由を具体的に明記し、保証人連署のうえ、学生証を添えて日吉学生部へ提出してください。

退学年月日が3月31日の場合、当該年度に取得した成績および在籍は有効とされます。退学年月日が学期中の場合、当該学期に取得した成績および在籍は無効とされます。

また、学費未納の場合、退学年月日は学費納入済みの学期末日まで遡及します(学部学則第171条)。退学後に完納された場合でも、無効となった在籍および成績は有効にはなりません。

3 学則第156条による退学処分

第1・第2学年併せて4年在学し当該年度末に第3学年に進級し得ない者、第3・第4学年併せて4年在学し当該年度末に卒業し得ない者は退学処分となります。また、第1学年もしくは第3学年在籍者で、第1学年もしくは第3学年に3年在学し当該年度末に進級し得ない者についても、学則第156条にもとづき退学処分となります。

半期休学した者については以下に注意してください。

[第1学年および第3学年の在籍者]

年度末において第1学年の在学年数が2.5年の者、もしくは第3学年の在学年数が2.5年の者が原級となった場合、翌年度末まで在籍が認められます。

[第2学年および第4学年在籍者]

年度末において第1・第2学年の在学年数が3.5年の者、もしくは第3・第4学年の在学年数が3.5年の者が原級となった場合、翌年度末まで在籍が認められます。

また、第1学年もしくは第3学年に3.5年在籍し、第2学年もしくは第4学年に進級した者については、第2学年もしくは第4学年で春学期のみ、または秋学期のみの半期休学は認められません。(春学期・秋学期の1年の休学は認められます。)

4 学則第188条による退学処分

大学の学則もしくは諸規律に違反したと認められた時、履修申告を期日までに行わず修学の意志が確認できない時などには学部学則第188条により退学処分となります。

【学部学則第188条（抜粋）】

この学則若しくはこれに基づいて定められた学内諸規則に違反し、または学業を怠り、気品を害ね、その他学生としての本分にもとる行為のあったものについては、懲戒として情状により譴責、減点、停学または退学の処分をする。ただし、懲戒退学は、次の各号の一つに該当する者に対してのみ、これを命ずるものとする。

- 1 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- 2 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- 3 正当な理由がなくて出席常でない者
- 4 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

5 留学(学部学則第153条)

(1) 「国外留学」の申請

短期・長期にかかわらず留学先大学の入学許可を取得し「留学」を希望する学生は、K-Supportの「申請」機能から詳細を確認の上、申請してください。

(2) 学習指導面接

「国外留学」申請後に所属学部の学習指導担当教員が面接します。その後所属学部会議の承認を受けてから、留学希望先大学での正式手続きを経て、留学先大学正規生と同じ授業を受ける場合に限り「留学」として許可される可能性があります。

※語学留学のみの留学は、「留学」に該当せず休学対象になります。

(3) 留学先大学での取得単位

「留学」中の学業成果は、学部学則第153条により、復学後、取得単位や在学期間について認定を受けることができます。

詳細は国際センター発行の「留学の手引き」および理工学部学生課国際担当発行の「理工学部海外留学プログラムパンフレット」を参照のうえ、日吉学生部国際担当および日吉学生部所属学部窓口へ問い合わせてください。

海外留学情報：http://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/

<https://www.st.keio.ac.jp/students/ic/>

(4) 学費減免措置(留学)

	留 学	
	入学1年目	入学2年目以降
私費留学	本大学での学習を奨励するため、入学1年目の私費留学については、学費は減免されません。	各学期において授業料・施設設備費・実験実習費の全額を減免します。納付が必要な費用は在籍基本料および代理徴収費用(研究会費・自治会費・学生健康保険互助組合費等)となります。
交換留学 (ダブルディグリー含む)	原則として減免制度はありません。ただし、学費の相互免除が含まれない交換留学については、代理徴収費用(研究会費・自治会費・学生健康保険互助組合費等)を除き、学費の全額を減免します。	

◆減免される期間は、最長4学期まで(交換留学・ダブルディグリーの期間含む)。

※学費減免措置は、適用される学費体系によって必要な手続・書類が異なります(第2学年編入・学士入学・再入学の場合は在籍学年にかかわらず、入学年度は入学1年目として扱われます)。

減免を受けるための手続き等の詳細については、日吉学生部所属窓口で確認してください。

学費の詳細および金額については、「慶應義塾ウェブサイト」→「入学案内」→「学費」ページを確認してください。なお、留学・休学中も、本大学の学事・学生生活支援、図書館、情報環境等に関する諸サービスの利用が可能であるため、在籍基本料は減免の対象となりません(交換留学のうち、学費の相互免除が含まれないものを除く)。

※海外の教育機関に留学する場合の取扱い

本大学が教育上有益と認めたときは休学することなく、外国の大学に留学することを許可することがあります。

留学希望先の大学でオンライン授業が提供され、理工学部でオンライン授業の履修を留学として認めた場合は、現地に渡航せずにオンライン留学が認められることがあります。

(1) 学籍について

在学期間中に留学を希望する場合、学籍状態が①「留学」と②「休学」に分けられます。

①は教授会において適正と認められた海外の大学で、正式な手続きを経て正規生と同じ授業を受ける場合を指します。「交換留学」、留学のための「奨学金による留学」、「私費留学」の3つに分類されます。

年度の途中に開始し、翌年度の途中で終了することが可能です。

(例：2025.4.1～2025.10.1, 2025.9.1.～2026.8.1 など)

留学の延長は1回可能(最長で留学開始から2年間まで)です。それ以降は「休学」となります。

②は①「留学」と認定されない場合を指します。休学理由は「語学研修」となります。休学願の提出締切・休学期間は、休学(p. 78)の項を参照してください。

(2) 単位認定について

①と認められた場合、留学先での取得単位は、30単位を超えない範囲で慶應義塾大学の単位として認定される場合があります。認定を希望する場合は、帰国後速やかに学事担当に申請してください。認定は原則として、帰国した年度内に限ります。認定対象科目は以下の通りです。

1. 「総合教育科目」 ただし講義系科目のみとし、語学・セミナー・実習科目は対象外とする。

2. 「専門基礎科目」

3. 理工学部設置の「学科専門科目」 ただし他学部の関連科目は対象外とする。

なお、取得済の科目と同一科目名での認定、および認定科目と同一名称科目の履修申告は、できません。認定科目の評語はS・A・B・Cとなります。

不明な点は、早めに学事担当にご相談ください。また、留学前に学習指導担当教員とコンタクトを取って、履修科目を検討することを強く薦めます。

②の場合は単位認定はありません。

(3) 在学年数について

①と認められた場合、1年間に限り留学期間を慶應義塾大学の在学年数に算入することがあります。留学期間中は進級できませんが、たとえば、3年次に留学前に取得した単位と留学先で取得した単位で認定されたものを合わせて4年への進級条件を満たせば、帰国した年度の途中であっても進級すること(遡及進級)ができます。ただし、4年生においては、帰国した年度の前年度に遡って卒業す

ること（遡及卒業）は認められません。

②の場合は、在学年数に算入されません。休学終了後は原級にとどまります。

6 再入学（学部学則第 155 条）

[学部学則第 155 条（抜粋）]

退学した者が再入学しようとする場合には、事情を考慮した上で原級に編入することがある。

（注：学部学則第 156 条，第 171 条，および第 188 条により処分退学になった者に，この学則第 155 条の適用はできない。）

（注：学力不振で自主退学した学生がこの制度で再入学できる可能性は極めて低い。）

重要

※申請方法が変更となった場合は、Web 等に掲載されますので、必ず確認してください。

1 学生証

- (1) 学生証は、諸君が本大学学生であることを証明する身分証明書です。学生証は以下の役割も兼ねています。様々な場面で必要になるので常に携帯してください。

①慶應義塾大学学生健康保険互助組合員証

②本塾メディアセンター入館証

【学籍番号】が学生証表面と在籍確認シール（裏面シール）に記載されています。この番号は学生一人につき一つずつ付番されている大切な固有番号です。

- (2) 学生証は他人に貸与または譲渡することはできません。

- (3) 学生証は「カード」「在籍確認シール」「カードケース」の3点で1セットです。「カード」の裏面に「在籍確認シール」を貼り「カードケース」に必ず入れて携帯してください。「カード」は卒業するまで同じものを使います。勝手にシールをはがさないようにしてください。なお、在籍確認シールが裏面に貼付されていないカードは無効です。

※定期券、銀行カード、スマートフォンなどと一緒にすると磁気破損の原因になりますので注意してください。

- (4) 学生証は次のような場合に必要となります。

①定期試験のほか各種試験を受験する場合

②通学定期券または学生割引乗車券購入の際、およびそれを利用して乗車・乗船した際に係員から提示請求があった場合

③卒業証書を受け取る場合

④本塾教職員から提示請求があった場合

- (5) 再交付

学生証を紛失、汚損した場合は、K-Support「申請」→「学生証再交付」から、速やかに手続きを行ってください（URL およびログイン方法は p. 14 参照）。不備がなければ申請は通常、数日で承認されます。承認されると、慶應メール（@keio.jp）のメールアドレスに承認通知が届きます。手数料の支払いが発生する場合、承認通知の案内に従い支払手続きを行ってください。手続き完了後、慶應メール（@keio.jp）のメールアドレスに再交付の案内を送付します。日吉学生部総合受付にて学生証の再交付を受けてください。

一必要書類

（顔写真の変更を希望する場合のみ）証明書用写真：高さ 284px 幅 237px（高さ 24mm 幅 20mm）以上の鮮明なカラー画像（JPEG 形式）、脱帽、上半身正面、白・青またはグレーを基調とした無地の背景（風景やカーテンなどの背景は不可）、3ヶ月以内に撮影されたもの、写真加工アプリ等を用いて画

像に修正を施したものは不可

再交付理由	手数料
カードの紛失または破損	2,000 円
改姓名、磁気ストライプ・IC チップの破損（カードに見かけ上の破損がない場合）	無料

(6) 在籍確認シール（学生証裏面シール）

年度ごとのシール更新は行いません。休学・留学・原級等の理由で、シールの有効期限が切れる学生には、有効期限が切れる前に、有効期限を更新したシールを配布します。シールを紛失した場合は、日吉学生部総合受付で再交付を申請してください。

(7) 学生証の返却

再交付を受けた後に前の学生証が見つかった場合、また、退学等で離籍した場合は、ただちに日吉学生部総合受付へ返却してください。

2 住所変更（本人・保証人）

(1) 本人の住所変更の場合

K-Support「申請」→「住所確認・変更（本人・保証人）」から、速やかに変更手続を行ってください（URL およびログイン方法は p. 14 参照）。電話番号の変更の場合はこちらから手続を行ってください。不備がなければ、申請は通常、数日で承認されます。承認されると、慶應メール（@keio.jp）のメールアドレスに承認通知が届きます。変更項目が電話番号やメールアドレスだけの場合、通知メールは送信されません。

通学定期の区間が変更となる場合は、承認通知のメールが届いた翌朝 7:00 以降に、証明書発行サービスで通学証明書を申請してください。

日本国外の住所を登録、変更する場合は、K-Support「申請」→「海外住所登録（本人）」から申請してください。

(2) 保証人の住所変更の場合

K-Support「申請」→「住所確認・変更（本人・保証人）」から、速やかに変更手続を行ってください。電話番号の変更の場合はこちらから手続を行ってください。

日本国外の住所を登録、変更、削除する場合は、K-Support「申請」→「海外住所登録（保証人）」から申請してください。

これらの手続が行われない場合は、履修その他の重要な連絡に重大な支障をきたすことがありますので、十分注意してください。

3 保証人変更

保証人を変更する場合は、K-Support「申請」→「保証人変更」から、速やかに変更手続を行ってください（URL およびログイン方法は p. 14 参照）。保証人は原則として日本国内に居住し一家計を立てている成年者で、本人の学費と一身

上に関する一切の責任を負うことのできる者とし、父または母としてください。父母が保証人となり得ない場合は、兄、姉、伯父、伯母等後見人またはこれに準ずる方としてください。なお、国内に居住する者が保証人となり得ない場合は、国外に居住する者を保証人とすることができます。ただし、この場合は、本人に緊急事態が発生した場合の連絡先として、日本国内の住所を必ず K-Support「申請」→「国内緊急連絡先」から届け出てください。国内緊急連絡先は、緊急時に速やかに連絡がつくことをその要件とします。

4 改姓・改名

改姓・改名した場合は、K-Support「申請」→「改姓改名（本人）」「改姓改名（保証人）」から、速やかに変更手続きを行ってください（URL およびログイン方法は p. 14 参照）。

—必要書類

新姓名の戸籍謄本または抄本（3ヶ月以内に発行のもの）、もしくは旧姓併記の住民票（3ヶ月以内に発行のもの）／旧姓併記の運転免許証（有効期限内のもの）

5 国籍変更

国籍を変更した場合は、速やかに日吉学生部総合受付へ届け出てください。郵便やメール等窓口以外での届出は受け付けません。

必要書類

学生証、戸籍謄本または抄本や住民票等の国籍変更が確認できる公的な証明書（必要な情報が記載されていることをあらかじめ発行元に確認してください）

6 通学証明書（通学定期券の購入）

以下の手順で、紙の「通学証明書」をあらかじめ発行してから、通学定期券を購入してください。

- ① 証明書発行サービス（「塾生サイト」→「各種手続き」→「証明書」→「証明書の発行」からアクセス）にログインし、「通学証明書」を申請する。
- ② コンビニエンスストア、もしくは学内証明書発行機で「通学証明書」を印刷する。
- ③ 通学証明書に通学区間等を記入し、学生証持参の上、駅窓口等にて通学証明書を提出して通学定期券を購入する。

※「通学証明書」の発行手数料は無料ですが、コンビニエンスストアで印刷する場合、印刷料金が 60 円かかります。

※通学区間は「自宅最寄駅」から「学校最寄駅（日吉）」の最も経済的な経路に限ります（バス利用の場合は最寄りの停留所）。不正が判明した場合、通学証明書の発行を停止したり、学則に基づき処分することがあります。

※自宅住所を変更する場合、K-Support「住所確認・変更」にて、住所変更の申請を行ってください。通学証明書に新住所が反映されるのは、住所変更の承認通知メールが届いた翌朝 7:00 以降です。

なお、授業科目履修のために所属以外のキャンパスに通学するための手続きについても証明書発行サービスで行ってください。詳しくは「塾生サイト」を確認してください。

7 証明書(成績証明書・学割証等)

(1) 発行方法

各キャンパスの証明書発行機、もしくは全国のコンビニエンスストアにて証明書を発行できます。また、電子証明書(PDF)のダウンロードリンクを直接提出先に送付するオンライン送付機能もあります。詳細は塾生サイト(「塾生サイト」→「各種手続き」→「証明書」→「証明書の発行」)を確認してください。

① コンビニエンスストアでの発行

全国のコンビニエンスストア(セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン)にて、各種証明書を発行できます。発行には事前の申請・手数料の支払いが必要です。

※学割証はコンビニエンスストアで発行できません。証明書発行機を利用してください。

② 証明書発行機での発行

設置場所	稼働時間
第4校舎 B 棟 1 階 中央連絡通路脇	月曜日～土曜日 8:45～20:00(授業期間)

※授業・定期試験のない土曜日、また祝日・一斉休業期間・システムメンテナンス中は利用できません。

※証明書発行機は所属キャンパスに関係なく利用できます。稼働日・稼働時間は状況により変更となる場合がありますので、利用に際しては、必ず塾生サイト等で確認すること。

※メンテナンス・故障等による利用停止情報等は、随時Web等でお知らせします。

③ 電子証明書(PDF)のオンライン送付

電子証明書(証明書のPDFデータ)のダウンロードリンクを就職先企業、海外の教育機関等に直接送付する機能です。詳細は塾生サイトで確認してください。

(2) 証明書の厳封

厳封を希望する場合は、K-Support「申請」→「証明書発行(厳封・特殊証明書等)」から申請してください(URLおよびログイン方法はp. 14 参照)。証明書発行機・コンビニエンスストアで発行された証明書を後から厳封することはできません。

(3) 代理人による申請

代理人による証明書の申請は、学生本人が大学に来ることが困難な場合(留学中、入院中等)に限り受け付けます。日吉学生部総合受付で申し込んでください。

必要書類

本人の学生証の写し、委任状、代理人の身分証明書

※委任状には特に所定の書式はありませんが、例を参照のうえ、学生本人の意思が確認できるように作成してください。

〔例〕委任状

私「(本人氏名)」は、「(代理人氏名)」に、証明書の申込みと受け取りを一任します。

20XX年〇月△日・本人署名・捺印

※身分証明書とは、慶應義塾大学学生証、運転免許証、パスポート、健康保険証（被保険者等記号・番号等にマスキングを施すこと）、在留カードを原則とします。社員証、他大学学生証等は受け付けません。

(4) 証明書一覧

証明書	言語	手数料	発行場所	発行日数	発行開始日	備 考
在学証明書	和文	300 円	学内発行機 コンビニ オンライン	即 日	4 月 1 日	
	英文					
成績証明書	和文	300 円	学内発行機 コンビニ オンライン	即 日	4 月 1 日	当該学期の成績が証明書に反映される時期は要学期となります（学部によっては春学期の成績が翌年度に反映されます）。
	英文					
卒業見込証明書	和文	300 円	学内発行機 コンビニ オンライン	即 日	4 月 1 日	最終学年のみ発行されます。
	英文					
履修科目証明書	和文	300 円	学内発行機 コンビニ オンライン	即 日	春学期：5 月 2 日 秋学期：10月24日	
	英文	300 円	窓 口	数 日		
健康診断証明書	和文	300 円	学内発行機 コンビニ オンライン	即 日	6 月 6 日	受診した年度の年度末まで発行されます。
	英文	保健管理センターに問い合わせてください。(TEL：045-566-1055)				
学習証	和文	無料	学内発行機	即 日	4 月 1 日	
所属地区通学証明書	和文	無料	学内発行機 コンビニ	即 日	3 月 23 日	入学者は入学日以降発行可能です。 例：4 月入学者は 4 月 1 日以降発行可能
他地区通学証明書	和文	無料	学内発行機 コンビニ	即 日	春学期：4 月 8 日 秋学期：10月 1 日	授業科目履修のために所属以外のキャンパスに通学するための通学定期券を購入する際に必要な証明書です。詳細は塾生サイト (https://www.students.keio.ac.jp/com/procedure/pass/) を確認してください。
厳封を必要とするもの	和文 英文	300 円	窓 口	数 日	—	厳封が必要な場合は、証明書発行機で発行できる証明書でも窓口で申請してください。
各種資格試験等受験用単位取得証明書	和文	300 円	窓 口	数 日	—	K-Support「申請」→「証明書発行（厳封・特殊証明書等）」から申請してください。
提出先所定の用紙(リクエストフォーム)に証明記入を要するもの、その他	和文 英文	300 円	窓 口	数 日	—	

※窓口での証明書発行・受け取りには、学生証が必要です。

※発行までに時間がかかる場合がありますので、余裕をもって申請してください。

※学習証の有効期限は発行日から 3ヶ月以内です（有効期間内でも学籍を失った場合は無効）。必要な枚数だけ発行するようにしてください。

※団体旅行申込書（団体割引）を発行する場合は、学生生活支援担当に申し出てください。

※前学期まで学費未納の場合は、すべての証明書が発行できません。

8 資格について

※最新の情報は、矢上キャンパス向けの履修案内を必ず確認してください。

(1) 電気情報工学科における第一級陸上無線技術士試験免除について

慶應義塾大学理工学部電気情報工学科に設置されている授業科目のうち、下表にある授業科目を取得し卒業した者は、所定の手続きによって、第一級陸上無線技術士資格取得のための「無線工学の基礎」の試験を免除されます。

1. 「無線工学の基礎」試験免除に対応する設置授業科目

認定基準に規定する 科 目		卒業者が履修する科目等			備 考
		科 目 名	時間数	単位数	
基礎教育専門科目	数 学	数学 1A	30	2	9 科目の中から 210 時間以上を 履修すること
		数学 2A	30	2	
		数学 1B	30	2	
		数学 2B	30	2	
		応用解析第 1	30	2	
		応用解析第 2	30	2	
		応用数学	30	2	
		電気情報数学基礎（2023 年度以前の取得分は 「複素解析」）	30	2	
		コンピュータシミュレーション同実習	30	2	
	物 理	物理学 A	30	2	105 時間以上 履修すること
		物理学 B	30	2	
		理工学概論	30	2	
		理工学基礎実験	60	2	
	電気磁気学	物理学 C	30	2	120 時間以上 履修すること
		物理学 D	30	2	
		量子工学	30	2	
		電磁気学	30	2	
	半導体及び電子管 並びに 電子回路の基礎	エレクトロニクス基礎	30	2	90 時間以上を 履修すること
		デジタル・アナログ回路	30	2	
		エレクトロニクス・デバイス	30	2	
	電気回路	電気回路基礎	30	2	120 時間以上 履修すること
		電気回路理論	30	2	
		LSI 回路設計Ⅰ	30	2	
		シグナルプロセッシング	30	2	
	電気磁気測定	電気電子計測	30	2	180 時間以上 履修すること
		電気情報工学実験第 1	90	3	
		電気情報工学実験第 2	90	3	

2. 科目の履修について

上記の表の備考欄に指示されたとおりの科目を履修し、それを修得しなければなりません。

3. 受験に関する事項は管轄する地方総合通信局に問い合わせること

〈参考〉総務省関東総合通信局

〒102-8795 東京都千代田区九段南 1-2-1 九段第 3 合同庁舎

問い合わせ先：無線通信部航空海上課 TEL 03-6238-1749

(2) 特殊無線技士国家試験免除について

以下の無線通信に関する科目を卒業時までには修得すると、第一級陸上特殊無線技士および第二・三級海上特殊無線技士の免許を申請により取得できます。電気情報工学科、情報工学科の専門教育科目を含みますが、他学科生でも履修および申請は可能です。

※○印は電気情報工学科設置科目、◎印は情報工学科設置科目です。

法令区分	第一級陸上特殊無線技士	第二・三級海上特殊無線技士
無線機器学 その他無線機器に関する科目	○コミュニケーションシステム ◎通信システム ※3科目のうち、いずれか1科目	○コミュニケーションシステム ◎通信システム ※3科目のうち、いずれか1科目
電磁波工学 その他空中線系及び電波伝搬に関する科目	○ワイヤレスコミュニケーション	○ワイヤレスコミュニケーション
電子計測その他無線測定に関する科目	○電気電子計測	○電気電子計測 ※第三級海上特殊無線技士の場合は不要
電波法規その他電波法令に関する科目	○電波法規	○電波法規

1. 授業科目の履修上の注意

他学科設置科目を履修する場合には、自主選択科目または自由科目として履修してください。

2. 操作対象となる無線設備の概要

陸上	第一級陸上特殊無線技士	多重無線設備を使用した固定局などの無線設備
海上	第二級海上特殊無線技士	漁船や沿海を航行する内航船舶の船舶局、VHFによる小規模海岸局などの無線設備
	第三級海上特殊無線技士	沿岸海域で操業する小型漁船やプレジャーボートの船舶局の無線電話などの無線設備

無線従事者の資格の種類、取り扱い内容の詳細については、日本無線協会のホームページをご確認ください。

<https://www.nichimu.or.jp/denpa/shikaku/index.html>

3. 申請に必要な書類について

申請に必要な履修内容証明書は、学生課学事担当窓口にて発行します。また、履修内容証明書には該当科目のシラバスを添付してください。その他に必要な書類は、総務省電波利用ホームページをご確認ください。

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/download/radioope/index.htm>

4. 申請に関する事項は管轄する地方総合通信局に問い合わせること

〈参考〉総務省関東総合通信局

〒102-8795 東京都千代田区九段南 1-2-1 九段第3合同庁舎

問い合わせ先：無線通信部航空海上課：TEL 03-6238-1749

(3) 電気主任技術者免状取得について

慶應義塾大学理工学部 a) 電気情報工学科 b) システムデザイン工学科および慶應義塾大学大学院理工学研究科修士課程総合デザイン工学専攻に設置してある所定の学科目を履修し、卒業（大学院においては修了）した者で、取得学科目証明書および経済産業省令で定める他の必要書類を所轄の官公庁所定の規則に基づき申請し、法の定める条件に該当する場合には、主任技術者免状を経済産業大臣より受けることができる。（詳細は電気事業法第44条および主任技術者の資格等に関する省令等を参照）

1. 主任技術者の資格

主任技術者免状の種類に応じて、それぞれ交付を受けるに必要な学歴または資格および実務の経験は、下表にあげる通りである。

免状の種類	学歴または資格(電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令より抜粋)	実 務	
		内 容	経験年数
第 一 種 電 気 主 任 技 術 者 免 状	1. 大学（短期大学を除く）であって、経済産業大臣の認定を受けたものの電気工学に関する学科において、第7条第1項各号の科目を修めて卒業（大学院においては修了）した者 2. 1. にあげる者以外の者であって第二種電気主任技術者免状の交付を受けている者	電 圧 50,000 ボルト以上の電気工作物の工事、維持または運用	1. 卒業前の経験年数の2分の1と卒業後の経験年数との和が5年以上 2. 第二種電気主任技術者免状の交付を受けた後5年以上
第 二 種 電 気 主 任 技 術 者 免 状	1. 第一種と同様 2. 1. にあげる者以外の者であって第三種電気主任技術者免状の交付を受けている者	電 圧 10,000 ボルト以上の電気工作物の工事、維持または運用	1. 卒業前の経験年数の2分の1と卒業後の経験年数との和が3年以上 2. 第三種電気主任技術者免状の交付を受けた後5年以上
第 三 種 電 気 主 任 技 術 者 免 状	1. 第一種と同様	電 圧 500 ボルト以上の電気工作物の工事、維持または運用	1. 卒業前の経験年数の2分の1と卒業後の経験年数との和が1年以上

以上の規定にかかわらず電気主任技術者国家試験に合格した者も、その交付を受けることができる。

2. 主任技術者免状交付申請に必要な書類

主任技術者免状交付申請書、卒業証明書、単位取得証明書、実務経歴証明書、戸籍抄本又は住民票（本籍地の記載があるもの。必要な書類の正しい作り方は、最寄りの地方産業保安監督部担当部署や理工学部学生課（矢上）に問い合わせること。）

3. 書類の提出先

所轄の産業保安監督部電力安全課

〈参考〉経済産業省 関東東北産業保安監督部 電力安全課

〒330-9715 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-1

さいたま新都心合同庁舎 1 号館 11F

4. 将来、電気主任技術者免状の交付を受けようとする者は、次ページに示す授業科目を履修し単位を取得しておく必要がある。

授業科目の履修上の注意

- (1) 次ページの表における◎科目は免状取得における必修の授業内容である。表中の「免状取得のための必修」に該当する科目を履修することで、内容を充足する。
- (2) 科目区分ごとの必要単位数に注意して履修すること。
- (3) 大学院生は、科目名の後に「(院)」の記載がある大学院科目を履修して、単位を取得することで、必要単位数に加算することができる。
- (4) 該当科目には変更が生じることがある。

a) 電気情報工学科

経済産業省指定の科目区分別授業内容及び単位数			電気情報工学科における該当科目						
科目区分	授業内容	必要 単位	科目名	単 位 数	学科に おける必修	免状取得 のための必修			
1. 電気工学又は電子工学等の基礎に関するもの	○科目 電気磁気学又は電磁気学 電気回路理論又は電気回路 電気計測又は電子計測	17	物理学 C	2	○	○			
			物理学 D	2	○	○			
			電磁気学	2					
			電気回路基礎	2	○	○			
			電気回路理論	2					
	○科目 電子回路理論 又は電子回路 電子工学又は電子デバイス工学 システム基礎論 電気電子物性		電気電子計測	2		○			
			デジタル・アナログ回路	2	○				
			エレクトロニクス基礎	2	○				
			固体物性工学	2					
			エレクトロニクス・デバイス	2					
			LSI 回路設計Ⅰ	2					
			LSI 回路設計Ⅱ	2					
			電気・磁気機能物質 (院)	2					
			ナノエレクトロニクス (院)	2					
2. 発電, 変電, 送電, 配電及び電気材料並びに電気法規に関するもの	○科目 発電工学又は発電用原動機に関するもの 変電工学 送電工学 配電工学 電気法規・電気施設管理	8	熱エネルギー工学	2					
			エネルギーネットシステム	2		○			
			電力システム制御	2		○			
			電気法規及び施設管理	2		○			
	○科目 電気材料 高電圧工学 エネルギー変換工学 システム工学又は電力システム工学 放電工学 技術者倫理		熱エネルギーシステム論 (院)	2					
			電気電子材料	2					
			熱流体システムデザイン論 (院)	2					
			有機電子材料・デバイス (院)	2					
			3. 電気及び電子機器, 自動制御, 電気エネルギー利用並びに情報伝送及び処理に関するもの	○科目 電気機器学 パワーエレクトロニクス 自動制御または制御工学	10	制御工学	2	○	○
						電気機器システム	2		○
線形制御理論	2								
パワーエレクトロニクス	2					○			
知的制御工学 (院)	2								
○科目 電動機応用 照明 電気加工 (放電応用を含む) 電熱 メカトロニクス 電気化学変換 電気光変換 情報伝送及び処理 電子計算機 省エネルギー	光デバイス工学	2							
	シグナルプロセッシング	2							
	情報学基礎	2		○					
	プログラム実習	2		○					
	画像工学	2							
4. 電気工学若しくは電子工学実験又は電気工学若しくは電子工学実習に関するもの	○科目 電気基礎実験 電気応用実験	6	光・量子エレクトロニクス	2					
			ワイヤレスコミュニケーション	2					
			計算機構成	2					
			コミュニケーションシステム	2					
			コンピュータシミュレーション同実習	2					
	○科目 電子実験 電気実習 電子実習		通信ネットワーク工学基礎	2					
			アルゴリズム同演習	2					
			電磁エネルギー変換工学	2					
			画像工学特論 (院)	2					
			光情報計測 (院)	2					
5. 電気及び電子機器設計又は電気及び電子機器製図に関するもの	○科目 電気機器設計 電気製図 自動設計製図 (CAD) 電子回路設計 電子製図	2	光エレクトロニクス (院)	2					
			システム制御設計論 (院)	2					
			自然科学実験 (物理実験)	1	○	○			
			理工学基礎実験	2	○	○			
			電気情報工学実験第 1	3	○	○			
総計			43						

注：①以下の科目はシステムデザイン工学科の設置科目のため、自主選択科目または自由科目として履修すること。

「熱エネルギー工学」、「エネルギーネットシステム」、「電気機器システム」、「線形制御理論」、

「パワーエレクトロニクス」、「電磁エネルギー変換工学」

②大学院設置科目は総合デザイン工学専攻の設置科目である。

b) システムデザイン工学科

経済産業省指定の科目区分別授業内容及び単位数			システムデザイン工学科における該当科目			
科目区分	授業内容	必要 単位	科目名	単 位 数	学科に おける必修	免状取得の ための必修
1. 電気工学又は電子工学等の基礎に関するもの	○科目 電気磁気学又は電磁気学 電気回路理論又は電気回路 電気計測又は電子計測	17	物理学 C	2	○	○
			物理学 D	2	○	○
			電磁気工学	2	○	○
			回路とシステム第 1	2	○	○
			回路とシステム第 2	2		
	○科目 電子回路理論 又は電子回路 電子工学又は電子デバイス工学 システム基礎論 電気電子物性		システム計測	2		○
			エレクトロニクスデザイン	2		
			ダイナミカルシステム	2		
			システム工学	2		
			光学システム	2		
2. 発電、変電、送電、配電及び電気材料並びに電気法規に関するもの	○科目 発電工学又は発電用原動機に関するもの 変電工学 送電工学 配電工学 電気法規・電気施設管理	8	電気・磁気機能物質 (院)	2		
			ナノエレクトロニクス (院)	2		
			熱エネルギー工学	2		
			エネルギーネットワークシステム	2		○
			電力システム制御	2		○
	○科目 電気材料 高圧工学 エネルギー変換工学 システム工学又は電力システム工学 放電工学 技術者倫理		電気法規及び施設管理	2		○
			熱エネルギーシステム論 (院)	2		
			工学材料	2		
			ソフトウェア・ハードウェアデザイン	2		
			熱流体システムデザイン論 (院)	2		
3. 電気及び電子機器、自動制御、電気エネルギー利用並びに情報伝送及び処理に関するもの	○科目 電気機器学 パワーエレクトロニクス 自動制御または制御工学	10	有機電子材料・デバイス (院)	2		
			電気機器システム	2		○
			線形制御理論	2		
			制御システム設計論	2		○
			パワーエレクトロニクス	2		○
	○科目 電動機応用 照明 電気加工 (放電応用を含む) 電熱 メカトロニクス 電気化学変換 電気光変換 情報伝送及び処理 電子計算機 省エネルギー		知的制御工学 (院)	2		
			メカトロニクス	2		
			信号処理	2		
			情報学基礎	2	○	
			プログラミング演習	2		
4. 電気工学若しくは電子工学実験又は電気工学若しくは電子工学実習に関するもの	○科目 電気基礎実験 電気応用実験	6	電磁エネルギー変換工学	2		
			情報処理システムデザイン	2		
			画像工学特論 (院)	2		
			光情報計測 (院)	2		
			光エレクトロニクス (院)	2		
	○科目 電子実験 電気実習 電子実習		システム制御設計論 (院)	2		
			自然科学実験 (物理実験)	1	○	○
			理工学基礎実験	2	○	○
			システムデザイン工学実験第 2	2	○	○
			システムデザイン工学演習	2	○	
5. 電気及び電子機器設計又は電気及び電子機器製図に関するもの	○科目 電気機器設計 電気製図 自動設計製図 (CAD) 電子回路設計 電子製図	2				
			電気機器設計法	2		○
			デザインリテラシー演習	2	○	
総計		43				

注：①以下の科目は電気情報工学科の設置科目のため、自主選択科目または自由科目として履修すること。

「電力システム制御」、「電気法規及び施設管理」、「電気機器設計法」

②大学院設置科目は総合デザイン工学専攻の設置科目である。

(4) システムデザイン工学科における一級建築士試験の受験資格取得について

理工学部システムデザイン工学科の学生は、主に学科に設置されている国土交通大臣の指定する建築に関する科目を所定単位数以上修めて卒業すると、一級建築士、二級建築士、木造建築士の受験資格を得ることができる。

また一級建築士に関しては、大学院理工学研究科開放環境科学専攻に設置されている国土交通大臣の指定する建築に関する科目を所定単位数以上修めて修了することで、1年または2年の実務経験（※）とみなすことができる。

※建築士資格の登録には所定の実務経験が必要。大学院科目の先取り履修で単位を取得した場合は、大学院に進学した際に、その科目の単位をインターンシップ関連科目の単位としては認めない。

一級建築士の定義および試験内容

- 「一級建築士」とは、国土交通大臣の免許を受け、一級建築士の名称を用いて、建築物に関し、設計、工事監理その他の業務を行う者をいう。
- 一級建築士試験は、建築士法第13条の規定に基づいて国土交通大臣により行われる。試験の実施に関する事務は、建築士法第15条の2第1項の規定に基づき、国土交通大臣から中央指定試験機関の指定を受けた公益財団法人建築技術教育普及センターが行う。
- 一級建築士試験は、学科の試験（計画、環境・設備、法規、構造、施工）と設計製図の試験からなる。

受験資格要件

- 大学において、国土交通大臣の指定する建築に関する科目（指定科目）を修めて卒業しなければならない。指定科目は表1の通り。

免許登録要件

(1) 一級建築士試験に合格

(2) 実務経験

- 指定科目を修めて卒業後、建築に関する実務として国土交通省令で定めるものの経験を2年以上有していなければならない。
- 国土交通省令で定める建築に関する実務は表3の通り。

なお、指定科目に係る必要単位数と必要な建築実務の経験年数は表4による。

表1 指定科目に該当する科目一覧 (対象となる入学年度: 2022, 2023 年度)

指定科目の分類		指定科目			
二級・木造	一 級	科 目 名	履修学年	学科必修科目	単位数
①建築設計製図 (3 単位以上)	①建築設計製図 (7 単位以上)	空間設計製図Ⅰ	2		2
		空間設計製図Ⅱ	3		3
		空間設計製図Ⅲ	4		4
		図学	2		2
②～④ 建築計画, 建築環境工学 又は建築設備 (2 単位以上)	②建築計画 (7 単位以上)	日本・東洋建築史	1・2		2
		西洋建築史	1・2		2
		近現代建築史	1・2		2
		空間デザイン学	3		2
		建築デザイン論	3		2
		サステナブル建築・都市デザイン	3		2
	③建築環境工学 (2 単位以上)	建築熱・空気環境工学	3		2
		音・光環境工学	4		2
	④建築設備 (2 単位以上)	居住設備デザイン工学	3		2
	⑤～⑦ 構造力学, 建築一般構造 又は建築材料 (3 単位以上)	⑤構造力学 (4 単位以上)	力学的モデリング	2	○
力学的アナリシス			2		2
力学的シンセシス			3		2
構造システム工学			3		2
地震工学			4		2
⑥建築一般構造 (3 単位以上)		空間構造力学	3		2
		鉄骨構造工学	4		2
		鉄筋コンクリート構造工学	4		2
		建築構法	3～4		2
⑦建築材料 (2 単位以上)		工学材料	2		2
⑧建築生産 (1 単位以上)	⑧建築生産 (2 単位以上)	建築生産	4		2
⑨建築法規 (1 単位以上)	⑨建築法規 (1 単位以上)	建築行政	4		2
⑩その他 (適宜)	⑩その他 (適宜)	システムデザイン工学実験第 1	3	○	2
		空間デザイン海外研修	3		1
		建築・都市の社会・経済	4		2
		都市インフラストラクチャシステム	4		2
		都市工学	3～4		2
		建築論	3～4		2
		アーバンルーラルリデザイン※1	1・2・3・4		2
		設計・計画の最適化数理	3		2
		都市・建築のレジリエンス	4		2
		社会・経済・文化と工学	3		2
		複雑システムのシミュレーション	3		2
		公共空間のデザイン	3～4		2
		総単位数 (①～⑩の単位数合計)			

※1 SFC 設置科目

表2 主な指定科目の変更 (対象となる入学年度: 2018 年度以降)

指定科目の分類	指定科目	変更内容
⑩その他	グラフィック表現論	【2021 年度入学】以降, 指定科目から削除。
⑩その他	複雑システムのシミュレーション	【2021 年度入学】以降, 指定科目に追加。 ※ただし, 2024 年度以降取得分に限る。
②建築計画	建築空間論	【2022 年度入学】以降, 指定科目から削除
⑩その他	公共空間のデザイン	【2022 年度入学】以降, 指定科目に追加。

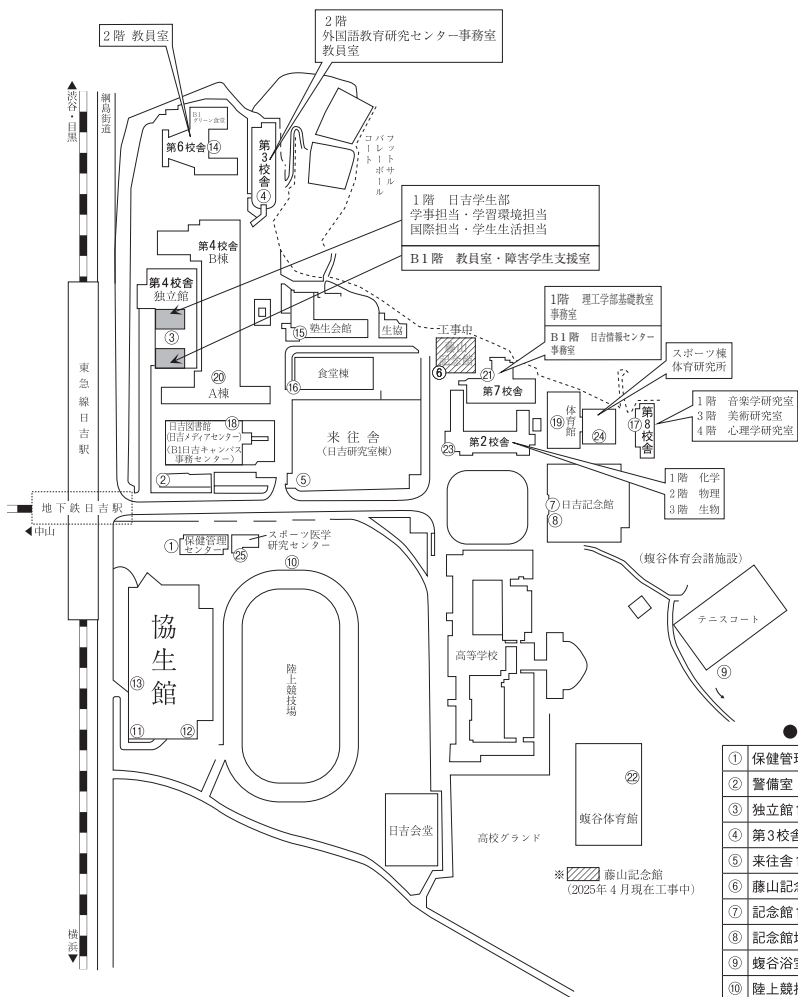
表 3 国土交通省令で定める建築に関する実務

- ①建築物の設計に関する実務
- ②建築物の工事監理に関する実務
- ③建築工事の指導監督に関する実務
- ④建築物に関する調査又は評価に関する実務
- ⑤建築工事の施工の技術上の管理に関する実務
- ⑥建築・住宅・都市計画行政に関する実務
- ⑦建築教育・研究・開発及びそのほかの業務
 - ・大学院の課程（建築に関するものに限る。）において、建築物の設計又は工事監理にかかる実践的な能力を培うことを目的として建築士事務所等で行う実務実習（インターンシップ）及びインターンシップに関連して必要となる科目の所定の単位数（30 単位以上又は 15 単位以上）を修得した場合に実務の経験とみなされる 2 年又は 1 年の実務
 - ・建築物に係る研究（ただし査読を経て学会誌に掲載等されるなど、第三者による一定の審査を経て公表等されるものに限る。）、など

表 4 指定科目に係る必要単位数と必要な建築実務の経験年数

指定科目の分類	一級建築士試験			二級・木造建築士試験		
①建築設計製図	7 単位以上			3 単位以上		
②建築計画	7 単位以上			2 単位以上		
③建築環境工学	2 単位以上					
④建築設備	2 単位以上					
⑤構造力学	4 単位以上					
⑥建築一般構造	3 単位以上			3 単位以上		
⑦建築材料	2 単位以上					
⑧建築生産	2 単位以上			1 単位以上		
⑨建築法規	1 単位以上			1 単位以上		
①～⑨の計 (a)	30 単位以上			10 単位以上		
⑩その他 (b)	適宜			適宜		
(a) + (b)	60 単位以上	50～59 単位	40～49 単位	40 単位以上	30～39 単位	20～29 単位
必要な実務経験年数	2 年	3 年	4 年	0 年	1 年	2 年

【日吉校舎案内】



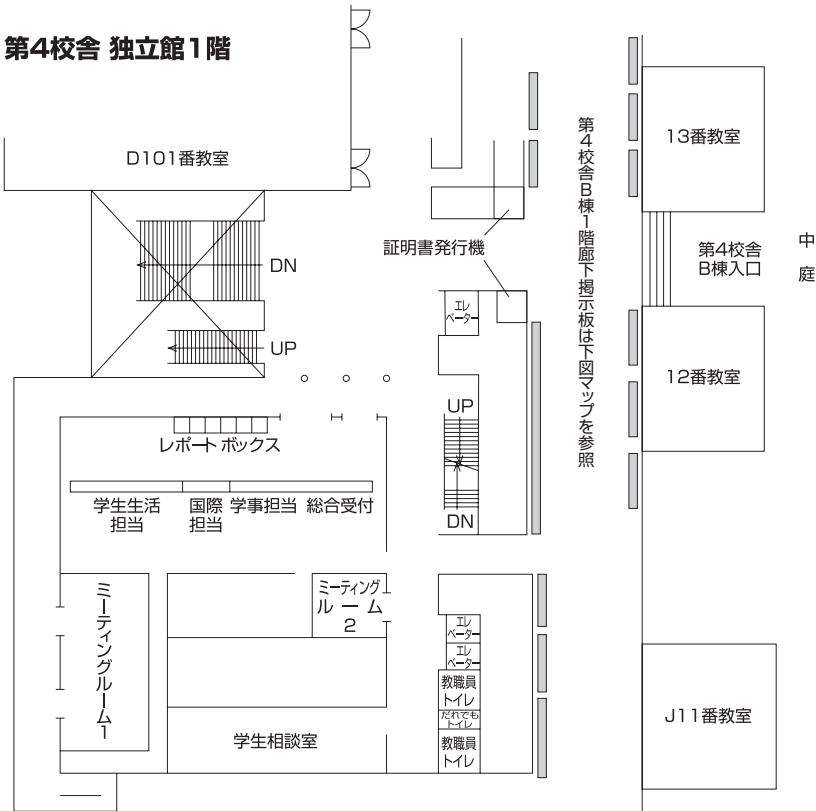
●AED設置場所

- ① 保健管理センター内
- ② 警備室
- ③ 独立館1階 学生部前
- ④ 第3校舎2階 ホール
- ⑤ 来住倉1階 事務室前
- ⑥ 藤山記念館1階 階段脇
- ⑦ 記念館1階 ホワイエ
- ⑧ 記念館地下1階 アリーナ
- ⑨ 煙谷浴室棟 男子シャワー室前
- ⑩ 陸上競技場附施設棟1階
- ⑪ 協生館1階 防災センター
- ⑫ 協生館地下大学体育施設 入口
- ⑬ 協生館1階 エレベーター前ホール
- ⑭ 第6校舎1階 玄関ホール
- ⑮ 塾生会館1階 (課外施設棟)
- ⑯ 食堂棟塾生広場(中庭)側入口
- ⑰ 第8校舎1階 風除室
- ⑱ 図書館(メディア)1階 受付カウンター
- ⑲ 体育館(柔道場) 記念館別館入口
- ㉑ 第4校舎A棟1階 玄関ホール
- ㉒ 第7校舎1階 正面玄関
- ㉓ 煙谷体育館 玄関
- ㉔ 第2校舎1階 玄関風除室
- ㉕ 第3校舎 玄関風除室
- ㉖ スポーツ医学研究センター

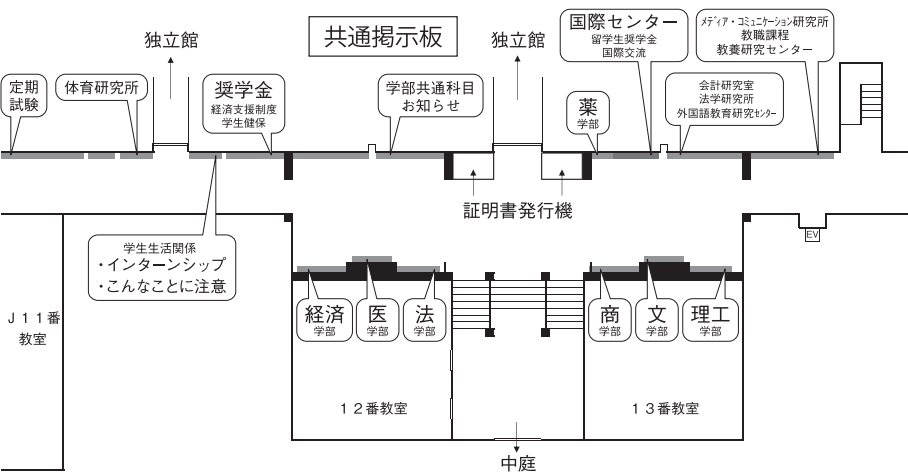
2025年 4 月現在

【日吉学生部案内】

第4校舎 独立館1階



【掲示板マップ(第4校舎B棟1階)】



個人情報の取扱いについて

慶應義塾では個人情報の取扱いに際して「慶應義塾個人情報保護基本方針」および「慶應義塾個人情報保護規程」を遵守し、適正かつ安全に管理します。

入学手続、ならびに入学後にお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、慶應義塾各部門におきまして、①入学手続、②学事（学生が関与する学術研究活動を含みます。）に関する管理、連絡および手続、③学生生活全般に関する管理、連絡および手続、④大学内の施設・設備利用に関する管理、連絡および手続、⑤寄付金、学校債、維持会および慶應カードの募集等に関する連絡、⑥本人および保証人宛に送付する各種書類の発送その他の連絡、⑦三田会（同窓会）に関する書類送付とこれらに付随する事項を行うために利用します。また、個人が特定できないように統計処理した個人情報のデータは、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。

上記の業務は、その一部を慶應義塾より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」といいます。）において行います。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

また、慶應義塾では三田会（同窓会）活動を支援する一環として、卒業後も三田会（同窓会）から要請があった場合は、所定の手続および審査の上で必要な範囲内において個人情報を提供することがあります。

その他、法律上開示すべき義務を負う場合や、学生本人または第三者の生命／身体／財産を保護するために必要であって本人の同意を得ることが困難な場合など、法令上の例外事由に該当する場合には、第三者に個人情報を開示することがあります。

慶應義塾は、以上の場合を除いて、同意なく、個人情報を第三者に開示いたしません。

なお、学生の学業成績表は保証人にも開示いたします。これは、学生の自律性を尊重しつつも、保証人の方に学生の学修状況をご理解いただきたいからにほかなりません。

個人情報の取扱いについて

<https://www.keio.ac.jp/ja/privacy-policy/>



理工学部	学科	学年	組
学籍番号			
氏名			